

Ⅲ 自由意見

1.障がい福祉に関する意見／障がいのある人

【支援サービス・支援施設に関して（93件）】

- 生活保護の施設が●●●●にほとんどない。また、両親が共働きだが、生活保護の利用時間が短い
ため、仕事を辞めないとならない。学校＋放デイで7:30～18:00見守りの体制があるが、卒業と
同時に短くなることで、家族の負担が多くなる。両親も歳をとり、体力的にも介護が厳しくなると考
えられる。また、弟妹の学費がかかるため、仕事を辞めると経済的負担も大きくなると思う。学校
に通っている時と同様のサービス時間を確保できる施設が増えることを望みます。（男性 10代）
- JRの在来線で100キロ以上超えないと半額になりません。短距離でも割引があったら良いと思いま
す。（男性 10代）
- 静岡市●●●●センター●●さんに、2年後、入所させようと思い、葵区から、センターに徒歩
10分の所に家を購入した。親は、2年後に車の運転を辞めたい。息子をセンターに入所させ、週末
だけ、家で過ごせるようにしようと思っていた。現在は「区分6」なら入所できるようだが、将来
的には、医療的ケアのある「区分6」の人しか受け入れなくなるかもと聞いた。私の息子は、医療
的ケアがないので、入所できないかもといわれた。今まで通り、医療的ケアのない「区分6」の
人も入所できるようにして欲しい。医療的ケアのない「区分6」の人が入所できる施設をもっと駿河
区につくって欲しい。（男性 10代）
- 学齢期が終り、生活介護事業所に通所しているのですが利用時間が短く、帰宅後や休日が家族の負
担になっています。在宅で生活している間、家族の不測の事態に備え、安心して過ごせる居場所の
拡充を望んでいます。余暇活動の情報入手が困難です。（男性 10代）
- 4歳の医療ケア児の母です。今年3月に通所（ショートステイ）を利用したく、受給者証を取得し
たのですが、「空きがない」「今は新規受付をしていない」と断られてしまいました。利用したいと
きに利用できず、とても不便を感じています。医療ケア児（4才）を受け入れてくれる施設が少な
く、静岡市はとても遅れているなど他県のようにすを見ていると強く感じます。（男性 10代未満）
- 施設やサービスの数を増やす事と同時に（それ以上に）各施設・サービスの「質の向上」を目指
して欲しい。通所受給者証の利用限日数が各家庭によって差があり、基本日数23日（－8日/月）を
もっと上げてもらいたい。（放課後デイサービスをもっと利用したい）支援学校の通学用バスの利
用は中学生までとなっており、高校生になった時の通学に困る。静岡市がもっと楽しく未来ある障
がい福祉に強い街になってくれる事に期待しています。（男性 10代未満）
- 障がい等級によって年金や手当を変えるのは不平等な気がしますので交付されている人には一律
で行って欲しいです。（男性 20代）
- 障害のある息子が成人し、両親も60代と50代になりました。現在は在宅で通所やショートステイ
を定期的に利用出来ていますが、その時の送迎は自家用車で両親が行っています。親が高齢になっ
た場合の自動車運転について今から不安です。できるだけ本人のなれた環境での生活を続けさせて
あげたいのですが、両親以外の兄弟、親戚、近所の方などでは世話が難しく、入所を希望してい
ますが、施設の空き状況は今のところ無いようです。本人も家族も安心して暮らせる環境を希望し
ます。現在利用中の生活介護施設でも職員の不足と勤続年数の短さ（長く続かない）が課題となっ
ています。なんとか継続して利用できるように努力して頂けていますが、重度知的障害の息子の世話を
お願いする立場としては、申し訳ない気持ちと、職員の皆様の温かいご支援に感謝するしかなく、今

Ⅲ 自由意見

後も不安な日々です。行政としてなにがお願いできるのか、むしろ「1つ」とか「3つ」とか選べるレベルではありません。将来を考えると不安しかありません。現在はただ、自分の体力、体調を少しでも良好に保つよう、日々生活するのみです。このアンケート結果が、良い資料となりますことを、強く願います。毎回真剣に記入しています。よろしくお願い致します。（男性 20代）

- 身体障害者相談員や知的障害者相談員が定期的に自宅を訪問し、現状確認や相談などをしていただける様なサービスがあればありがたい。（男性 20代）
- 福祉手当や本人の年金もただで、とても感謝しています。子どもはすごくかわいくて大切な存在ですが、仕事・家事・介護で毎日へとへとです。ショートステイも月に1回利用していますが、家以外だと本人が寝つけず、体調を崩しがちになります。日中一時支援も利用できるようになっているのですが、実際に利用できる施設がありません。（生活介護で利用している人のみ日中一時利用できるという理由で利用できません。）日中一時で利用できる施設を増やしていただきたいです。（男性 20代）
- 静岡市は障害者福祉がとても遅れている。人々の意識・理解は向上しているが、受け入れ先が少な過ぎる。大人になったら特に行き場が無くなるのが現状。今は障害の幅も広がり、発達障がいなどの自分で行動がある程度できる人達の安心して居られる場が少ない（無い）現状を何とかして欲しい。大人向けのスポーツ施設（公共体育館開放）・単発イベントなどをやっていただけるとありがたい。又は大人向けの放課後デイの様な物があるとありがたい。とにかく行き場が無い!!! 宜しくお願いします。（男性 20代）
- 障害があれば金銭的支援が簡単に受けられる為、実際は視覚障害がなくても、視覚障害者として演技、生活している人やその他不正受給している輩は多くいる。働ける体力や能力があるのに金銭援助する事で意欲を奪ってしまっている事が多分にある。金銭援助の審査を厳しく、現物援助で充分だと思う。（男性 20代）
- 今年度は訪問入浴の支給日数を増やしていただき、1年通して週2日入れるようになりました。有難うございます。欲を言えば、夏場だけでももう少し回数を増やせないか、ご検討いただきたく思います。地域で安心して暮らすための質問が多くあったように感じましたが、地域に密着してる包括支援事業は高齢者のサービスのみのため、障がい関係も扱ってもらえたら、わざわざ遠くの事業所の方をお願いせずとも良いのではと思います。（男性 20代）
- 息子が重度身体障害者で、親なき後入れるグループホームがほとんどなく、親が元気な内にグループホームを利用する準備が必要です。重身の入れるグループホームが出てほしいです。一ヶ所ではなく、合わないことも考え選択できるように、いくつかは出来てほしいです。（男性 20代）
- 静岡市は、まだまだいろんなことを増やして行ってほしいです。親の亡き後が一番心配です。ヘルパーさんを増やして充実した休日をして行ってほしいと思います。（男性 20代）
- 安心して親なき後、重度心身障害者が入所できる場所が必要。第2の●●●●●を駿河区にも作ってほしい。身体の変化に合わせた車イス購入をさせてほしい。修理だけでは限界がある。障害者によっては、作り替えが必要である。理解してほしい。短期入所の利用日数を増やす申請をした時に3～4人で集まって正当な理由があるのに問題視されて悲しい思いをした。自分が困った時の状況に置き換えて考えてほしい。とにかく職員全員にお願いしたいのは“困っているから”“必要だから”区役所に行くのに、国で決まっているとか静岡はできないとか言いきってほしくない。もっと寄りそう優しさをもってほしい。身内に障害者がいないとわからないからだと思う。（男性 20代）
- 一つの障害が重い方はそれで大変だと思いますが、軽い障がいも併存していても福祉サービスを受けられない事があります。理解できる事が（知的）偏ってるだけに大変な場合もあります。（男性 20代）

Ⅲ 自由意見

っています。送迎も家の玄関先まで来て下さり、在宅障害児（者）もとても幸せです。次は親亡き後のこと。グループホームは重度障害で無理があります。療育施設を！と親たちは会を進めています。市の平らな地に重心の入所施設ができ親が高齢者となりましたので入所させました。ショートステイも無い時代いきなり入所で苦労しましたが、だんだん慣れて来ました。いろいろありますが将来安心です。父親 84 才、母 80 才、障害者の子 50 才となりました。市の福祉は目ざましく進みました。福祉にかかわって下さった皆様に感謝です。ありがとうございます。今後、親も子も長生きとなりました。重度の子どもたちは親亡き後もよい人生が送れるよう入所施設の増床新設（重度の人も入所ができるグループホーム）を考えてあげて下さいますようお願いいたします。

（男性 50 代）

- 問 47 に記載したように、困った時にいつでも何でも相談できる身近な相談場所の整備をお願いしたい。
（男性 50 代）
- 結局、目に見える障がいについての福祉等はたくさんあるが、ヘルプマークと同様、見た目ではわからない障がい者への支援はないように思う。
（男性 60 代）
- これからも、障害者への支援をよろしく願います。
（男性 60 代）
- 問 19、付問 2 の事業所変更の際に、計画相談（ケアマネ）から包括支援の担当者が「〇〇さんは散々世話になっているのだから…」というような発言があったと聞かされ、地域・友人・他事業所（ケアマネ）等にびっくりして相談すると、皆口々に「そんなヒドイこと言うんだ、おかしいね」と驚いていた。言葉 1 つで人間関係はギクシャクしてしまうので、気をつけて欲しい。（男性 60 代）
- ストーマが交付券と金額の差が大きくなり少なくなる。交付券も増やして欲しい。（男性 60 代）
- 音声機能の喪失（3 級）ですが、以前県外に在住していた時は医療費、薬代等全額支給して頂きました。自治体により差があるとは思いますが、せめて 6 ヶ月に 1 回ほどの検査費用の支給が受けられれば助かります。とても高額の為。
（男性 60 代）
- 施設を利用したくりハビリサービスのお試しを最近行った。強めの拒否を（大声）した所、利用できないと断られた。本人 70 才でまだ比較的若いので、回復が望めるが、そういう所を利用できないのは納得できない。妻と 17 才と年令が離れている。妻はまだフルで仕事をして家計を支えなければならず、時間をさくのが大変。子供に対しての行政は手厚いが、色々な家庭がある。もう少ししっかりして家庭のことを見て欲しい。国、市、県の職員はその課の事しか知らないで、すんでいる。もっと多くを学んで欲しい。全く仕事をしていないように常を感じている！！この調査も形だけにしか思えない。
（男性 70 代以上）
- 左手指、中指切断なので、日頃生活が困難なので少しでも援助出来るよう考えてもらえたらと思います。
（男性 70 代以上）
- 私は 79 才で、三年前に心臓の手術をして、身体障害者一級の手帳を、戴いていますが手術も無事に終り、現在は半年に一度の検診で普段は普通の以前と変わらない、生活を送ることが出来ております。私の友人で 83 才になる友人が居るのですが、杖を使用していないと、歩行も不自由な一人暮らしをしている方が居ます。時々様子を見に行くのですが、介護の等級が、一番軽い為、一週間に 2 日、介護士の方が来てくれるそうですが、2 日共、買い物をお願いするとそれだけで終わってしまい、トイレ掃除、風呂の清掃、部屋の掃除等、が何も頼めず、不自由をしています。等級通りでは、アンケート以前の生活を余儀なくされている方が、相当数いらっしゃると思います。その辺の処から見直す必要が有ると思います。一人住まいの身体に不自由な方々に、もっと根本的な処から、見直しをする必要が有ります。もっと細かい配慮を考えていただきたいと思います。
（男性 70 代以上）

Ⅲ 自由意見

- 生まれた時から耳が悪く、小さい時から不自由でした。補器が合わなく、聞こうとするとボリュームが大きいし、頭がいたくなり大変。5・6年前に市の補助を受けて100%ではないが何とか自立し、大変ありがたく思っています。今後、補器が故障した時は今は心配しています。大変、高価な物なので、またどのような方法があるかと心配しております。(男性 70代以上)
- 要介護認定の基準が判らない。はっきりと示してほしい。(男性 70代以上)
- 重度の知的障害と身体障害がある為、親なき後に入所する施設を増やしてほしい。親が急病等で学校の送迎ができない時に利用できる福祉タクシーを増やしてほしい(車イスのまま乗れる)。障害者用トイレにソファの様なベッドを置いてほしい(オムツ交換に困る)。経済的負担が大きいので手当等の金額を増やしてほしい。(女性 10代)
- コロナ禍において一旦入院または入所してしまうと、面会も出来ず、長い期間、面会も許されない所も多い。その為、精神的不安定さ、QOLの低下を招いてしまっている。感染者数が一時的に減っても、制限を緩めようとしめない機関もあり、家族への説明や理解があやふやで、施設側の問題もかなり大きいと感じる。国の指針と施設側のルールとの相違が見受けられる。感染症対策に気を付け、検査の実施などを経れば面会の緩和は可能と思われる。施設側の都合ばかりを押しつけられるのは、患者やその家族にとって、マイナスが多い。障害福祉サービスも満足ではない。また、市内及び県内には、選べる程の施設がほとんど少ない。ショートステイの予約を取るのも、相当大変なことである。市はしっかりと、ニーズを組み取って欲しい。共生社会はいいが、社会資源もしっかりと整備しましょう。「親なき後」をテーマに、もっとセミナーや情報を発信していただきたい。医療的ケアを受けられる所が少なすぎて、選択肢が少ない。ショートステイも予約とることが難しい実状があります。(生活介護も)小児の往診も少ない。(女性 10代)
- 医療的ケアのある人のグループホームがほしいです。ショートステイができる事業所が増えてほしいです。申請など、駿河区役所で手続きをさせてもらっていますが、皆さん親切でわからないこともていねいに教えていただいています。福祉のお仕事はとても大変だと思います。窓口でいろんな事を言う方もいると思いますが感謝している人もいます。(女性 10代)
- 福祉サービスに関しての詳しい情報が分からない。市の窓口聞いてもこちらが詳しく情報を調べこちら側から聞かないと教えてくれない事が多いです。静岡は他の県にくらべて福祉支援や助成制度が手厚くないと病院の先生にうかがいました。市、県ではなく全国統一して欲しいです。おなじ病気なのに、静岡だけ受けられなかったりするのは、どうなのかなと思います。児童発達支援センターももう少し増やしてほしいです。(女性 10代未満)
- 補聴器の寿命が大体5年くらい。2つ合わせて50万円する。毎回その値段で買っています。毎回苦しいです。6級でも少しでも補助金はないのでしょうか。同級(障がいの級)の人が周りにいないので、情報があまりないです。2級、5級の友人は補助金は出ている?みたいなことをきいています。(女性 20代)
- 医療的ケアが重ければ重いほど利用できる福祉サービスが少なく、特に呼吸器を装着していると、呼吸器の人を受け入れる人材も事業所もとても少ない。家族で日常のケアをやっていくしかなく介護者家族の高齢化に伴い難しさを感じる。ケアがあってもグループホームで過ごせる方法を行政と一緒に考えたい(現状のサービスでは無理なため)。通所施設に送迎サービスをお願いしたいが重症心身障がい者は車イスが大きかったり、リクライニングにしたりで、送迎車一台に2~3人しか乗れず、送迎が難しい。事業所で解決策を求めるには限界があるのでどうすればよいか行政も一緒に考えて、加齢する親にも対応できるよう問題解決に手を貸して欲しい。重症心身障がい者を受け入れてくれる生活介護事業所は複数利用してみなければならぬことが多いのだが、支給量が<月の日数-8日>で各事業所の契約支給量が決められていることで各月の曜日によっては契約支給量が足りたり不足したりで<月の日数-8日>22~23日/月使えず、仕事を休まなくてはならない

日がでてくる。他の市町村では各事業所で契約支給量を決めず、まとめて 22～23 日／月超えないように調整できているので、静岡市もそのように変更して欲しい。(女性 20 代)

- 障害者福祉は難しいことが多いと思います。一人一人の状態が違うこと、必要としている支援も多種多様になります。アンケートの中でも（3つまで…）となっていて、迷う場面が多くありました。本当に必要な支援をするためには多くの人材が必要になると思います。賃金も必要でしょう。適正におこなわれていくことを望んでいます。(女性 20 代)
- 医療ケアがあり、全てにおいて介助が必要な我が子が入れるグループホームは全くなく、入所も狭き門です。親の身に何かあった時が突然きた場合、本人に一番よい家が見つかるとは思えません。親が身動き出来るうちに、何も決められない話も会話も出来ない本人にとって、少しでも心地よい住まいを探したいと多くの親が思っています。でも、親が死ぬまで自宅で介助できるうちはしていきしかないのであると、諦めの気持ちも多いです。グループホームは重度の人が利用するには大金が必要という事がわかりました。そうすると、入所施設しか希望はなさそうです…閉じ込められてしまいます…このようなアンケートを作成して下さいに感謝します。(女性 20 代)
- 家族と住みたくない、だけど、経済的に一人暮らしは難しい。そんな方向けに家賃 1 万円台の物件を設置するなど、タクシー料金を 5 割引きにするなど、大幅に料金を下げてください。手帳のメリットが感じられません。また、求人数も少ないです。給与も少ないです。もっと障害者向けの求人を大幅に増やし、自立できるよう給与も大幅に上げるべきです。何のための福祉サービスですか。近隣の市はバスの料金が無料です。静岡市も近隣の市を見習って無料にしてください。携帯料金も大幅に下げるべきです。もっとサービスをつけるべきです。4 千円台に収まるよう、取り組みを願います。(女性 20 代)
- 身体障害者手帳は持っていないが、知的障害（療育手帳有）があり紙パンツを使用している人への補助をお願いしたい。家庭での負担はもちろんだが、将来入所になった時、費用がかかることが理由で断られたり選ばれなかったりしないか不安です。新しい事業所やグループホーム、入所施設ができて、その情報を取得できない。学校の時はお知らせがあったが、卒業すると自分で調べたり、条件を確認するのが大変です。数年に 1 回でもいいので、事業所・グループホーム・施設全体のリスト、対応できる条件などをまとめて、配布がありがたいが、市役所にとりに行く、専用のホームページを見れるようにしてほしい。以前ネットで見つけたが、分かりにくいのとスマホでは見づらかったので、紙でもらえると一番ありがたい。(女性 20 代)
- 私は障がいがあっても地域で暮らし続け、いずれは必要な支援を使い一人暮らしをしたいと考えています。しかしそれを実現するには、様々な不足や不安を感じています。特に経済的な事や日常的な支援者です。障害年金だけでは一人暮らしは難しく、医師に「就労が困難」と判断されている程ですが他に経済的支援は生活保護しかないのではと考えています。私の場合、過度に疲れやすく連続 3 時間の労働もあやしいため、一人暮らしにあたっては年金以外にも経済的支援が必要と感じていますが、十分に制度が整っていないのではと感じています。日常的な支援者については、ヘルパーなどがあたりますがどのような判断がされるか分からず、また複雑であるようにも感じています。また、不可能ではないから必要ないと思えないでほしいと思います。特に発達障害では体調の波が激しいためです。補装具、特に発達障害者に対する補装具の支給等についてです。私の知る限りでは発達障害に向けた補装具の助成はないと把握しています。しかし、発達障害当事者である私は障害による特性と周囲の環境を合わせるために様々な支援機器を購入しており、少なくない額を費やしています。また他の発達障害当事者も、特性の影響により、通常は補助程度の物が生活する上で必須な物となっており、それが高額であるケースも多いです。発達障害児者の補装具や支援機器の助成が必要とされていること、それだけでも知っておいてほしいです。また、こだわりや過敏などにより、必要な出費が違うことも多いです。少なくとも私や身の周りの当事者の子どもはそうです。それについても、せめて確実に知ってほしいです。他の障害などと共に、いずれ必要とされ

Ⅲ 自由意見

る人に必要なだけの支援が行き渡ることを願っています。(女性 20代)

- 今、困っているのは医療費です。先に3割支払うのが大変で、本当に戻ってきているかもわかりません。他の県では自負担金500円を月初めに支払って、その月はそれ以上かからないという所もあると知りました。なぜ静岡ではその方法ができないのでしょうか？(女性 20代)
- グループホームを利用したが、支援が不足していた(職員の障害理解と専門性の不足)。その障害に応じた個々の支援が必要だと思う。グループホームが地域の人々に理解され、交流の場ができるともっと良いかと思う。(女性 30代)
- 精神3級でも指定の病院以外でも1割負担になったらとてもありがたく、怪我や風邪の時にも病院へ行きやすくなります。手帳の交付や新規でもらう時に、ヘルプマークカードを一緒にもらえると認知度も上がっていいと思いました。(女性 30代)
- 障がい者福祉サービスが色々考えられ充実していくことは大変ありがたいと思っています。しかし重度重複障害で医ケアがあるいわゆる寝たきり最重度の障害者は、家庭で家族だけで介護していくには限界があります。親も高齢になり自分自身だけで精一杯になり、睡眠時間をけずっての介護や通所施設に行っている時だけの自由時間に身体が耐えられなくなってきているのです。しかしショートステイは希望者が多くてなかなかとることが出来ず、安心して預けられる入所施設ありません(今後作る事も無いと聞きます)耐えられなくなった親が倒れた時、子どもはどうなるのでしょうか。一緒に倒れるしかない現状大変不安の大きいものです。自分で判断が出来ない、意思を読み取る事がむずかしい人たちが対象となっている事を忘れないでいただきたい。どんなに手を尽くしても地域で暮らしていく事がむずかしい人たちがいる事を忘れないでいただきたいと思います。(女性 30代)
- 重度心身障害の次女と37年間通所(生活介護)、居宅支援、移動支援、日中一時、ショートステイを利用しながら自宅で一緒に生活しています。私と夫は60歳後半に入り、娘は160cm、48kgで私より大きく重たくなり、夫も私も日頃から腰が痛んで正直介護はともしんどく厳しいです。娘と同年代の方は入所の機会が訪れた時に入所の決断をされていると言う話をこの頃よく耳にします。私も一応希望は出していますが、実際にその時が訪れた時にふんざりをつけるかよく分かりません。以前でしたら大きな病院、施設に併設されている入所がほとんどだと思いますが、この頃はグループホームがいろいろな地域に出来ているようです。希望を出している病院は自宅から結構距離があり、いざ面会に行こうと思っても自分たちがいつまで運転出来るかという不安からあまり気乗りがしません。さらにコロナ禍で面会が長期間制限されているようです。最近新たに出来たグループホームへの入所を決めた方は、この機会に入所を決断しなければ、いざ入所させたい！！という時に希望の入所先があるか分からないからというお話でした。私もなるべく自宅から近いグループホームに将来入所させてあげることが出来れば一度良いと思っています。他に選択肢がなかったので面会にも不便な入所先を決断した！ではなく、小さくても温かくて気軽に面会に行けるグループホームがこれから先増えてくれることを願います。(女性 30代)
- 障害者年金ですが、自分の等級、症状では受給の診査に通る確率が低く、「書類代(1万円)がムダになるだけだと思う」と精神科の先生に言われました。働くのに困難があって、仕事に就くことができていないのは同じなのに、なぜなんだろうと不平等に感じました。等級の上の方と同じ対偶を求めているわけではないですが、せめて働いていない人に対する支援が(等級や症状に関係なく)受けられるようにしてほしいです。それから、書類代が高いです。収入ないのにどうということなんだろうと思わずにはいられないです。しかも払っても診査に通らない確率が高くてお金も戻ってこないなんて変だと思うのですが。あと、障害者雇用の求人がすごく少ないと思います。もう少し増えてくれると助かります。福祉に厚い県、としてアピールになれば、もしかしてですが人口も増えてくれるんじゃないかな、と(私見ですが)思わなくもないです。色々えらそうに書いてしまいましたが、最後まで読んで下さりありがとうございます。(女性 30代)

Ⅲ 自由意見

- 重度心身障がい者です。自身の年齢が 30 才になり、両親も 60 才を過ぎました。現在は、在宅で通所施設に通い、たまにショートステイを利用していますが、ショートステイの利用が数ヶ月前の予約など、急な利用が難しい状態です。将来、在宅も難しくなった時に、入所する施設（希望は家族の近く）は定員いっぱいに入所できるのぞみもなく、性格を見ると入所よりもグループホームの方があっているように思えるが、重心の障がい者むけのグループホームがないため、親ががんばるしかない状況です。重心でも利用できるグループホームを作っていただきたい。災害時に関しては、通所している施設から SNS などを利用しての安否確認や困っている事を連絡できるように施設に働きかけてほしい。現在通所している 1 施設から台風時の連絡にホッとしました。連絡がない施設もあったので、市から SNS の使用をまだ利用していない施設に対応の検討をお願いします。
(女性 30 代)
- 身体的障害者と知的障害者の支援の仕方は違う事が多いはず。要は頭が健常なら自分が何に困り何が必要でどうして欲しいかなど言えると思うが、知的障害者はそうはいきません。うちは知的障害者の妹がいます。頭の中 7 才以下です。身体障害者と違いパッと見、障害者と分かりづらいが切実に福祉支援は必要です。知的障害者が将来 1 人になってしまうかもしれないご家庭を調査し、入所施設を充実して欲しいです。例えば、本人が 60 才～65 才で入れる施設。親・兄弟も高齢になってくると自分達の心配より、この子をどうしようと、不安でなりません。生きてうちに安心が欲しいのです。通所施設へ通える程度でも、1 人では生きて行く事はできません。誰かに助けを求め声をあげられない、考えない様な子なので、将来もし 1 人になっても安心出来るものが欲しいです。ただのアンケート、聞いてみただけにならない様に祈ってます。『地域周囲にも多種多様な収益に繋がる静岡発の支援の試みぐらゐの気持ちで考えて』入所者が作物や野菜を作る地域密着とか JA さんと協力できる様なもの。パンや小物など作り、販売出来るくらい。知的障害者で 2 人で生きていけないので、この様な施設を充実して欲しいです。持続可能な支援が必要。
(女性 40 代)
- 昨年、家族が手術入院することになりてんかんがあるので一人で家においていけないので区役所に日中だけ短期通所できる所がないか相談にいきました。認定されるまで 2、3 ヶ月かかるといわれました。なんとか今回は家族でのり切りしましたがこの先又同じようなことがあったらと思うと不安です。緊急の時は日中少しだけ近くで通所できる所があればと思いました。それから指導員さんの育成をお願いしたいです。できないから障害なのにつけこうきつい言葉で言われると本人も家族も傷ついてしまいます私達が知らないだけかもしれませんが言いたい放題ですみません。
(女性 40 代)
- 精神障害者はバス代を 6000 円まで支給してくれるようだが、バスに乗るのが怖くて乗れない。いつも移動は夫の車かヘルパーとタクシー。身体障害者や知的障害者はタクシー券をもらえるのに不公平。しかも先に自分で負担しなければならぬものもおかしい。バスに乗れない精神障害者は多い。バスの支援をしてくれようとするのはありがたいが、差別だと思う。なぜ、身体、知的、精神の障害を分けるのか。もっと具体的に障害者の事に寄り添って考えてほしい。バスに乗れる身体、知的の障害者はいると思う。精神で乗れない人もいる。他も受けられるサービスが違う事がある。
(女性 40 代)
- 高額かつ長期（高額難病治療継続者）としての認定、負担上限月額軽減を受ける方法を、年単位の金額でも判断してほしいです。眼科や歯科への通院も欠かせず、ほぼ毎月出費があります。知的障害のある人に対し、社会がもっと優しくなって欲しいです。自分より劣った人を見つけると、自分が偉くなったように感じて、いじめに参加したり、きつい態度に出る人が多すぎます。知的の障がいがあっても、1 人 1 人に合わせた子供への学習が本当に大事です。障害者枠でも筆記試験がある場合もあります。実際、娘の同級生は試験の 1 ヶ月前に担任の先生から漢字、計算ドリルを渡され、苦労しています。どうせ勉強できないだろうと決めつけないで、学習の権利を奪わないで欲しいです。支援学校の先生（特に年齢が上の人）は子供の障害に対し、未だに理解のない人もいます。若い先生はおそらく大学で障害に対しての教育を受けているので、子供達への理解がありますが、

Ⅲ 自由意見

上の人達が本当に旧式のままで、若い先生達のやる気をなくしています。 (女性 40代)

- 障害者年金の充実。 (女性 40代)
- 我が子は知的障害区分6、46才女性です。家族は両親と本人です。娘が生まれた頃より福祉サービスが良くなり親の意識もポジティブとても生活の質が良くなったと感謝しております。振り返ってみますと娘の成長時期に切望した福祉サービスも少なく暗中模索の毎日でした。現在福祉サービスのメニューも多くなりありがたいのですが、いざ娘に…。なかなかピツタリするのが見つかりません。娘をグループホームにと希望して、親の勉強、見学としてきましたが営業化しすぎの感じです。障害者の老化は早く、ますますグループホームのハードルは高く、娘を手放せません。又、娘も現在通所施設に通って家に帰宅、このリズムが幸せのようです。あとわずかな時間を家族と共に暮らしたいと思います。 (女性 40代)
- 知的障がい者の認知症を判断することは難しいように思いますが40才を過ぎると障がい者サービスの生活介護より介護保険サービスを利用する方が良いのではないかとすることがあります。障害者福祉課でその件について聞いたことがあります、介護保険サービスが40才から使えることすら知らず、高齢者福祉課で聞いてほしいと言われて行くと障がい者のことはわからないと言われました。それぞれの担当課に関係するものはどちらに聞いてもわかるように勉強して頂きたいと思います。 (女性 40代)
- 私は難病指定を2つ受け(現在は1つ)、障害者手帳も交付されておりますが、良い医療を受け、家族に支えられ、元気に仕事もして暮らすことができしております。たいへんありがたく、こうした日々を送れることに感謝しております。様々な障害がありますが、私のささやかな経験からも物理的な支え(バリアフリー等の社会インフラ設備)、制度的な支え(行政やボランティア等)、社会の精神的な支え(健常者などの差別のない意識、自然にサポート出来る・する社会)は「共生」していくためには必要です。高齢者には誰もがなっていくわけで、高齢者にも様々なバリアがありますから、誰もが自分のこととして考えられるといいのですが…。 (女性 50代)
- 福祉以前の問題でこんな現実があるのかと今でも信じられません。一度確かめて。2021年6月要介3認定。統合失調症30年。子宮体がん2013年6月告知の状況。6月よりケアマネさんと、親も総がかりで老人介護施設に申し込んでも状況を話したとたん、入居を拒否された。1ヶ月以上探し回り、たまたま新会社で「統合失調症」受入可の表示をしていました。2021年10月オープンを待ち、やっと入居出来た次第です。もし不可であれば家族は今どんなだったか想像が付きません。精神患者の終活が親なき後、親の限界時等全く改善されていない又、他府県と比べても静岡は極めて遅れている。県内でも西部地区が先んじている。 (女性 50代)
- 私は精神障がいがあり指定難病のIgA腎症もわずらっています。2つの病気があるので、その病気に合った質のホームヘルパーが必要としています。そして82才の母とも生活をしています。母は現在胸椎11番を骨折しています。とても忙しいです。色々な病気が重なったり、介助を必要とする家族もいます。とても大変ですし、精神的にも重荷です。もっと楽になる介護があれば良いと思います。まだまだヘルパーも出来ることが少なくルールが多いです。もうちょっと柔軟になればいいなと思います。そういう社会にしてください。よろしく申し上げます。 (女性 50代)
- 医療及び薬にとってもお金がかかるので給付金などがあればうれしいです。 (女性 50代)
- グループホームについて、キッチン(食事)、おふろ、洗たくが共同ですと不安なので、すべてみなさんとわかれている部屋に住みたいです。高齢者と障がい者の親子と一緒に住める施設もほしいです。 (女性 50代)
- 身体障害者手帳3級です。1級・2級で受けられるサポートがほとんど受けられない実感はあります。経済的基盤がないので介護しなければならぬ親を施設でみてもらう事もできず、私自身も仕

事がしたくても働く場所がない。家も出られない。

(女性 50代)

- 数年前思いもかけない事がおき、現在、重度の下肢障害になり車椅子での生活を送っています。色々な方々に支援して頂き、何とか頑張っています。ただ一つ、病院へ行くのは介護タクシーをお願いして行けるので、問題はないのですが、たまには街なかへ連れ行って楽しませてやりたいと思うのですが、介護タクシーをお願いした場合、ドライバーさんがヘルパーさんの立場になるという事で、付き添いが一緒に乗せて頂く事が出来ないとの話でした。「静岡市のきまり」の一言でしょうか。現在、体力もおちてきていて声を出す事がむずかしくなっている今目的地を決め別々に行動していくというのは大変です。ちなみにバスは本数も少なく無理だと考えています。(我家の場合) いつもいつもの事ではないので、その時は特別の申請で一緒にタクシーで行動出来るよう願っています。ちなみにタクシー代は実費でいいと思ったりして話してみた事もあります但し乗り降りの時、介助が入るので、別計算もむずかしいのでしょうかね。令和五年になりましたら、どこかで連絡させて頂きたいと考えています。よろしくお願い致します。

(女性 50代)
- 今回、このようなアンケートを取ってもらい、とても感謝しています。■■と二人で将来の事、どうして暮らしていきたいのか？話すきっかけとなりました。本人はまだ具体的にどうしたいのか？決まっていません。でも、この家にずっと住んでいることは私達がなき後は難しいのはわかっているようです。■■は療育手帳 B2 で自閉症もあります。ここでずっと暮らしていければいいのですが、●●は若い人は外に出て生活している人が多くうちの周りでの若い人はいません。アパートを借りてヘルパーさんを頼んで支援して生活するのであれば、身の周りのことができるように訓練しないと住めないと思います。手帳 B2 だと能力が高いように思うかもしれませんが、小学校5～6年生の感じで、コミュニケーションが取りづらい(あいさつもままならない。)という特徴があるので、それではたして一人暮らしができるのか？と思います。将来、私たちがなき後、ひとりっ子の為、どうしても最後は一人になってしまいます。お金だけは用意してあげられますが、どのようにこの子が生活していけるのか？不安になります。支援する人も、される人もストレスなく過ごしていける為には、多少お金がかかってもグループホームに入ってくれればなあと思っています。それと、今、主人の母と同居していますが、義母も要支援があり相談員さんがいます。もし、■■も福祉サービスを利用すると■■にも相談員さんがいます。本当は、一家まるごとみてくれる人がいれば、私達はとても助かると思います。義母の事はAの人、■■の事はBの人となると時間もかかり同じ事を2回言わないとなりません。将来的には、一家まるごとコーディネートしてもらえるようになるといいですね。■■も22才になり、小さい頃に比べれば楽になりました。小さい頃は、こども病院のリハビリの先生、●●小のこたばの教室の先生にとってもお世話になりました。障がいのある子供を育てるのはとても大変です。どうか、母の気持ちに寄り添って仕事を進めてください。よろしく申し上げます。

(女性 50代)
- (姉が記入します) 以前は交通費の助成金として“交通系 IC カード”が支給されていたが交通系 IC カードは自販機にも使用できるため廃止となり、領収書をもらい、役所で手続きをしなければならず手間が増えました。妹は35年と、長期にわたり統合失調症を患っており知能低下がみられ領収書をもらうことができず、また、手続きも1人ではできないため現在は交通費の手続きは行っていません。自立支援医療受給者証、障害者手帳の更新、診断書、通院 etc、家族の負担ははかり知れません。主に介助している父も高齢(90歳)となり私も平日に仕事が出来なくなりました。障害者本人だけでなく、家族にも支援や相談できる場を望んでいます。私自身もうつ病になり、10年通院していました。今は妹の世話のため通院していません。2度の癌、肺炎、闘病生活の中での支援は大変です。助けて下さい。手続きがもっと簡単にならないでしょうか。成年後見制度は、母が亡くなった時に知りましたが、毎月多額の費用がかかるそうです。メリット、デメリットも合わせて説明が必要かと思います。(1ヶ月2万×12ヶ月×40年生きるとして960万円？妹は50代なのでと40年生きる計算ですが) また、同居している人が、生活費のために本人の貯金を使う許可が成年後見人から出ず困った話も聞いたので不安があります。

(女性 50代)

Ⅲ 自由意見

- これから高齢の母が病気になったり、亡くなった時、知的障害の妹が今の自分の家で住んで暮らしていくにあたり、見守り、支援、相談にのっていただける所があると嬉しく思います。今は私が（姉が）動けますが、将来の不安が大きいです。母が入院した時、民生委員の方に、伝えましたが、「お大事に」という言葉のみでした。それだけ、お忙しいのかと思います。誰に相談したらよいか明確にわかると助かります。今は就労支援に通っているのですが、声かけ、見守りもしていただけていますが、妹が65才になったとき、移行がスムーズに行くようにしていただきたいです。（私（姉）も年をとってしまうので妹の面倒までみれない可能性があるのでは）施設入所もどのようにしたらできるのか？もわかりません。障害福祉サービスの26 地域相談支援（地域定着支援）について知りたいです。（女性 50代）
- 私は下肢障害者手帳を持っています。動きの制限、病状の不安は多少ありますが、通常の生活はほとんど問題なく生活ができています。障害といっても実に多くの種類があり、あきらかに分かる場合、一目ではわからない人もおられます。その方々を理解することは難しいと思いますが、障害の種類、その症状や支援の必要を知る場、機会を多く作り理解の和を拡げることがまずは必要ではないかと考えます。発達障害がよく取り上げられる様になりましたが、早期の支援が大切と聞いています。その医療的な支援、知的障害の者への就労への支援、障害の種類によって異なる支援の充実とともに周囲の人の理解によって、おぎなえる事が自然に生まれる事もある。声かけ、家族への配慮など、そういう点で制度や施設等の充実とともに理解し合える場、機会の充実も大切と考えます。（女性 60代）
- 脳出血で半身マヒになり、好奇心がなくなり、「生きる」ことも面倒になってしまいました。自分で歩けないことは、本当に不自由です。自分で入浴できないので、デイサービスを利用。だから働きに行くことも出来ません。ただデイサービスがあり助かっています。（女性 60代）
- このアンケートは#97の病気で選ばれたと思いますが、こちらについては病状があまり重くないので、費用の面で援助していただき、大変助かっています。他に緑内障も患っており、2年程前に左眼を手術しました。現在も両眼共進行中です。9月中旬までアルバイトで働いていましたが、かなり視野が欠けて、仕事上いろいろ物の区別がつかなくなったり、文字が余程、濃く、大きく書いていないと、読めなかったり、距離感も分からなくなったりと支障が出てしまい、大きな間違いやケガなどが心配になり、9月中旬に仕事を辞めました。ですが、未だ視覚障害者での認定には至っていないので、かなり進行しています。その途中の状態どこに相談して良いのか分かりません。障害者に認定されれば、何かしらの支援もあるのですが、それまでの期間の困り事や、これから失明状態になるのであれば、それまでにやっておく事や心がまえなど、相談できれば心強いのですが、今はどうして良いか分かりません。又町中などに出掛けても、他からは目が悪いとは思ってもらえませんので、大変怖い思いもします。このアンケートも読むのも書くのも大変苦勞しています。なんとか横線行内に書いてはいると思いますが、いつも2行ぐらいに渡ってずれてしまいます。読書も好きだったのですが、ここ1年程読めなくなりました。スマホの文字もちょっと長く読むと次の日にガンと視力が落ちているのが分かり、スマホでも読めません。けっこう辛いです。（女性 60代）
- ホームヘルパーは身体障害の事を知らない事が多い。障害の専門のケアマネージャーが少ない。介護と障害のケアマネージャーをわけて訪問してほしい。（女性 60代）
- 障がいがある人は仕事も年になるとできない。年金も少ない人いる。だから障がい年金ももっとあげてほしい。（女性 60代）
- 金銭的な事を申し上げて申し訳ないですが、私は重度障害者ではありません。デイサービスにかかる費用がまったく普通の人と同じ状態で運動しています。特別職員さん達に余分な手をかけてもいませんが、費用はかなりの差があります。皆様と平等と云う訳にはなりませんか？医者にかかる費用もかなり高くなっていますし、一つ考えてみて下さい。お願いします。（女性 70代以上）

Ⅲ 自由意見

- 自分自身が福祉施設を使う事が今までないので、良く分からない。これから生活して行く時、いつどのような事で利用する用になるか不安です。 (女性 70代以上)
- 車の運転が出来る為、スーパーや病院に行くことが出来る。だが、運転免許証がなければ生活は無理。病院、生活用品の買物の時は、タクシーを無料にしてもらいたい。それが出来れば免許を返納できる。 (女性 70代以上)
- 私の家族も障がい(発達障がい)を持っていますが、発達障がいと言うと、子供の発達障がいの支援やその家族の支援ばかりすすんでいて、大人の発達障がい者に対する支援は何もされていないので、大人の発達障がい者の支援を充実させて欲しいです。私達家族が以前住んでいた他の町でも、市の広報誌に子供の発達障がい者の事ばかり紹介した記事や、子供の発達障がい者やその家族ばかり募集して、発達障がい者の集いや講習会を開催する記事を掲載していたので、腹が立ちました。現在の発達障害者の子供は学校でもさまざまな支援を受けていますが、私の家族が子供だった時代は学校へ行っても支援をしてもらえた事は1度もありませんでした。大人になった今も発達障がいをもって私の家族は何も支援をしてもらえないで生活しています。 (女性 70代以上)
- タクシーの利用が必要なので、タクシー券の発行配布をお願いしたいです。 (女性 70代以上)
- 今は施設職員さんがやってくれるので安心してすごせています。小さな頃は、親が小学校まで、歩いて毎日送ってくれました。学ぶことをさせてくれて感謝しています。 (女性 70代以上)
- 重度の障がい者に対しては制度や対策は必要でありがたいと思いますが、けっこうめぐまれていると思います。また、一度障がい者指定されて回復され普通の生活が出来ているにもかかわらず、引き続き障がい者手帳をちらつかせたり、税の待遇が引き続きされている人の話を聞くと、それってどうかなと不公平さを感じる事があります。 (女性 70代以上)
- 身体障害等級5+要介護1のためどちらも程度が軽いとみなされ受けられる支援がほとんどないので個別に相談できるとありがたいです。パンフレットなどでは、サービスが充実しているように書かれているけれど、実感がありません。保険料は医療も介護もとても高い、年金の1割以上になるのに、福祉に予算が使われていない気がします。市長には箱物の建設を止めてもらいたいです。 (女性 70代以上)
- 障がい者に対してたくさんの支援があることを知りました。 (女性 70代以上)
- 私は91才の女です。今要介護2でデイサービスを受けてまして、障がい手帳を使用する事はありません。十分に介護の方でお世話になって居ます。おかげ様で頭の方は自分ではしっかりしていると思います。心からお礼を申します。 (女性 年齢不明)
- 静岡新聞、障害と共に生きる、共感しかないです。改善できれば嬉。救急車で運ばれた時の帰り、車がない場合夜だとタクシーしか使えず介護タクシーが使用できれば嬉しいです。安心信頼できる病院探し(ネットワーク)。横断歩道時の、なかにはぎりぎりまで来て余裕のない運転手さん。経営一族→自分さえ良ければ。それぞれの家庭の事情があることを理解→自分本位の考えを従業員に押し付ける(心ない言葉)。有給(消極的とりづらい)。同調圧力。休める環境、手当(企業・国・自治体)特に一部の大都市でなく地方に。 (女性 年齢不明)
- 障がい者年金がほしいです。 (性別不明 年齢不明)

【障がいのある人への理解・交流等に関して (53 件)】

- 福祉のことを（発達障害）などの学習を学校でリアルな体験を話して欲しい。（男性 10 代）
- 障がいの特性を知ってもらい理解を深めてもらえたら誤解や偏見が減ると思います。啓発活動をしている団体があるので、広く普及できるようにお力添えしていただけたら幸いです。（男性 10 代）
- 都内にいる友人や SNS などの情報でしか知りませんが、発達相談や診断を受けるための受診までにとっても時間がかかると聞いているので、他県に比べて静岡は福祉関係に対して施設（療育センター等もありますし）が充実している印象があります。なので対応も早くして頂ける印象でありがたいことだと感じています。我が子は静岡市内の病院で胎児の時に異常がみられたため●●●病院へ急ぎよかかることになりそこで出産、その後の検診も4歳の今でも受けています。自宅から通える範囲に●●●病院があることも心強く、そこからの紹介で療育センターでのリハビリを週1回以上受けることが出来、常に専門の先生方にも相談しやすい環境で助かっています。知的障がいの人に対しての偏見はまだまだ感じますが、実際知的障がいの人の方が一般の人にびっくりさせるようなことや困らせてしまう場面があることもあるためどうすればお互いうまく共存できるのか難しい所だと考えてしまいます。あとテレビ番組の障がい者チャリティー的な内容には少し疑問を感じます。（男性 10 代未満）
- 息子が 20 才前後で、いろいろな病気が発病、闘病生活 7 年ぐらいになります。このアンケート調査も 3 回目です。毎回きている様な感じがしました。年齢も若いので見た目でどこか？と思われがちです。年配者からは「まだ若いからこれからいろいろできるからいいね」と言われます。（中身は年配者と同じ様な状態なのですが）本人は若いからいいねと言われるのが嫌です。この年齢で週3回透析、腰（2ヶ所）ひざ（1ヶ所）に人工関節、白内障、あと珍しいらしく両肩の関節壊死という状態です。日々体の痛みはあるらしいのですが、口には出しません。その為、周囲からは大丈夫だねと解釈されます。昨年の 11 月に心肺停止で救急処置してもらい、意識が戻るか不明と医師から言われましたが、無事に意識が戻り、リハビリをがんばって今年 5 月に退院しました。日常生活は以前と比べると 1 人でできる事は少ないです。今障がい者の支援でヘルパーを利用しています。気管切開してカニューレ（人工鼻）を入れているので、入浴が自分 1 人では無理なので助かっています。時々後遺症か立てなくなる時もあり、本人が落ち着いて立てるまで待ちます。自分にできる事が少ないので見てるだけという状態が辛いです。親の愚痴になってしまいましたが、本人にしてみると救命処置はしてほしくなかった様でした。次回同じ事がおきたら今度はしないと約束しました。今日も体がつらいけど透析に行ってくれます。本人には何も楽しみがない日々だけど、母が生きてほしいからいるんだと言ってくれます。（男性 20 代）
- 昔に比べ差別や偏見は少し良くなっていると思います。親が元気な内はなるべく一緒に生活をしてゆきたいと考えています。親も年をとり、残された障害の息子の事を思うと、いつも不安になります。他の障害を持つ親達も程度の差はあると思いますが、ずっと不安をかかえて生活していると思います。健常の子どもがいる人達がとてもうらやましく、何故家の子が…。と思うのは、人間として自然に思う事であると思います。それでも息子なりに懸命に生きて、社会の中へ出て、自然に身につく人との関わりはとても貴重な物だと思います。いつも回りの方々に助けて頂いて、今の息子や私達親が社会で生きているのだと思っています。（男性 30 代）
- 障碍福祉に関わっている方々には本当に頭が下がる思いです。いろいろ教えて下さったり、考えてもらったり、ありがとうございます。普通に接している心優しい人でも「かわいそうな人」と言葉に出されると、やっぱり心の奥では差別しているんだなと感じてしまいます。かわいそうな人でもなく、できない人、変わっている人でもないと思います。差別を感じても“大したことはない”と強く思っていればいいと思います。昔は障碍のある人のうちへ遊びに行つて、ただのんびりしておしゃべりしてた。そういうのがなくなってしまった。サロンみたいのを作ったらどうかなと思います。（男性 30 代）

Ⅲ 自由意見

- 障害を持つようになり、友人知人となかなか連絡が取れなくなった。自分一人では思う様に身のまわりのことすらできない状態。コミュニケーションツールが必要かも。友人たちと没交渉が何よりつらい。(男性 50代)
- 健常者の人には、なかなか理解してもらえず、自分は働いてますが、パートでできたら正社員にしてもらえないかと言うと、そんな仕事ぶりで正社員になれる訳がないだろうと言われ、仕事の中でとにかく障害者である事を言い訳にするなどと言われて、自分も好きで障害者になった訳ではないのに、やはり健常者の人には分かってもらえなくて、とても生きづらく苦しみや辛さは分かってもらえなく、生きてる価値がないなど思ってしまう。時には自殺も考えてしまいます。もっと健常者の人にも、わかってもらえる社会になって欲しいと思います。一応実務者研修も取得してありますが、それでもパートでやはり差別されているのかなど思ってしまう。介護士をやる前は工場で働いていましたが随分酷いじめにも遭いました。上司に言っても何もしてくれず本当に辛かったです。おかげでADHDやうつ病で精神科にも通っています。本当に生きづらい世の中ですね。(男性 50代)
- 障害者とわかると不利益を感じる。理解がない方が多い。異動で辞めさせられるようなきつい場所になったことがある。パワハラ上司がいる所にとばされた。結果、おおっぴらにできない世の中であると思う。就職に不利。障害者だと就職に不利だし、仕事を自由に選べない現実の世の中。賃金が安すぎる。収入が少ない仕事しかなくなる。障害者になってよくわかった。特に昭和世代のバブリー世代以上がタバコを事務所で大量に吸っていた。私は吸っていなかったのに体を壊した。タバコを完全に禁止する条例を作して下さい。百害あって一利なし！死ぬまで病気に付き合わされることを思うと悔しくて仕方ない！タバコを吸う人間を絶滅させたい！！障害者の世の中に対する悔しい思いが良く分かる！そんなに甘い物ではない。問題は複雑です。死ぬまで無理をして働いているのが現実。市役所や県庁でタバコを吸う場所を設けるべきではない！共存なんて絶対にありえない！！タバコを吸う奴らは採用しないでくれ！市民や県民を不快にさせるな！(男性 50代)
- 施設職員の温かな介護のできる様、教育をお願いしたいです。それには、障害（児、者）への平等の目、学校教育の中に入れて子どものころより教育していただきたいです。共に協力して障害児者が豊かな人生が送れますように！(男性 50代)
- 障害者福祉の人達は自分が俺等の様な体ではないので人の気持ちを分かってもらえない。色々ありますが、全てがっかりです。もう少し人の気持ちを分かる様にしてもらいたい。一日も早く介護の申請及びヘルパーを決めてほしい。僕の担当ワーカーさんは■■■さんですので1日も早く話をさせて下さい。お願いします。■■■■、願い。(男性 50代)
- 自分も含めて、障がい福祉に関し、認知度が低い。もっと皆に知ってもらうにはどうしたら良いか考えたい。(男性 60代)
- 今後、高齢者、障害者がますます増えてくると思います。障害者にならないと不便さが健康な人にはまだまだ伝わらないと思います。お互いに理解しあえる明るい社会になると良いですね。これからも宜しくお願いします。(男性 70代以上)
- 路線バスを利用する事がありますが、すごく親切な運転手さんと、バスなんか乗ってくるなど言うような態度の人もある。(男性 70代以上)
- 85才位まで、河川敷でターゲットゴルフをやってました。人との交流は、好きで大勢の友人がいましたが、周りの人がいなくなり寂しさが増し、デイサービスも中々なじめなく何カ所も変えました。認知症が進み今はすぐ忘れるので困ります。薬も吞んでいます。テレビが楽しみの1つで、野球、相撲、ゴルフと見ています。子供が来ても判らないので淋しいです。障害福祉の意見でないでしょうがすみません。(男性 70代以上)
- ペースメーカー装着のみによる障害のため、障害者福祉に理解少なく恐縮しています。今後は、障

Ⅲ 自由意見

害者福祉に関して感心を持っていきたいと思います。アンケートありがとうございました。

(男性 70代以上)

- 皆さんに手話を覚えてもらいたい。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」など。(女性 10代)
- まだまだ健常者の方々の理解は得られません。じろじろ見たり…特にお子さんは偏見な目で見ます。ここ最近では障害のある子供が増えて来ています。でも、色々な状態のお子さんが居るので、それに見合った支援が必要かと思えます。就労支援先の担当の方の見方・障害児への配慮が足りず、その生活、しぐさ、くせなどを理解せず、注意もせず正しい方向へ導いて下さる指導がなされていなく、ただ批判だけを言うだけでは正しいとは思えません。ほんとうに障害者に対しての理解はされていません。(女性 10代)
- 公共機関を使う時、女性だけの時、嫌そうな顔された時がある。1度やられると使用することにためらいが出来てしまう。個々の性格になってしまうが、心無い人が目についてしまう。(女性 10代)
- サービスは充実してきていると思う。結局必要なのはまわりの理解だと思う。あとはうちは子どもなので、将来親が面倒を見られなくなった時、どうになってしまうのかただただ不安。お金等は大丈夫だとしても、頼れる人がいるかどうか心配です。(女性 10代)
- 転居してきたため、また通学先も特別支援学校であり、地域の人達と交流をもつことが難しいです。地域に馴染んでいけるような機会があると嬉しいです。(女性 10代未満)
- 内部障害は外見では分からず、健常者とあまり変わらないように見えますが、体力的に大変な面もあり疲れやすいです。外見上は普通に見えるためしんどい部分を理解されにくいことがあります。しんどいから休んでいても「ズル休みをしている」「ちゃんとやっていない」と思われることもありました。他の障害にくらべると自分のことは自分でできますし、仕事にもパートタイムとはいえ働けているので、自分の悩みなど人には言えないと思います。もっと大変な人もいますので…。比較的「軽い」(十数年に一度手術が必要とはいえ) 障害だと思ってしまう苦しいことやしんどいことを飲み込んでしまいがちです。内部障害を持つ人にもたまには目を向けて気付いてほしいです。(女性 20代)
- ヘルプマークが機能していない、理解されない。精神のイメージが強いのかまちがった認識をされる。障がいに対して難病患者が受けられるサービスが少ない。(公共施設も) 難病は外見でわからないものも多く、症状もうまく伝わらないものが多いため、理解・協力されづらい。自立支援法から総合支援法にかわったタイミングで障がいの中に難病が入ったのに、福祉事業所等でも難病に対する知識が浅い。(女性 20代)
- 精神障害者同士が自分の症状を言い合える集いの場を設けてほしいです。ネットからの申し込み可能であったり、時間を選択できたり、悩みを持っているのは自分だけではないと前向きに考えられるような福祉サービスを増やしてください。(女性 20代)
- 防災用品の支給など充実していてほんとうに助かります。行政として、障がい者と健常の方との交流の場、イベントなどを地域で行ってもらえるともっと障害の理解や交流が進むと思います。(女性 20代)
- 現在 20 才です。特別支援学校の高等部を卒業後就職して働いています。高校までは放課後デイサービスの支援等があり、学校以外で学ぶ場がありました。社会人になると障がい者が安心して行く場所がなく療育手帳を持っているような子がひきつづき学ぶ場があったらいいのにと強く思います。社会人になると健常者の中で仕事をしている為、本人の障がい理解されず、いじめられたり、いやな言葉をかけられる事が多くなります。休みの日は家で過ごす以外に土、日に安心して過ごせ

Ⅲ 自由意見

たり、学ぶ場所があったら教えてほしいです。 (女性 20代)

- (再掲) グループホームを利用したが、支援が不足していた(職員の障害理解と専門性の不足)。その障害に応じた個々の支援が必要だと思う。グループホームが地域の人々に理解され、交流の場ができるのもっと良いかと思う。 (女性 30代)
- リハビリの甲斐もあり見た目は普通に動かせるようになり、リハビリの先生・担当医の先生・看護師等の皆様には本当に感謝しております。目の見づらさ、痛み、しびれ、ふるえ等後遺症は、多々あり「動かせるけども動かしづらい」こと「常にある痛み、しびれ」「生活できるけど生活しづらい」毎分毎秒病気と共に生きています。自分も病気になるまではこのような病気があることも病気と闘っている方がこんなにいらっしゃることも知りませんでした。自分も病気になり一見元気に見える方でも健康(心も身体も)であるとは限らないと気づきました。コンビニでお金を払う、小銭を出すただそれだけのことで指がつつてしまったり、震えてしまったりして出しにくく時間がかかってしまうこともあります。世の中には色々な病気があり、目に見える症状だけでなく苦しんでいる人が沢山いることがもっと社会に広がるといいなと思います。また、こんな私でも障がいを抱えている方のお力になれることがあれば行動したいと考えております。まずは、病気が良くなるよう病氣と上手に付き合う方法を見つけていこうと思います。 (女性 30代)
- 「(健常者が) 障害者に対して合理的配慮を行わなければならない」等の法律は、ほぼ周囲に障害者がいなかったり、接した事がなければ本当に知らない方々ばかりの世の中です。知っていたとしても、配慮してくれるのは理解ある方のみ。暴言やイジメは慣れてしまった面もありますが、改善される世の中であってほしいです。それでも、ヘルプマークが周知されてきたなあ〜と実感する日もあり、助かってます。 (女性 40代)
- 病気を発症して10年以上経過していますが、精神疾患のため、友人・知人は離れ、昔になりますが父からは「オレは健常者だ、お前はそれらしくしろ」と言われ、申し訳なくどんよりと生きています。最近も「自分の立場をわきまえろ」と、偏見って身近なところにあると思います。それが自分の存在否定にもつながっています。それでも“障がい者”が生きやすい環境になっていくといいですね。 (女性 40代)
- 道徳教育を1教科に…(個別事例をもって…)抽象的でなく。 (女性 40代)
- 大人になってから障害者になると、同じ障害を持つ友人や知人が一人もいないため、辛い気持ちを共有してくれる人が誰もいないためとても孤独です。どうにもならない事はわかっているので、せめて悩みについて話ができる人がほしい。アドバイスではなく共感してほしいです。足に障害がなくても手に障害があるため、吊革が握れないため電車やバスが満員で座れないととても困ります。でも見た目で障害がわからないから優先席には座りづらい、若い人が座るなど文句を言われる等、嫌な思いをたくさんしてきました。握力がないから字がうまく書けないのに、字が下手と言われたこともありました。障害への理解が足りないのではなく、想像力が欠如しているのだと思います。最近、いろいろなものが電子化されているため、障害者手帳も電子化できれば、いざという時にすぐに提示できていいと思います。毎日持ち歩くのが大変です。 (女性 40代)
- ITの進歩により、広報等の発信、受手からの情報へのアクセスも、昔に比べたら、ずいぶん簡単でスピーディーになったと思いますが、活用できる受手は少数なんでしょうか？私は自宅で仕事をしていますが(テレワーク)、ITの恩恵にあずかる身です。障害者の労働、社会とのつながり、情報収集などITにより様々な良い変化が今後も生まれると思いますし、それを期待しています。日々、障害者福祉にたずさわられる皆様に感謝申し上げます。 (女性 50代)
- 母は耳が不自由です。区役所、病院など、外出した時に、聞こえなくて本当に困っています。今は特にコロナの影響で衝立がされている為、よけいに聞こえづらく不便です。ヘルプカードの様な物、

普段は付けていなくても何か手続きをしなくてはならない様な所に行った時は、そちらで外見ですぐに、耳が聞こえづらいと言うのがすぐにわかる様な物を作っていただくとありがたいです。私は現在難病でヘルプカードを付けています。今の所は何もありませんが、付けているだけで安心できます。検討していただければと思います。(女性 50代)

- SNS を利用すれば実現できる事ですが、デジタルがあまり得意ではありません。同じ疾患の人と交流して、大変な時の対処などについて聴いてみたいです。難病支援センターに問い合わせた時に私の病気である潰瘍性大腸炎の患者会は「現在無い」とのことでした。「患者会」という形でないにしても、保健所で単発でもいいので集まれる機会が欲しいです。(女性 50代)
- 障がい者が住みよい社会になることを願っています。(女性 50代)
- 地域は過疎化になり、自分たちは耳が聞こえないのに聞こえてるふりをしている。また耳の悪い私の悪口を言う人もいる。私はただ家族のために仕事をしているのに義母を1人にしてよく仕事にいくねと言うけれど、息子はバスがないと下にくれないから私が乗せて送っていくのをわからない人間がいる。バスが減って車がなければ下に行けない山奥の暮らしの中で高齢者も下にくれない(バスがないから)から、そこで人が固まりうわさ話しをする。耳の悪い人だから聞こえてないだろうと言うけれど、私は口話しをならっていた。でもコロナでマスクで口がかくれ、頼るは筆談か補聴器のマイクを近づけて聞くしかない。私の職場は老人ホームだが理解してくださっており、私も常にノートとボールペンを持ち歩いている。私には私の決まった仕事をやっていくけど人間関係は毎日メンバーがかわるから、少し気をつかう。でも私という人間を理解してもらえるようになり仕事しやすくなりました。聴覚障害は広報も聞こえないし…。SNS メールや音声を言葉にかえるサイト、そして携帯電話会社では「見える電話」を紹介され、使いやすいわかりやすい。これからもっともっと暮らしやすい世の中を期待します。(女性 50代)
- 便利だったり負担が減少する制度自体は用意されてはいるものの、それを知る手段が少ない様に思います。障害者用の駐車場に、以前から使っていて買い替えられていない車(2ドアクーペ)を停めて車いすに移乗させていた際、車いすに移動する姿を見ていた方(見かけていた)からは特に何も感じませんが、車いすが近くに無いと、見かけた通りがかりの方の視線が痛い事がありました。車の前後には車いすマークのマグネットを貼り、市からもらった表示(緑色の掛けるタイプ)もちゃんと表示した状態でも、です。こちら側の被害妄想かも知れませんが、障害者用の駐車場を利用する車には色々なパターンがある事が、市民の方々に周知されると利用しやすくなるのかなあって思います。乱文乱筆失礼致しました。(女性 50代)
- 内部障がい者は見た目で分からないので、電車やバスで優先席を使いたいの座れない。目的地迄の距離があり、歩くのが体力的に大変なのに車椅子マークの駐車場に置けない。「歩けるのにね」と言われる。(女性 50代)
- 最近、スーパーや本屋、洋品店などでのセルフレジ、セミセルフレジが増えましたが、知能低下のある妹には使えません。バリアフリーとは何だろうと思いました。他のお客がいない時にセミセルフレジの練習をさせようと、ヘルプマークを見せたところ、店員は私に向かって「介助者がいるなら、あなたがやればいいじゃない」と言ってきました。ヘルプマークをつけている人を見かけたら、「レジが使えないかも」と注意を払ってほしいと思います。私の息子はアスペルガー症候群で、18歳まで通院し、ことばの教室を利用しました。娘は学習障害があり、通級を利用していましたが通学している学校にはなく、遠方の学校に登校していました。2人とも軽度と診断され、手帳はもらえませんでした。とても大変でした。診断されるまで2~3年かかり、そのあと通級を利用できるまで半年かかり、その間に不登校になりました。小2後半~小6まで、学校には行かず、独学で勉強し、現在は大学生です。もっと早く通級が利用できることを望みます。発達障害についても学校、担任、通所、病院の連携がとれるように望みます。学校では、発達障害の子どもに対し理解が不十分で、厳しく指導したり、逆にほったらかしにされがちです。補助、支援員の増員をお願い

します。大学生のボランティアでも良いと思う（宿題の出し方、プリントの拡大などの支援）妹は小学校の時サッカー、中学ではバレーボールをやっていました。障害者スポーツではなく、ママさんバレーや中学生との交流の中で、一緒に楽しむことができないでしょうか。保育士による虐待が、今、問題になっている。アスペルガーの息子も同じ経験がある。20年も前のことなので（幼稚園）どうすることもできないが、何度も役所に相談に行ったが相手にしてもらえなかった。保護者の話にもっと耳を傾けてほしい。小学校では、とてもよくされて、感謝でしかないが音楽会の当日、「リズムが取れずに音を出してしまうから」と、音が出ないようにウッドブロックにティッシュをつめたり、鈴やタンバリンが鳴らないようセロハンテープで止めてあることを告げられ、ショックを受けた。高学年になると、リコーダーの指の練習だけで、音を出さないよう注意された。学習障害の娘も小2の時、音楽会の練習で全員の前でひどく叱られ、それ以降、音楽会、音楽の授業に（音楽室に入れない）出席できなくなり、学校にも行けなくなってしまった。文字が正しく書けないので予定帳が書けず忘れ物が多く、毎日叱られた。宿題の漢字の書き取りが苦手で夜中2時までやっていた。それでも「字が雑だから」とやり直しのふせんを貼られ、やり直しの文とその日の漢字がどんどん増えていき笑顔が消え、毎日泣いていた。私がやらなくていいと先生に連絡帳を書いたのだが、先生は読んでおらず、宿題忘れとして叱ってしまった。13年ほど前のことであるが学校の先生は発達障害の児童の理解をお願いしたい。大変だと思うが、レベルに合った宿題にするとか、出来なくても叱りすぎないように配慮してほしい。子ども達が、笑顔で学校に行けますように。（女性 50代）

- 私は、4年程前に手術の後遺症で足に障がいが残りました。太腿から踵までの装具を付けないと歩くことが出来ません。以前、電車通勤をしていた時、座席に座ることが出来ない事がとても多かったです。ほとんどの方がスマホを見ていて、障がいのある私に気付いてはくれませんでした。装具を付けていても気付いてくれないのだから、ヘルプマークをつけている人はもっと気付いてもらえないと感じました。又、障がい者である私も、障がい福祉については詳しくはありません。日頃障がい者と接点のない健常者はもっと関心が無いのでは…と思いました。例えば、教育の場で障がい福祉の事について考える機会や体験などあったりするといいと思います。子供の頃から障がい福祉について、知識として知っておく事が大切だと思います。すでに行われてたら、すみません。（女性 50代）

- 私は健常者として働いてきたつもりです。しかしその中でたくさんの心無い人達の声も聞いてきました。いじめにあった事もあります。だから障害のある人、無い人の共生ができればすごく良い事なのですが、本当にできるのか心配の方が強いです。福祉サービスも大切ですが、まずは、まわりをとりまく人達（一緒に働く人々）が障害を理解してくれる職場・環境作りをすることが先だと思います。その人の指導をする為に自分の仕事が遅れてしまうかもしれないのです。ひとつの部署であっても仕事の早さを要求する人、丁寧さ・確実さを求める人様々で「あちらを立てればこちらが立たず」が現状です。一般企業の雇用の方は限られてしまうのでは…という気がします。（女性 60代）

- 障がい者の目線が同じだと感じる位、いろいろな方がその立場になって接しられるようになったらいいですね。どうして手帳を持っているかも判らない人が多すぎです。住む所が障がい者に優しいものになったらとてもいいと思います。（金銭面と内装）（女性 60代）

- 身体障害者手帳は30歳を過ぎてから交付していただきました。先天性の内部障害ですので、もっと早くに申請をすれば良かったのかもしれませんが、時代的なものかもしれません。この時期になってしまいました。内部障害は外見からはそれとわからず、小学生の時は教員は知っていたのでしょうか。同級生からはえこひいきされていると思われていたようで、いじめられ、登校拒否児童でした。中学・高校・大学は特に大きな問題は起きずに過ごせたと思います。ただ大学4年の後のこと。就職問題です。両親は大学に研究員として残ってほしい。お金が欲しいならおこづかいあげるからと言われました。主治医でもあった伯父にも就職だけが全てではないと言われました。結果としては、当時女子大生の就職はもともと難しく、その上に病気持ちということでダメでした。大学の助教授

の紹介で入社できた会社でも、病気が理由で解雇されました。それ以来、短時間で健康診断とかないうパートアルバイトを選ぶようにしました。現在、3年前に在宅介護をしていた父を亡くし、高齢の母と2人暮らしです。漠然とした不安を抱えています、自分が支えるほうだと思っています。
(女性 60代)

- 障害者福祉とは、障害者ファーストであるべきだ！！障害者は、24時間、365日、その障害からのがれることはできない、その人らしさをささえることが福祉なのだから…しかし現実には回りの福祉を行う業者、行政側～ヘルパーも～の都合のよさ、福祉を職務とする側の都合の良さをおしつけているのが現実である。ダメなところだ。障害者福祉は、社会福祉は、社会主義のルールにもとづき、つまり障害に、障害者の本当にほしいところに、福祉の光があたらなければダメだ！！相談員もヘルパー業者も、もちろん施設などが働く側の都合の良さで動いてはいけない。障害者の一番近い所で福祉の仕事で生活をしようとする者、学者も含めもうけや楽に働ける、働きやすさを追求する。資本主義から離れた考えをもたねばならない。福祉関係の会社を起業する時、その後だってしっかり金銭的、立場的、いろいろ、優遇される、働くヘルパーも時給も上がっているがもっと福祉従事者としての教育をすべき。世間では、仕事を失った者がちょっと資格を取ればヘルパーになれる。ヘルパー不足の現実から、ちょっとイヤならすぐ別の会社、あるいは障害者が気づいてないならムリな強引なことする。業者、ヘルパー側の身勝手をおしつけることが福祉だと考え違いも多い。また、介護保険しか使用できぬ立場の人と、障害のみ又は介護保険も使用するが65才未満から障害者である人とは、やはりちがう！！良い意味での区別は重要だ。障害者の障害があつてのたいへんさは何才になろうとも、けしてなくなならない。消えはしない！！障害者は死ぬまで障害者なのだ。
(女性 60代)

- 精神の病気をもってる母。まわりの目はとても冷ややかで辛い。バカにもされる。白目で見てくる。言葉もてきとう。バカに話をして通じない。暴言を言う病院の先生。普通の患者さんでないの…とか大病院の先生となる人が家族の前、本人の前で平気な顔して言ってる。最低な人間と思った。そんな最低の人間が患者さんの病気をみる。信用に欠ける。こんなことはいつも。母がとにかく精神の病気になり、どこの病院でも家族の人が完全看護をしなくては入院させられません。いつも言われる一言。私が一ヶ月以上、朝昼晩、レンタルベッドを借りてずっと付き添い。精神の看護はできませんので家族がみて下さい。暴れたり暴言吐いて、周りの患者さんに迷惑かからないようお願いします…と。同じ人間なのに普通と異常扱って、これは差別と思う、いつも思う。精神の病気と45年間くらい付き合ってる母ですが…。母はとても辛いと思う。悲しいと思う。悔しいと思う。差別のない世の中になってほしいと願ってます。家族身内だけがお母さんの味方。私は母のよき理解者でよきサポートでありたい、続けたいと思っています。
(女性 70代以上)

- ヘルプマークを持っていても、多くの方が知らないように感じました。あまり効果を感じません。障害者である私は開業医ではなく病院受診が多い為、コロナ、ワクチン注射、その他の検査を近くの医院で予約がむずかしいです。たとえ予約が取れても家から遠くの医院ですと、一人では行けませんので大変です。もう少し、高齢者、障害者がワクチンや予防注射を受けやすい方法を考えて頂きたいと思います。障害と高齢、主人と二人で子供がいない為、これからの事は不安に感じますが、今は何とか暮らして行けたらと思っています。近所付き合い、友人、親族との関係を大切にしています。
(女性 70代以上)

- 障害者相談員は各町内にいません。障害者もいろいろの方がいます。1級の人でも自分で自由に働ける人、又同じ1級の人でも歩くことも出来ない人。同じ等級の人でもその障害の身体の個所によって、痛みのある人ない人によって、毎日の生活が違います。私の所では夫々で1級障害者です。夫を病院への通院も、夫が歩く事も不自由で毎回大変です。100m先の病院迄もタクシーで行く事もあり、歩くと15分もかかり、痛い足を引きずって歩くのを見ているとつらいです。
(女性 70代以上)

- 私自身は、自分の体の状態で、患者会に接する事が出来た為、保健福祉センターで、体操をやり絵手紙のグループに入って絵を描いたり、歌をうたったり指揮をとったりしてボランティア活動をして来ました。そういう関係の仲間も多くいたのです。けれど自分の体がだんだん出来なくなったのと、自転車ですれらの場所へ行けなくなったのです。今は徒歩でスーパーへ買出しに行くことがせめてもの行動です。病院へ行く為に、バスに乗り市の中央へ一生懸命徒歩で行くのがやっとです。内科で血液を採り、血圧をとり尿を持って行くので、受診の日は朝から大忙しです。半日位はかかるので月に1、2回は病院通い、薬を出してもらい帰宅の連続です。地域包括支援センターからケアマネージャーさんが来て毎月予定表を作って通院その他記入して持参して下さるので、デイサービスに2ヶ所通います。今はボランティアの友人でなく、通所するデイサービス施設の人達が主に友人です。世の中には、実にいろいろな人達がいて、色々な考えをしているものだと思います。今回アンケート用紙を送っていただいて行政の方も少しずつ平等社会というか、人権尊重を目指して行くのだと思います。私は私の病気で大変な思いをしています、病気はごく個人的な問題だと思っていたのです。コロナの影響もあって人と会わず、家にこもっています。デイサービスで会う人達だけが自分に縁のある人でたとえ、近所にいる人でも赤の他人だと思っているのです。

(女性 70代以上)
- 近年スーパー等セルフレジや自動精算機が主流になっていますが、障害者にとっては非常に大変です。なかには「買物に行きたくない」等社会生活が厳しくなり楽しみが奪われる人もいます。必ず1つは「人によるレジ」を置くようにしてほしいです。都会では「スローレジ」という高齢者、障害者に優しいレジを置くことが広まっているようですが静岡は遅れていると思います。広報で「障害者をバカにしない」広告を使ってほしいです。障害者別に、例)聴力障害の特徴について、コロナ感染予防でマスク着用により読唇ができない。ゆっくり大きな声で話すこと。発音がうまくできない→笑わない等。

(女性 70代以上)
- 日頃福祉の行政、大変な事、がんばって頂いて有り難うございます。自分のできる範囲の心配りをと思っているのですが、自分(一人の生活)の生活に追われその気持ちもうすれてきている気がします。困っている人手助けのいる人、弱者のお手伝いを健康な人特に若者に持ってもらいたいと思っています。その心は自然に育まれるものでなく家庭で学校で幼い頃の大人の接し方にあると思っています。多くの人が生活が大変だった時代の方が思いやりの心があったように思えます。差別や偏見のない世の中に少しずつ近づくことに希望を持ってやはり努力することと思っています。

(女性 70代以上)
- 下肢機能障害(4級)。それほど重度でもないが物心つく頃からなので障害者というくくりでいうと中間にいて自分ではおもっている。偏見や哀れみや差別などずっと受けてきた。だからといって自分の中に差別がないかというそんなことはない。寝たきりの親を見送った。妹は青色手帳を持つ。そんな彼らに差別的な気持ちを持ったことは沢山ある。脳梗塞で不自由になった知人から「あなた足が悪いなんて思えない。私よりよっぽど動けてる。昔から苦労したのね。大変だったのね。」やはり人はその立場になって初めてわかることがある。障害を理由とする偏見や差別をなくしましょうなんて偽善でしかないと思っている。

(回答しない 50代)
- 生物として“丈夫なDNAを未来に残す”という事は“本能”だと思います。だから障害のあるものを排除しようとするのも仕方のない事かとも思います。ですが、それはあくまで“生物の本能”としてであって、人間は例えばピーマンのような“苦いもの=毒”という本能を経験や知識で塗り替えていかれる生き物です。“受け入れる(理解する)”までは出来なくてもせめて“いじめない=わざわざ関わりに来ない”くらいの事は出来ると思うのです。私達は自分の出来る事を一生懸命やって生きています。なのに、ただそこにいるというだけでいじめられたり傷つけられたりしたら萎縮してしまって何も出来なくなってしまう。せめて、生きていく事はそしてその場所だけは奪わないでほしいです。世の中には目で見て確認出来る障害者、目では確認出来ない障害者とたくさんいます。どうか生きる事だけは奪わないよう健常者のみなさんにお伝え下さい。お願いします。(特

に“目では確認出来ない障害”がどれだけ生きづらい事になっているやら…(泣)趣旨と違う内容でしたらすみませんでした。(回答しない 50代)

【行政などに関して (52 件)】

- 行政と地域が連携して障害者が安心して暮らしていけるようになって欲しい。(男性 10代)
- 障がい児を抱えての生活は、ただでさえ大変です。福祉サービスを受けるのに役所に書類を取りに行き、病院に持って行き記入してもらい、また役所に行く、こういった作業がものすごく大変です。書類はホームページからダウンロードできるとか、特別日で夕方(夜)土日など手続きしやすい日時を設けるなどしてもらいたいです。(男性 10代)
- 手続きなどの場所が区役所だったり保健センターだったり一ヶ所ではなく、大変です。医療ケアのある子連れ、大きな用品を持って出向くことはとても負担に思います。たった一枚の紙をもっていっただけ、ハンコを一つ打つだけの為に、ヘルパーや他の家族、兄弟などすべてに連絡をし、外出しています。ペーパーレスが進み様々なものがデジタル化しているのにまだまだ時代の遅れを感じます。自宅からでも簡単に行えるようにぜひ検討して頂きたいです。又以前、たん吸引機を日常生活用具で購入させて頂いた際に、就学前の子どもは対象にならないと一度断られました。主治医に話し、一筆書いてもらってなんとか購入することができましたが、なぜ就学前の子は「対象外」になるのでしょうか。医療ケアを在宅で行っている人は赤ちゃんから大人までいます。全員が対象になることが当たり前だと思います。医師の一言がなくても全ての人が平等に支援を受けることができる市になってもらいたいと願っています。よろしくお願いします。(男性 10代未満)
- 子どもを県外で産み、昨年まで他県に住んでました。2つの都市に比べ、静岡市はあまりに遅れています。補装具の申請から支給券発行までも他の2~3倍時間がかかり、視覚支援学校ですらバリアフリーではなく、未就学児の適所も定員超、小学校も●●●●病院の奥にしかありません。それなのに、地域の小学校は先生方が通うことに反対している(理解がない)と聞き、愕然としました。東大阪は日本でも一番最初に障害のある人に対してのサービスを始めたそうです。一度話を伺ったり、小学校などを見学しに行かれてはどうでしょうか。私がいくらここに書いても、伝わらないと思います。本当に共生できる社会を作るのだとしたら視察したり第一人者に伺うのが一番だと思います。他の方は分かりませんが、私達家族からすると、理解や差別等は重視していません。ただサービスや学校、通所の定員を増やす、場所を増やす、そういった絶対必要なことを優先的にお金をかけてほしいです。役所の方へお願いですが、障害本人に会いたいという時は家に来ていただきたいです。補装具も医者了承しているのだから聞き取り不要だと思います。(●●●●は調査なく、すぐ発券してもらえました)いつ行っても待ちがあり、効率悪そうだなと思います。こちらは介助の間などの時間を使って行ってるんです。もっと待たせることに対して考えてほしいです。まず役所の方々が本腰を入れて、本気で変える気持ちで動いて下さい。よろしくお願いします。(男性 10代未満)
- まだ8才の子供ですが、この子が(親なき後…)大人になった時に手厚い福祉と安心して過ごせる場所が有る事を強く強く願います。私達、親も願うするばかりではなく、一緒に作りあげて行けたらいいのになあ〜。と思います。(男性 10代未満)
- 市の障害福祉の窓口、手続きがわかりにくい。毎年のお知らせでもいつも例年通りではなく、どうやってわかりやすく伝えられるかを常に意識してもらいたい。(男性 10代未満)
- 調査対象者の親より。両親の高齢化、病気等により、子供が1人残される状況が現実味を帯びてきました。今後私達の子供が辛い思いをする事なく生きていく事ができる環境が整っていく事を切に願っております。(男性 20代)
- 福祉サービスを利用する際の手続きが(更新も含めて)困難!!特に親が高齢になればなる程苦痛

Ⅲ 自由意見

を感じる。もう少し簡素化を図れないものか？でも行政に感謝していることも事実です、ありがたいです！！今は親亡き後の子の将来に考えれば考える程、気が遠くなる。安心して向こうの世界に旅立ちたい！！(障害の有無にかかわらず親の思いはそのようなものだと思います)(男性 40代)

- アンケートを進めていくうちに静岡市の計画、将来に失望していきました。入所施設、グループホームは社会的には隔離・入院と変わらなく、「共生」とは遠いと思います。障害を持ってしまうことは誰でもありえます。また障害者に近い状況(大病、大怪我による入院、出産・子育て、高齢、死別…等)も誰でもありえます。「誰もが障害を持って、独りになっても尊重され、支え合える、安心して、自分の人生を楽しめる」町になってほしいです。静岡市の「障がい福祉」はいいねえ。と全国に言えるような計画をおねがいます。(男性 40代)
- 交通費の助成制度は、手続きが煩雑になってから申請していません。利用者の側にたった行政をして下さい。声なき声を聞く事のできる方が制度策定して下さい。(男性 40代)
- 障がい者に対する十分といいだからこそですが昨年障がい者になってしまいました。その中で特に感じたのは官と民が障害者が職業をしやすい環境にしてあげて欲しい。確かに履歴書や職務書を書いたり、テストが難しいだったり就職自体もイマイチなので即採用はならないように思います。障害者は外国人や老人と同じとはいかないけど、同じ位にもって来てほしいです。日本はかなりそういう事は他の国より進んでいるんだと思いますが、その上に行く国、県、市、町の先進であってほしい。同時に我々個人でもそうありたいと思う。そして芸術面でも多くの人をもっと光を浴びても良いんじゃないのかと思います。老人と障害者の芸術のセンスは本当にびっくりする。皆、彼を見過ごす所があって勿体無いと思います。静岡という所は先進な発想や新発見を得意な土地柄なので障害者をいろんな世界の業界で人材をもっと活躍させてほしい。プレミアム年齢(社会人・学生)からはずれからはぐれた風に見られて就職をなかなかバイトでも中々採用できないです。彼らにチャンスと理解をあげてほしいです。そして広い世界、多くの事に静岡県民にアピールして、育ちの面でも先進化してほしいです。化学・工業・文化・芸術などの色々な各世界を、障がい者や老人も仲間に入れた国創るべきだと思いました。どの都市でもまだまだ弱いです。ここところを政治や社会共に協力しあいながら共に進化していってしましましょう。あと自立杖のお金ぐらいせめて立ててくらいしてほしいです。それ位はいいじゃないかなと思いました。(男性 40代)
- コロナ禍で保健の業務が大変そうですが、特定医療費受給者証の更新で保健所を訪れた際、とても丁寧な職員さんが対応してくれました。ありがとうございます。忙しいと思いますが頑張ってください。(男性 40代)
- 障がい者や難病患者を雇う事業者への障がいへの理解、配慮を高める取組をして欲しい。転職面接時にお願ひした“病気を理由とした配慮”も現状反故にされている。業務の多さと人手不足を理由に難病患者として体力的に厳しい環境で働く場面も多々ある。事業者への行政からの指導をお願いしたい。(男性 40代)
- 障害者の見直し(手帳)。小学2年で交通事故になり、頭部の手術をし、人工骨が入り、現在では歩行(足の不自由)があります。歩くのに大変になりました。(男性 50代)
- マイナンバーや他税手続等のサービスが障がい福祉の配慮をしているとは。(充実)していない様に見えます。(男性 50代)
- 私は、約5年前に母の認知症発症の為もあり、県外の自宅を処分し、仕事を早期退職して、静岡市内に約30年ぶりに戻りました。私自身は内部障害を抱えており、就業は可能ですが、幾つかの制限はあります。母は、車椅子を使用しています。前住地から戻り、静岡市との福祉サービスの差異に気付くところがありました。①経済的支援の不足。前住地では、障害者扶助料という毎月三千円程の支援金が支給されています。これは、情報へのアクセスに差が生じない様、新聞等のニュースソ

ースの確保の為だと聞きました。また、自動車税の減免がされていました。公共交通機関の利用のみでは移動出来ない1種の障害者が主な対象だったと思います。静岡市では、上記の部分は全く無い様です。(私の場合、全額免除でした。)②公共施設の障害者への配慮不足(歩道等を含む)。例えば大きな公共施設がありますが、入口までの駐車場からの距離が長く、車椅子移動に苦勞します。道路を跨いだ入口反対側の正面側には、複数の有料駐車場があり、車椅子使用の障害者は、こちらを使用する方が少なくありませんが、横断歩道も全く無く、道を渡る際或いは横断する方を目にする際、非常に不安を感じます。車が高速で通過します。一般の道路についても歩道が狭い上に障害物が多く見られ、安全な移動は適わない事が多いと思います。酷い場所では、狭い歩道上に電柱が入り込んでいる場所も散見されます。安全の確保がなされていないと痛感し、至急改善される事を期待しています。私達市民は、この現状を恥ずかしい状況と認識すべきと思えますので。

(男性 60代)

- 役所の福祉課はやさしい人がいない。同じようなことで何度も通わせる。一度ですむのに…。安心できる言葉もきかれない。全て事務的です。障がいを持っているのだから、書類なども多すぎて家族としてもやっていくのが辛い。どうしてもっと簡潔化できないのかわからない。又、どれだけつらくても苦しくても本人の辛さに同調してくれる人もいない。全国の障がい者からも聴かれる事は同じです。役所は信頼できない、優しくないと…。そんな事がないようにしてほしい。比べると保健所の職員さんは何でも親身になって聞いてくれる。市役所での福祉に関しての窓口に座る方にはしっかり教育を受けて、障がい者にもっと寄り添う力をつけてもらいたい。(男性 60代)
- 障がい者(本人)の様々な手続きに関して、その大半は書類の提出です。その上、連年の継続案件が殆どです。その都度、直接窓口に出向いて提出(申請)しなければならないのは、様々な負担やこのご時世、色々なリスクも伴ってしまいます。こうした手続きに関しては原則「郵便での提出」も可能とし、又、手続きや書類そのものの簡略化や省略化に向けて色々柔軟に改善して行って頂きたいと思っております。障がい者と一口に言っても、その種類や程度、現況、又、本人の置かれている環境等実に多岐にわたり、事情も複雑です。時として深刻でもあります。自力では容易に動けない者、すぐには頼める者や代わりの者がいない障がい者が、齢を重ねるに従い、多くなってくるはずですが。そんな人々が手遅れになったり、落ちこぼれたりしない様に、拠り所の糸口として、障がい者の手続きや制度等一元化した(障がい者用の)電話相談窓口の開設を心より望みます。障がい者窓口の担当の方が、機械的ではなく、明るく親切に対応して下さった時は、心が救われ、明るい気持ちになります。「共生の実現」とは、誰もが、相手の立場に立って、思いやりの気持ちを持てる事。相手が困っていたら、自分の事の様に手を差し伸べて上げられる事。そうした事が自ら自然に、当たり前になる社会の事だと思います。(男性 60代)
- 精神障害者の交通費補助の申請がたいへん面倒である。以前の様に全員に補助をしたらいかがでしょうか。お互いに事務手続きが楽になると思います。(男性 60代)
- 行政は何もしてくれない。必要な時は本人が全く動けない。(男性 60代)
- 市で高齢者の職業紹介を始めたが AM10:00～という話で行ったら、報導、議員、有力者等の開所式を優先、我々は待たされ、あげく報道機関のインタビューなどの依頼。紹介できる場所はハローワークからの引用。職員までそれを見とめ高齢者の就労について真剣に取り組んでいるとは思えず、市長のパフォーマンスと思った。その後自分で探した。全くふざけている。誰のために何をしたいのか? いらぬ、真剣に取り組んでいない。(男性 60代)
- いろいろなサービスがありますが、申請、手続きなど手間がかかりあきらめています。外出して社会参加したいと思っても、送迎の手配もできず、全て絵に描いた餅です。(男性 60代)
- 現在の静岡市は箱物に税金を投入しすぎ!! 民間事業者との企画が多く、考え物であり、市の財政を圧迫していると思える。それらの税金は他に廻す所は多々あるのではないか? 夜間の照明灯等見

直す所は多くあるはずで有る！！市長の見識が足りないと思う。大浜公園の1年を通し半分の間はどう考えて計画しているのか、大浜の海風の冷たい中、どれだけ見込みを考えているのか？余りにもドンブリカンジョウ！！静岡市長は業者との密月を考えすぎでは無いかと思えてならない！！アンケートを求める前に市自体の内部アンケートを取ったらどうか！！（男性 70代以上）

- まちは劇場推進課・世界に輝く静岡などなど、ポエム (poem) に自己陶醉 (うつつを抜かす) する市長に、今回の台風による市民からの批判は、彼にとって初めての試練であったと思う。私は天が彼に与えた天罰だと思います。もっと弱者に寄り添い、インフラを整備し、地道に政策を推し進めていけば、後世に名を残す名市長になっただろう。1. 障害者に交通費を支給すること。申請なしで以前のように。2. ■■市長、■■■氏は暴言連発なのに、なぜ市民に評価されるのか。人口10年連続UP↑、手厚い子育て支援。市長は何をしているのか？ 知事といがみ合い、それが今回の台風のお粗末な対応となった。3. 市職員の意識改革を図るため、以前のように採用時にゴミ収集車に乗せて作業を経験させること。汚いことは、避けて通れないことをわからせること。鉄は熱いうちに打て (教育や鍛錬は若いうちにすべき)。収集作業員の労役を知れ！ Don't worry about it. He's bound to lose the upcoming election. 以上。（男性 70代以上）
- 補装具の申請について。65年間給付頂いていますが、年々手続きが複雑して来た。何故か説明がされていないし、手続きしてから認可されるまで時間があまりにもかかりすぎる。日常生活に不安を感じます。（男性 70代以上）
- いろいろ手続をしなくてはならないのは理解できますが、身体障害者手帳のしんせいから装具ができるまで半年かかりました。その間清水の病院では診察ができなくて静岡まで4回通いました。車の運転ができないので人を頼まなくてはなりません。もう少し楽といっっては悪いのですが、なんとかなるといいと思います。（男性 70代以上）
- 市役所の職員の対応の悪さ、時間がかかりすぎる事が気になりました。娘は現在15才 (16のとし) ですが、中学3年生の時、障害がわかり、2～3月頃通学をあきらめ、B型の作業所を病院から進められ、役所に手続きに行きましたが、何も分からないゼロからスタートの親子に対し、説明のわかりにくさが目につき、作業所や支援施設などご自分で探して下さい。と言われ、リストがないのですか？と聞いてやっと、少ないリストをもらえました。職員全員がその様な対応ではけっしてないのですが、一部の人の目につく態度の悪さ、親として見過ごすことはできませんでしたが、役所の人の上から視線は何度行ってもなおることはない様です。B型の作業所で働く限り、役所へ行き、手続きは行かなければいけない事ですが、行きたくないというのが本音ですね。4月の異動でその職員がいなくなってくれないかなと思っています。（女性 10代）
- 相談窓口を設けてもそこまで行けない人がいる。個人情報の管理に不安を感じる。同じ書類を何度も提出しなければならないのはおかしい。工夫できるはず。装具等の支給基準がおかしい。必要だから申請している。働く事が出来ない (介護で) 人の在宅ワーク支援をして欲しい。地域と協力するのはいいがセキュリティが気になる。今のままでは不審者入りたい放題。信じることも大切だが世の中には想像以上に残酷な人間が存在している事を改めて考えて欲しい。何かあってからでは遅い！！障害者は危険な目にあってもいいと思っているのかな？とも思ってしまう。関係者はFace ID または指紋認証等で入場可能にするなど、何か対策をして欲しい。(学校、福祉施設) 区役所職員の教育、話し方等もう少しなんとかならないのか。必要書類を (申請等) デジタル化して欲しい。面談はオンライン可能にして欲しい。意見をいつでも書き込める、SNS のオープンチャットを利用出来るようにして欲しい。(今回台風の時大変な中、さらに色々な所と SNS もやりとりがあり、かなり疲弊したとの意見もあった為) (女性 10代)
- 医療ケア児を公立の保育園でみられるようにしてほしい。水族館もすてきですが、子育てに費用かからない市にしてほしいです。静岡市には助産院が入口に対して多い (日本一かも)。●●●病院もあり、市内の総合病院も多いので、そこをもっとアピールして、人口をふやしていけばよいと思う。

Ⅲ 自由意見

障害福祉にかかる予算は後まわしにされている感じがする。自宅分娩希望の人も増えているし、助産院で産みたい女性も増えています。移住をセットでもっとアピールしないともらえないです。

(女性 10代未満)

- 障害者福祉サービス等を利用するまでの手続きに手間がかかる。通所受給者証の申請の際、支援計画案の作成を相談支援事業所に依頼するのに混んでいて待ちになったり頼めなかったり。
(女性 10代未満)
- 精神障害でただでさえ頭が働かない時に、色々な書類を書いたり、何度も区役所や年金事務所など行き、難しい説明を受けて、分からないまま進められたり、「今回はこの書類が足りないから〇〇へ行ってまた来て下さい。」など…難易度が高すぎる。精神的に憔悴している時に、公的手続きのために心がけずられ、何度も途中でやめて死んだ方が楽になると思った。様々な福祉・サービスがあることは分かったが、それを受けるまでの道のりの難易度が高すぎる。弱い人を助けるもののはずなのに親切じゃない。その難しい道のりのせいで、サービスを使ってみたいが使えない人がたくさんいると思う。申請を難しくしてあきらめるように仕向けているのかと思えてしまう。(女性 30代)
- 本人及姉と二人の娘（現在33才、30才）の父親として記載いたします。健康福祉部という行政予算ありきで施行される毎年その課題・問題（クレーム含めて）多岐に渡っております。それぞれの部署にて役割・分担にて対応するのは当たり前ですが、「その通達、連絡」に何か「もったいない」という印象があります。担当職員の配備・研修がある事はわかりますが、何か多岐に渡っているので、各部署はと縦わりになり、「連携した協議」の実情（大変なご苦労があるはずですが）の報告・連絡が伝わってこないのです。知的障害児です、いくつですか、今何に取り組んでいますか、毎日充実していますか、御家族は等々それぞれの事情（個人情報だからではなく）Aケース、Bケースとして各職員様が堂々と「お知らせします、携わっていますという意識」を持っていたきたいのです。私は障がい児の親として、そんな職員様の存在を尊重し、いくらでも協力、意見表明をしていきたいと考えております。病人ではないこの人達家族としてサポートは当たり前です。行政福祉部様の支援なくして、この人達の人生はなくなってしまうのです。本当に宜しくお願い申し上げます。
(女性 30代)
- お忙しいとは思いますが、手続き関係が他の自治体より遅いように思います。素早く手続き等を行うことも福祉支援の1つだと思います。がんばってほしいです。
(女性 30代)
- 障害者手帳作成、受けとりの説明がわかりにくかった。通知の両面印刷はみおとしやすいのでやめてほしいです。受けとり時もサインでOKならハンコレスでもいいのではないのでしょうか？窓口でも障害に合わせた対応（筆談しましょうか？）などもなく、障害者自身が申請するのはハードルが高いと思いました。
(女性 30代)
- 難病指定の紙が3ヶ月たっても届かないので早く届けてほしいです。病院の支払いに困っています。受給者証を1日でも早く手元に届くようにお願いします。
(女性 30代)
- 私のように天涯孤独の身としては相談する行政も分からず毎日が死と隣り合わせでとても生きづらいです。病院では限界（特に心の問題）がありどこに行ったら良いのか？行く事も大変な人はどのようにすれば良いのか？が大変分かりづらいです。障害を抱えている人達に寄り添おうとしている事は理解できますが、中身はもっと繊細で複雑です。もっともっと当人の意見等に耳を傾ける事が必要だと思います。私も今回のアンケートで初めて知ったことがあります。入り口をもう少し広げの方が良いように思います。
(女性 50代)
- 福祉とは名ばかりの対応が長々と続き、国や自治体からまもられているという思いをした事がない。障害を障がいと表記することから始まり、要するに上辺だけの体裁を繕うだけで不自由になったことのない行政職や政治家がやっていることに本当の福祉はない。わが身にあるいは妻や子に障害者

がいてはじめて事の本質がわかり身にしみる。そうでない者がいくら口でもっともらしい正論を述べようと、弱者救済はおろか優しい気持ちにすらなれない。税込減となればいの一にカットされるのが福祉。足手まといの連中ぐらしか脳裏にないのだろうと痛感している。このようなアンケートをしなくてはならないくらい、実体を、実状を知らないという裏返しを示していると考え。わからないから聞くのだという輩は、わかりようとしなないのだという事を理解認知していない。局長も部長も課長も障害者であれば聞かずとも様々な施策を実行できるはず。3年毎の中期計画が進歩発展しない過去前例の写し返しに終止しているのがその証左。本気で共生を考えやろうとしているのであれば今の世の中は激変しているはず。この30年、失われたのは経済だけでなく日本人の心やゆとり豊かさだと思う。思いやりも寛容も消え、何にでも怒り痛めつける乱暴さが主になった。結局、皆その身、立場にならなければ何一つ考えられない想像力欠如の集合になり下がっている。教育もしかり、制度・法律・体制も期待できない落ちぶれた国になっている。(女性 50代)

- (再掲) 障がいの種類にもよりますが、支援が必要な方もいるし、支援者になれる方もいるはず。健常者の中にも、支援を必要としている方はいます。障がいのある・ないで支える・支えられるという考えはすべてに当てはまるとは思えません。人間としての個性を皆が理解し受容できるように、学校教育・社会教育・家庭教育で変えてゆくこと。考え方を考える柔軟性を持ち合わせることは難しいですが、やらなくては変わりません。例えば…今の小学生はジェンダーフリーについて非常に寛容(付き合いのある小学生たちは、まったく意識していない、または性別がなにか?という感じ)です。小学生のとき、片腕のない友人がいました、だから何?できないことは手伝いやってあげるのが当たり前でした。世の中の意識を妨げているのは、大人たちではないでしょうか。大人が子どもから学ばなくてはならないことがたくさんあると認識しています。「障がい者ですが、何か?」と言える世の中、障がい者であっても「社会貢献している=世の中に必要な人」という自信をもって生活できるような世の中になるとよいと思います。行政が変わろうと、障がい者からの意見を吸い上げてくださることに感謝申し上げます。「33ページ~46ページは、ページをきりとり、自宅保存用としてご利用ください。」障がい者だけでなくご家族の方も…多くの方は点線で記された場所をどのようにして切り取るのでしょうか?はさみを想定していますか?カッターですか?7枚の用紙を一度に切り取れますか?高齢者がカッターを安全に使えますか?ステープラーで止めた針を外すのでしょうか??手間はかかりますが、あらかじめ切り取りしやすいように点線に切り込みが入っているとか、別紙で添えるとか…考えが及ばなかったのでしょうか?しかも点線で切り取れば、保存しておきたいせっかくの書類の文字が欠けてしまいました。行政が本当に障がい者に寄り添う考えがあるのでしょうか?との疑問が残りますし残念です。障がい者として、社会に助けられていることが多いですが、私にできる社会へのお返し・社会奉仕活動も行っています。一人ひとりを大切にすること、障がい者という言葉がなくなり個性としてお互いが認識できる世の中になることを願っています。必要な時しか見えるように使用していませんが、支えてほしいときのヘルプマーク。駐車スペースのゆずりあい駐車証も体調の悪い時には使わせていただき助かっています。障がい福祉に関する環境が今よりも良くなりますように…。ありがとうございます。

(女性 50代)

- 特定医療費受給者証により、医療費の支出負担が減少しました。とても良い制度だと理解しました。

(女性 60代)
- 障がい者の介護保険料は安くしてもらいたい(例えば健常者の半額程度)。障害者の自動車税減免措置はありがたい。※静岡市役所も「障害者」の文言をやめ「障がい」を採用して欲しい!

(女性 60代)
- 中身のあちこちに書かせてもらいました。正直、いろんな書を見なければ福祉についてわからないと言うことが一番です。どのようなことが行われて、どのように取り組まれて、どのように活用すればいいのか全て。個人情報でもあるので本人又は家族が声を上げなければやはり利用できないのではないのでしょうか?地域でもどこまで介入していいか、どう取り組めばよいか、障害者とのか

かわりが、はっきりしていないのではないのでしょうか。障害をもつものと言っても本当に幅が広いので大変な事です。私などは障害手帳を持っていると言っても等級4で低く、なんとか自分で移動できます。つまり手帳上のこと以外に、生活の不自由さを持っていても対象ではないんだらうと思っています。そこが生活していく上で一番問題なのに、それは相談できるのでしょうか？特定疾患もありますがそちらも病状はおちついているのではずれのではないかと。等級が低くても目にみえない体の不調はあり、申請の時、もう一度来なおしてほしいと（必要な書“いつもいるからほしい”と私、必要ない場合もあるので“上で”確認してから来てと役所の人。結局必要でまた下へ）その時足が痛くて苦痛で…エレベーターでってその人は言ったけれど、そこまで行き来するのも苦痛なのに…なんのための福祉事業だらうと思ってその時も泣けたが、これを書いていても泣ける。障害ってなんなんだらうって。これは書にある障害とはまったく違うものなのではないでしょうか？現在11/18（金）、実は11/14（月）転倒してしまい、一歩もいまだに歩けない状態。診察は14日に受け骨折は見当たらないと言うことで自宅安静。いろんなこと生活補助してほしいが、お金を出せばきつといなくはないかもしれませんが。そんな経済力があるわけじゃないから仕事行けなくて困っている、洗髪、入浴はできない、着衣も面倒でそのまま…欲を言えばきりがないと言うことでしょうか？障害を認められるのが申請したもののみ、そしてそこから補助が必要と選ばれたもののみ。突然起きたことは障害福祉とはかけはなれたことでしょうか？体が不自由な時必要としたいものだと思いますがそれはまた別の話ですか。そこがわかりません。つまりは積極的にホームページを活用する人にしか届かないってことですよ。（女性 60代）

- 障がい者に対していいかげんに話して答えるし、適当に判断して説明する。ちゃんとしたことがあきらかになってない。これでは障がい者に対して困ります。これから一生障がい者で生きていくのに適当では困ります。言ったことを撤回して他のことにすりかえする、こんなの障がいの職員の言葉とは。言い方をもっと考えてほしいです。困るから障がいの手続きもするのでですから努力、協力してほしいです。今後に対して考えてほしいです。（女性 60代）
- 難病認定（肝炎）等々の更新手続きが毎年あり、役所、保健所等に手続きに行くことができない。いろんな手続きが多すぎて忘れてしまいそう。はっきり言って、まだ知らない補助等あるのかも知れないが、教えてくれる人がいないのが実状。今は夫がなんとかやってくれているが、この先不安です。（女性 60代）
- 障害のレベルにもよりますが、本人が生きてる以上は本人の権利や財産は本人の物であり、他者がそれを奪ったり実質乗っ取り状態になる事は許されません。それを可能にしてしまっている成年後見制度は国連からも廃止を求められています。この国が●●●等のような国であってもいいのですか？国がカルト教団とズブズブだった事が分かった今、行政までそこの乗ってしまうのではなく、県民、市民をいかにして守るかを考えて頂ければと思います。（女性 60代）
- 私は内部障がいがあります。働くことはできませんが、家のことは、以前より時間はかかりますが、行っています。ペースメーカーの植え込みをうけている人は、制限のあることがあるので、大変なことが多々あります。わが家は主人が身体障害の1級の手帳を持っています。特に言葉が不自由で自分のことを伝えることが大変です。何かにかきこまれた時、自分のどこが、どのような状態なのか、伝えることができません。そのことが心配です。息子は高次脳機能障害があります。このような障害ばかりの家族がいるということをお伝えしたいと思います。私は内部障がいなので手帳を更新しなければなりません。なぜでしょうか。一生体の中にペースメーカーが入っているのに更新するということが、私には理解ができません。わが家の愚痴となってしまうました。申し訳ありません。（女性 60代）
- 障がいの認定が正しく行われていない。軽くみられたり、軽い人が認定度が高かったり余りに周りに多すぎる。認定のやり直しをした方がよいと思う。（女性 70代以上）
- 病気になって初めて知る事がたくさんありました。健常者の人々は自分の生活を維持するために必

死で働いています。障害者の方々も少しでも自立した生活が送れます様、行政の皆様にはお願い致します。そして日々取り組まれていられる事には感謝致します。毎年役員が変わる自治体の人達にお願いするのは無理があると思います。長寿局はじめて知りました。病気をご近所に知られたくない人、外見分からない障害者も居ます。ぜひ皆様のお仕事に期待致します。（女性 70代以上）

- “こうして障がい者のためにいろいろな計画をしたり実行していますよ”といわんばかりにいろいろな部署や係を置いているようだが、あまり積極的に活動しているとは思えない。例えば一番身近な民生委員に何か困りごとを相談しても、積極的に行動にうつしてくれないし、むしろ聞き流してそのまま終わりにしてしまうので、何の役にも立っていない。役得して、お手当をもらったり、旅行につれていってもらったり、名誉職として勤めている人が多いから、今の世の中にこんな役職はいらないと思う。税金の無駄をはぶくためにいろいろな部署は作らない方がよいと思う。（女性 70代以上）
- 私の地域では市の公共放送が聞き取りにくいです。（女性 70代以上）
- 少し角度が違うのかもしれませんが、毎年受給者証の更新手続きがあります。その都度、医療機関に手続きのための書類を提出し、証明を受けるのですが、その時間や料金が掛かります。年金生活の上、交通費その他の費用の負担が大きいです。そのあたりの事務手続きの緩和ができないものかと？毎回思います。国保（高齢者の2割負担）や介護保険の負担は仕方ないと思いますが、毎日の暮らしは不安材料が多くて困惑の日々です。光熱費、食料品の値上がりで、この先の暮らしに不安です。福祉に関する意見になってなくて申し訳ありません。（女性 70代以上）
- 指定難病の申請をもっとスムーズにして欲しい（ネットでも出来るようにする）。受給者病交付のスピードを早くする。（性別不明 20代）
- （再掲）清水区役所正面中央階段に手すり付けて頂いたが、平地からの1段目になぜ手すりないのか？これでは希望した私は利用出来ません。装具使用にてのスロープは歩きにくいですし、手すりつかみにくく、側にプランターを置かないで下さいとお願い何度かお願いしたが、何も植わっていないプランター有ったこともあり何の意味が？清水市に戻してほしい！！P33のコメントのような事がなぜ不自由と理解出来ないか！！最初から別綴りにしてほしい！！（性別不明 年齢不明）

【建物や交通機関、道路に関して（30件）】

- 発達がある子は見た目がわからない為なかなか理解がされにくい。みんなが笑顔でくらすたいと思う。車の免許が難しい方も多く交通機関に乗る事が多いので交通機関をもう少し使いやすくなってくれたら嬉しい。料金がわかりにくい。（男性 10代）
- 多目的トイレの充実。インクルーシブ公園の充実。車いすの人でも外出しやすい街づくり（施設）。（男性 10代未満）
- 鉄道の障害者の定期割引が5割なのに対し路線バスの同割引が3割なので、経済的に圧迫される。（男性 20代）
- 少しの段差、道路（歩行者側の）幅、改善されると良いと思います。（男性 20代）
- 私はIT関係の仕事を探しています。見つかるには見つかるのですがお金が足りない。●●から通うには時間がかかる。●●→静岡駅の直通バスがほしいです。バイパスで作ってほしいです。（男性 20代）
- 公衆トイレが少ない。（男性 50代）

- (再掲) 私は、約5年前に母の認知症発症の為もあり、県外の自宅を処分し、仕事を早期退職して、静岡市内に約30年ぶりに戻りました。私自身は内部障害を抱えており、就業は可能ですが、幾つかの制限はあります。母は、車椅子を使用しています。前住地から戻り、静岡市との福祉サービスの差異に気付くところがありました。①経済的支援の不足。前住地では、障害者扶助料という毎月三千円程の支援金が支給されています。これは、情報へのアクセスに差が生じない様、新聞等のニュースソースの確保の為だと聞きました。また、自動車税の減免がされていました。公共交通機関の利用のみでは移動出来ない1種の障害者が主な対象だったと思います。静岡市では、上記の部分は全く無い様です。(私の場合、全額免除でした。)②公共施設の障害者への配慮不足(歩道等を含む)。例えば大きな公共施設がありますが、入口までの駐車場からの距離が長く、車椅子移動に苦労します。道路を跨いだ入口反対側の正面側には、複数の有料駐車場があり、車椅子使用の障害者は、こちらを使用する方が少なくありませんが、横断歩道も全く無く、道を渡る際或いは横断する方を目にする際、非常に不安を感じます。車が高速で通過します。一般の道路についても歩道が狭い上に障害物が多く見られ、安全な移動は適わない事が多いと思います。酷い場所では、狭い歩道上に電柱が入り込んでいる場所も散見されます。安全の確保がなされていないと痛感し、至急改善される事を期待しています。私達市民は、この現状を恥ずかしい状況と認識すべきと思えますので。

(男性 60代)
- 自分の障害を理由に、生活しにくいと思う事はありません。しかし障害の重い方には、まだまだ生活しにくいことは多くあると感じています。一番は道路のどこぼこ、歩道の段差、建築物の段差、上下移動など、行動しにくい場所がいっぱいあります。共生社会を目指すなら、重度障害者が日常的に介助なしでも外出できる環境を整えていく事を望みます。

(男性 60代)
- 道路の歩道と車道の境の段差は障害者にとって転倒しやすい為、段差を無くして欲しい!

(男性 60代)
- お世話になり、ありがとうございます!さまざまな公共施設、デパート、しいては、レストランや、喫茶店などでも、バリアフリーに成っていくとさらに、ありがたいです。

(男性 70代以上)
- 車イスで外出をする時に、町中には車イス用のトイレが少なく、外出がおっくうになります。気分てんかいの為に外出をしたいですがトイレの事を考えて中々行けません。葵区役所のトイレも使いにくいです。

(男性 70代以上)
- ※内部障がい者の(オストメイト)のトイレが少ない※身体障がい者特に内部障がい者は何故白い目で見られるのか。特に施設の人に多い(有料老人ホーム観光施設等)※一般道路に段差及び急勾配、側行が多く障がい者は歩きづらい。

(男性 70代以上)
- シニアカー(電動車イス)で歩道を走るが、段差が激しく時々動けなくなり、支援を受ける事があるが、特に古い道路は走れないことも有る。静岡市●●●から清水区抜ける歩道大学のウラ(公民館近く歩行者道路、車トメの間がせまく、電動車イスが通過出来ない。巴川沿い、電動車イスを通れる幅にしてください。歩行者、自転車は通れますが、シニアカーでも通れる幅にしてください。

(男性 70代以上)
- バリアフリーというと身体障害や視覚障害、聴覚障害のある方のための配慮や工夫を思い浮かべるのですが、知的障害のある方にとっても暮らしやすいようにしていただけるとうれしいです。たとえば、案内表示やトイレの中の使用説明の文字や漢字などをみると、大きな文字で、平易な文章で漢字にはカナをふってくれると、何が書いてあるか理解できる人は増えるとおもいます。バリアフリーのトイレでも中に入ってみると読めない説明でがっかりすることが多いです。どこを押すと水が流れるかトイレットペーパーがなくなったときはどうすれば補充のペーパーがセットできるのか(←A0Iのトイレの中で我が子(成人)がペーパーの補充の仕方がわからず出てこれなくなりました。A0Iのはむずかしい)少しの工夫で知的障害の人ができることは格段に増えます。仮名は是

非お願いしたいです。それとこのアンケート仮名をふってくださっているのはありがたいですが、もっと言葉を平易なものとしてください。“困難”ではなく“難しい”と言い換えるだけでわかるようになる人がいっぱいいます。
(女性 20代)

- 私は後遺症で右半身にマヒがあるため日常生活のあらゆる場面で不便を感じています。また、失調症状もあるため例えば履きもの（クツ等）を脱ぐときにスペースが狭かったり手すりやイスなど自身を支えるものがないと些細なことですが苦勞しています。他にも段差が見えづらく平面だと思い込み歩行していたらつまづいたことが何度かあります。（主に建物の周りや歩道と車道の間など）そんなときに路面の色に大差もなく特になんの加工（？）もされてないとイラつくことさえあります。しかし例えば段差がわかりやすいように色がついていたり、段差の手前に注意を促す看板や表示があれば歩行がラクになると思います。上記のことは今思いついた一例ですが、他にも日常生活で色んな不便だったり工夫があると思います。私はふとした所にも障がい者への配慮がされているのを見つけたときに「へえ～、ここにこうゆうことができるようになってきているのか」「なるほどな～」などと何かいい気になれます。私は経済や政治のことはよく分かりませんが、アベノマスクや桜を見る会、常軌を逸した言動をとったり違反をした議員らの給料などに充てる国民の税金があるのなら障がいのある人達をはじめその介助者や関係者がよりよい生活を送れるよう多くの国民のために税金を有効活用してほしい。
(女性 20代)
- 北街道、竜南街道沿いの歩道の起状が激しく段差が見えず踏み外して日中でも時々捻挫する為、歩道を平にして欲しいです。又、街灯が暗すぎてどこからが車道なのかも夜間もわかりにくいです。
(女性 30代)
- 車イスのバリアフリーを心配することなくでかけたい。修理や購入の手続きが面倒。(女性 30代)
- （再掲）私は難病指定を2つ受け（現在は1つ）、障害者手帳も交付されておりますが、良い医療を受け、家族に支えられ、元気に仕事もして暮らすことができしております。たいへんありがたく、こうした日々を送れることに感謝しております。様々な障害がありますが、私のささやかな経験からも物理的な支え（バリアフリー等の社会インフラ設備）、制度的な支え（行政やボランティア等）、社会の精神的な支え（健常者などの差別のない意識、自然にサポート出来る・する社会）は「共生」していくためには必要です。高齢者には誰もがなっていくわけで、高齢者にも様々なバリアがありますから、誰もが自分のこととして考えられるといいのですが…。
(女性 50代)
- 街中の道が悪く車イスで出掛けられない。段差がなくバリアフリーにしてほしい。●●●前の道は（歩道、車道共）ブロックで車イスで行けない。全て道をアスファルトに変えて欲しい。なぜあんな道にしたのか役所の考えが理解出来ない。子供のときはブロックではなくアスファルトだったのに。本当、市全体が障害の方にやさしくないと思います。駅から●●●へ近道を通って行くにもエレベーターがないのに、道は悪い。本当、最悪。(●●●、●●●までしかない)。出かけるなことなのかと思えます。
(女性 50代)
- 車いすなどで自由に外出できるようバリアフリーを進めてほしい。お店の中も車いすが通れる広さを確保してほしい。階段には手すりをつけてもらいたい。障害者用の駐車場を増やしてほしい。(車いす専用は少し遠くてもOK) 可能な限りで拡充できたら生活しやすくなります。(女性 50代)
- 公共交通機関がもう少し自由に利用できるようになって欲しい。バス、タクシー。道路が車イスでも行動しやすいように中心部以外も整備して欲しい。段差や歩道せまいなど。お店の商品の並べ方、高くにあると届かない。通路せまいと通れない。成長期の医療を見てくれる場所の情報発信。
(女性 50代)
- 本人をつれて出かけたりするのが大変です。色々なサービスもつかいながらやっていますが、スロープ道路などを直してほしいです。
(女性 50代)

- お世話になります。どうか点字ブロック付近の歩道を歩きやすい道路に整備してあげて下さい。私は目は見えますが、足があまり上がらないのもあり、先日、四つん這いに両膝両手の平をついて転びました。ケガをしました。場所は県立総合病院の手前の信号のある交差点にある歩道で、右側に薬局、左側に介護支援事務所、この介護支援事務所の入口の電電公社の四角いマンホールの周りを囲むひどい段差、コンクリート色なので気付きにくいと思います。そのマンホールの横に横断歩道に続く黄色い点字ブロックがありました。誰も声をあげないのかとびっくりしました。静岡はこういう場所たくさんありますよと通りすがりの人がおっしゃってました。お願いするにはきっと管轄が違うのでしょうか？どなたか聞き入れて下されば幸いです。
(女性 60代)
- 市内特に街なかの歩道がでこぼこして歩いて歩くのにとっても不安です。●●●から静岡駅までの歩道がもっとバリアフリーになるようにすぐにでも工事をして欲しい。路線バスをふだん利用して通勤したり、生涯学習センターに行くが、車体が高いため乗り降りが大変なことが多い。車体の低いバスの運行を多くすれば（車体が低いので）もっとお年寄りも公園や町なかに外出できるのではないかな？●●●バスが車体の低いバスで使用できないのはおかしい。（市の運行だから使えないとバス会社の説明があったが）バス会社に市から補助金を出しているようだから強く言って欲しい。小型バスを多くすればいいのではないかな？障害手帳1級取得者へのタクシー補助券も年間20枚は少なすぎます。バスの高さがあるってのことができないそうです。病院のリハビリがコロナのせいもあり実質行われていないので手術後、民間の医院でしかできませんが、そのために歩行訓練などのリハビリができなくて老後の生活に大きな不安を残しています。以前は退院後も病院で行われていたのにマンパワーの関係でできないようです。（リハビリをしたいのに）新しくホールやアリーナを作る際はもっと障害ある人にバリアフリーの設計にして欲しい。●●●は健康な人は問題がないが、高齢者にも急傾斜であぶない作りになっています。
(女性 60代)
- 公的施設でのバリアフリー化はすすめられていると思うが、日常生活を自立して地域で送ることを希望する人には、スーパーマーケットの通路が車椅子でもあるいは老人ならシニアカーでも通れるとか、大きな病院でなければ車椅子が入りにくいとか、そういうところも改善されるといいと思う。行政からの呼びかけをお願いしたい。
(女性 60代)
- 公共施設に車椅子で利用出来るトイレが多く有る事を望みます。交通の便利さを希望します。例えば定期的に無料で乗れるバス等があれば運転免許なくても高齢者の足が確保出来ます。
(女性 70代以上)
- 静岡市の道路について特に歩行者用道路が整備されていないため杖やショッピングカートを頼りに歩く者は危なくて恐い思いをしている。段差や小砂利（コンクリートがはげている）。
(女性 70代以上)
- 65才になって身体障害者手帳をもらいました。障害者になって、障害の意味を今回のアンケートで深く考えるキッカケになったと思います。自宅保存用も添付されており重要なアイテムとして保存しておきたいとも考えましたし、今後1人暮らしになったとき将来の事を考える事にもなりました。1つ、現在感じるがあります。どの駐車場へ行っても障害者用のマークはあるのですが、一般の方が平気で駐車しており買い物等（特にスーパー関係）に不便を感じる事が多々あります。身近にいらっしゃらない方の意識は低いと感じます。常駐も当たり前と思っている若い家族も多いと感じます。
(女性 70代以上)
- 免許返納後の交通機関の無い事！静岡から清水へのバスがどうして無いんですか。国道も走っていない。きれいな海があるのに。●●～●●●病院、●●への直通が無い。こういう事が返納できない理由の1つです！同じ税金を納めているのに、町の半分はきれいな広いレンガの歩道ができ、昔からの家並みがぎっしりで等、理由があるにしろシニアカーが車道をノロノロと、事故があっても不思議ではない。とっても怖いんです。あきらめているんでしょうが誰ひとり文句いわない。地元の議員がいるのに何もしてくれない不思議です！体を何回も手術してあちこち悪くなり、食が大変。こ

の病気で食べて！と言う物もこっちの病には控えて！こっちでは食べてと次の病で！総合病院でやって欲しい勉強会です。
(女性 70代以上)

- (再掲) 清水区役所正面中央階段に手すり付けて頂いたが、平地からの1段目になぜ手すりないのか？これでは希望した私は利用出来ません。装具使用にてのスロープは歩きにくいですし、手すりつかみにくく、側にプランターを置かないで下さいとお願い何度かお願いしたが、何も植わっていないプランター有ったこともあり何の意味が？清水市に戻してほしい！！P33のコメントのような事がなぜ不自由と理解出来ないか！！最初から別綴りにしてほしい！！(性別不明 年齢不明)

【就労に関して (26件)】

- 今私は、特養でパート職員として勤務しています。数年後には正社員として市役所で働きたいと考えています。また、障害者枠で試験を受けようと考えています。その時に感じたのが、障害者枠の紹介がホームページ上でもっと目立つ場所にあっても良いのかなと思いました。(男性 20代)
- 保護者より。就労施設や相談事業所から、個別支援計画が(書面)届かない。コロナで面談がなくなったので、本人のみの面談、サインで終わり、なのか…(男性 20代)
- 私は子供達の障害を理解してもらう為に福祉事業所をたくさん見学してきました。本人の意思を尊重して就Bに決めたのですが、上手くいきませんでした。うちの子は高1の時~そこの事業所に行くために訓練してきましたが高3の秋に定員オーバーになったという理由でお断りされとても驚愕しましたが、今となってはお断りされた事で他の就Bに行く事が決まりました。卒業間近でしたが色々な手続きをしながら思っていた事は、本人が行きたかった所ではなく、渋々決定するしかない状況の中で本人がどのような姿をとるのかとても心配していましたが、本人はしっかりとあらたな環境の中で居場所を作ってあらたな関係づくりに順応しようと頑張っていました。高卒から6年目、本人の努力もあります。何よりスタッフの方々、他の利用者の方々の温かい受け入れ態勢があったので今の落ちついた生活が送られています。この6年間も平凡な日々ばかりではなかったですが本人の成長はすごいものです。何より障害を持っていながら力を発揮しようとする姿は、私達も学ばせてもらっています。障害者の人だけがやける場所が必ずある。人に理解されない事の方が多いけど、理解してくれる人は必ずいる。障害をもってでもできることはある。希望がもてるのも周りのサポートがあるかでその力となると思います。ただ、サポートして下さる支援員の中で障害者のことも低くみている面があると感じるのは私だけでしょうか？どうか1人でも多くの方が障害者をあわれむのではなく(雑に扱ってみたり、障害者から学ぶ精神で関ってくださる方が増えますように。子供たちが通所している就Bは(■■■■)、ステキな人ばかりです。(障害者のことをちゃんと評価してくれています) こういう福祉事業所もっと増えるといいです。
(男性 20代)
- 障がいを持ち働いているが、一見すると障がいがわからない。働く上で、管理側は障がいを認識しているはずだが、どの点が配慮されているかわからない。(負担が大きいと感じることがある)障がい者を雇用する上で、どの点を配慮したのか、経営管理者は当該の障がい者に通知・告知することを義務化した方がよい。特別な配慮を行わない場合も障がい者本人の同意は必要であるし当初は大丈夫であったが働いていくうちに配慮をしてほしいことが追加となる場合もある。一定期間ごとに更新も必要と感じる。
(男性 30代)
- (再掲) 自立できるかどうか、その事につきると思います。その為には、お金が必要です。お金を与えるのか、仕事を与えるのか、この2点。お金に余裕あれば、色々なサービスを受けられるし、不安もない。わけの分からない施設を作ったり、そのための人を雇う事にお金をかけるなら、障がい者にお金が行き渡る事を考えた方がいい。色々なサービスを受けられてお得ですよ、いただきますよ、やさしくしますよ、キレイ事でウザイって思っている人は多い。やるべきは、そこじゃない。

自立＝お金がベース。

(男性 40代)

- おかげさまで、比較的職場環境の良い所に障害者雇用され5年が経ち、自立支援医療と交通費助成のみお世話になっており、助かっています。ただし、現在の生活にも問題があります。アンケートでも回答しました通り、雇用条件が不安定な為、両親がどちらか倒れた際、生活が成り立たなくなる可能性があります。生まれながらにして、障害を持った又は後天的に障害を持たざるを得なくなった人は、生きる価値が無いのですか？地方にはあまりにも、安定して働ける雇用条件が少な過ぎます。その為収入も少なく生活を切り詰め、将来を悲観し趣味を諦め行動範囲を狭くしないと生きられないと思っております。どの年齢になっても雇用され、生活が成り立つセーフティネットを是非とも考えて頂きたく嘆願致します。

(男性 40代)
- 障害のある人が働ける場所が充実してほしい。一般就労と作業所の間の方々の方が働ける場所があればと思います。フォローがあれば働ける人は多いと思います。スロープやトイレ手すりだけがバリアフリーではないと思います。会社の人のフォローがあることもバリアフリーだと思います。少しずつですが福祉に対する理解は深まっているので、今後も継続して行ってほしいです。時間がかかるとは思いますが人が変わるのには時間がかかることだと思っています。B型作業所で働く友人達の工賃の低さにびっくりします。社会に参加するという意味では目的は達成していますが、彼らの自立の支援がそれでできているのかと考えたら、とてもできているようには思えません。年金があるからいいでしょう？的な金額ですがいささか障害のある人に対して失礼な額です。経済的に自立できるような社会になってほしいです。年金＋工賃だとグループホームに入居ができないようです。最低でもその額もらえたらと思います。

(男性 40代)
- (再掲) 市で高齢者の職業紹介を始めたが AM10:00～という話で行ったら、報道、議員、有力者等の開所式を優先、我々は待たされ、あげく報道機関のインタビューなどの依頼。紹介できるところはハローワークからの引用。職員までそれをみとめ高齢者の就労について真剣に取り組んでいるとは思えず、市長のパフォーマンスと思った。その後自分で探した。全くふざけている。誰のために何をしたいのか？いらない、真剣に取り組んでいない。

(男性 60代)
- 軽度の難病者が「自分は難病だから」仕事を楽にしてもらおう考え方をして仕事をする人が一緒に働いていると、本当に大変なんだけど一生懸命働いている人のことを考えてないのが腹立たしい。

(男性 60代)
- 障害者雇用を増やして欲しいです。辛くて退職したくても次の仕事が無い、探せないという非常に厳しい社会の為、無職にずっとまってしまう不安が有り、行動に移せない。相談所に相談しても会社との間にはなかなか入って頂けない。又、入って頂けたとしてもその後の会社の対応が不安です。

(男性 年齢不明)
- 障害児の親の高齢化が進んでいますので、就労や通学の為の送迎をもっと充実させて頂けたらと思います。就労させたいのですが、身のまわりのことが困難です。少しの手助けで働くことができるのに、トイレが一人でできないと就職は難しいと言われました。サポートしてくれる就職先を増やして頂きたいです。

(女性 10代)
- B型事業所もなぜ時間制限があるのでしょうか？もっと働けます。

(女性 10代)
- 以前●●で働いていた時、(私は難聴です)仕事を伝えるのがめんどくさいのだろうが、私はパソコンでの打ち込みとか出来るのに、新聞の切り抜きやコピー、ゴミを捨ててくるなど殆どの仕事はただけずに、毎日何もやることなく、何もやる事がない事ほどつらい事はないという事を理解してもらえなかった。精神的にホントに辛い日々を過ごしていました。仕事内容を伝えるのがめんどくさい程●●は忙しい所なので、しかたないと言われたらそうですかと言うしかありませんが、障害者を使わなければならないという理由で、それだけのために仕方なく雇用する、なんだかなし

いですね。

(女性 10代未満)

- 障がい者を守るのも必要だが、障がいを持っている人も健聴者と一緒に生きていく気。接客のある仕事、会社一障がい者でも対応できる環境を整える。誰でも利用できるお店にする。障がい者雇用を増やしてほしい。大体、事務、清掃、軽作業が多い。イメージがそうなのかも。障がい差別では？障がいあるなし関係なく、働きたいと思えるところを増やした方が良いのでは。就労継続支援A、B型の内容が大きく違う。AとBの間がほしい。Aに近い人がBにいるのはもったいない。

(女性 20代)
- 私個人の話にはなりますが、私は障がい者と診断されてから、(される前も)ずっと親の世話になってきました。私は精神障がいということもあり、見た目は普通に見えるのか、何か手伝って欲しくても声をかけてもらえたり、気付いてもらえることはめったにありません。ヘルプマークも持ってはいませんが、いざというときがあまり無く、活用できていません。そんな時、やっぱり親のお世話になります。私は親に何か孝行したいと思いますが、今のところ、長い時間も働けず、自分の生活もままなりません。A型より時間が短くていいところがあれば、と思います。B型に通っていますが、やはり生活できるまでの賃金はもらえません。でもフルタイムや週20時間はとてもきびしいです。B型の人達はとても優しいですが、将来のことを考えると不安になります。こういった機会はありません、自分の話にはなりますが、書かせていただきました。いつも区役所の手続きなどはとても丁寧していただいております。ありがとうございます。

(女性 20代)
- 障害者年金がもらえてないので将来が不安。就労継続支援B型の工賃が少ない。1日4時間未満、送迎つき、働く日数が調整できて、通院日の確保がある就労継続支援A型がほしい。今の職場で一般就労で働きたいが条件が揃わず働けない。

(女性 20代)
- 今現在、障害年金と工賃が私の生活基盤です。母と姉にそれ以外の所は頼ってしまして将来に対する不安があります。B型事業所の経営というものが分かりませんがもう少し工賃への配当があればと思いますが、仕事の内容にもよるかと思ってしまうのかな厳しいのだろうなと考えてはいます。今の事業所は、通院や病気に対する対応は十分にさせて頂いており満足しております。不安は経済的な事が1番です。生活は家中全般は自分でできます。自分から相談する人や場所も探すことはできませんので不安はありません。

(女性 40代)
- 私は現在、訪問介護の現場で正規社員として働いています。昨年1月に足のケガ(服用してる薬の影響が大きな要因)をし、その年の5月に現在の会社に就職しました。現在、この会社で約1年半仕事をしてはいますが、何回も足の痛みが出て、その度に会社の人員不足もあり休みをとることができませんでした。入社時に私の病気の事も全て会社へ話してありました。この様な状況になった際に、会社側も雇用される側も、困る状況にならない方法はないのでしょうか？

(女性 40代)
- 50代の障害者です。今までに仕事に従事した経験から思うこと。＜仕事について＞周囲の環境・お金と欲に振り回されず本人が成長を追求できる具体的な仕組みが必要。健常であっても知的であっても身体であっても精神であっても仕事をしたい人が仕事をし、学びたい人が学ぶ為には、決してなくなる人間の根元的な差別心に打ち克つ1人1人の人格形成が求められているのだと思う。

(女性 40代)
- 暮らしやすい市になる事を望みます。障がい者が働きやすい会社があったらもっと社会とかかわりがもてるけど、時間や曜日に制限があるため、気楽に仕事を探せません。

(女性 40代)
- 内部障害：心臓機能障害で1級の障害者手帳を持っています。ペースメーカー使用で、その他に脊椎側湾症の手術もしています。今まではほぼ健常者と同じような生活ができていましたが、30代後半頃から疲れやすさが顕著に表れるようになり、さらにコロナが流行してから、ストレスから眼精疲労が治らなくなり、デスクワーク全般が出来なくなり、仕事が出来なくなりました。以後現在ま

で仕事が出来ない状態が続いています。両親と同居しており、親の仕事ができる範囲で1時間×週3回手伝っていますが、立ち仕事で時々休みながらも疲労して昼寝を1～2時間して、あまりその後やりたい事が出来ないという状況です。眼精疲労の方はひどいと頭痛や音を聞くものしんどいという感じで、眼科8件まわったが異常なし。心療内科でストレスからなので気にしなくなれば治ると言われましたが、治らないままで、テレビ、新聞、本、書類等目を使う事や集中することをすると症状が出ます。医者からは薬や治療で治るものではないので通院の必要はないと言われたので通院せず、ヨガ等で体調を自分で整えている状況です。上記のような状況で、仕事が出来ず収入がほぼない状態で支援がないか市役所にも行きましたが、ペースメーカー使用者は障害年金が受けられず自分の体調に合わせた形の仕事もなかなか見つからず（就労支援A・B型も検討しましたが、自分の希望するものがない）今はとりあえず親元にいるので何とかなっていますが、困っている事に変わりがなく、親に何かある前に自立した生活基盤が作れるよう、支援が欲しいです。

(女性 40代)

- （再掲）ITの進歩により、広報等の発信、受手からの情報へのアクセスも、昔に比べたら、ずいぶん簡単でスピーディーになったと思いますが、活用できる受手は少数なのでしょうか？私は自宅で仕事をしていますが（テレワーク）、ITの恩恵にあずかる身です。障害者の労働、社会とのつながり、情報収集などITにより様々な良い変化が今後も生まれると思いますし、それを期待しています。日々、障害者福祉にたずさわられる皆様に感謝申し上げます。

(女性 50代)
- 現在の生活になれてきたので、特に問題はありません。B型の就労支援へ行ってるのですが、時給が低く（100円スタートで3ヶ月ごとに50円ずつUP）もう少し上がり幅があるとやる気が出ると思います。

(女性 50代)
- （再掲）私は健常者として働いてきたつもりです。しかしその中でたくさんの心無い人達の声も聞いてきました。いじめにあった事もあります。だから障害のある人、無い人の共生ができればすごく良い事なのですが、本当にできるのか心配の方が強いです。福祉サービスも大切ですが、まずは、まわりをとりまく人達（一緒に働く人々）が障害を理解してくれる職場・環境作りをすることが先だと思います。その人の指導をする為に自分の仕事が遅れてしまうかもしれないのです。ひとつの部署であっても仕事の早さを要求する人、丁寧さ・確実さを求める人様々で「あちらを立てればこちらが立たず」が現状です。一般企業の雇用の方は限られてしまうのでは…という気がします。

(女性 60代)
- 就労継続支援B型の賃金が低いのが理解出来ない。精神障がい3級に障がい者年金が出ないのはなぜなのか。精神障がい者3級といっても2級に近い人、社会的に自立出来る人とある。精神疾患を3つかかえているが、3級扱いで自立もならず、収入も得られず、それがストレスとなり治らない原因の1つになっている。区分けが大まかすぎて狭間で何も出来ずに暮らしている。生きている事が家族の迷惑になっていると感じる。生きることがつらい。生きていることがつらい。あと何年迷惑をかけながら生きなければならないのかと考える。朝を迎えるとまた1日迷惑をかけて生活をずる事になる。せめて自立出来るだけの収入があればと考えてしまう。

(女性 60代)
- 就労継続A型、B型を利用していましたが、腰痛があるのでやめました。今は、母が高齢の為家事を手伝っています。母は元介護士、教員の免許もあります、それなりに教えてくれています。収入も小使（1万円位）程度なので家で内職ができる方法がありますでしょうか。「洗濯、そうじ、ごみだし、草取り、垣根の選定、水撒き等、買物の手伝い、料理の下ごしらえ（切る）が出来る、料理を学んでケーキは出来るようになりました（ヨーグルトケーキ、ホットケーキ）。」

(性別不明 年齢不明)

【情報提供に関して（26件）】

- いろいろな福祉サービスがあるのはわかりました。でもまだ、どのように利用すればよいのか、わからないこともたくさんあります。手続きとか簡単になるといいなと思います。サービスはいろんな事があるのでありがたいと思います。これからもよろしくお願いします。（男性 10代）
- 福祉サービスに関する情報提供の充実を図ってほしいです。更新時など、医療機関に診断書を請求するケースがあるが、次回更新予定時期や、必要書類を教えてほしい。病院に行く時間を有効に使いたいため、なるべく用事を2回で済ませたいため。（インターネットによる診断書の申請が可能になればよいが）（男性 10代未満）
- 文字化を増やして欲しいです。（男性 20代）
- 行政がどのようなことをやっているのかわかりにくいので、広報しずおか「静岡気分」などに障害福祉に関するコーナーを作ってもらいたい。（男性 30代）
- 色々と周知活動はしているのだろうが情報はただ待っていても得にくい状況なのかなと個人的には思う。自分でインターネットなどで情報を取りに行く事をしないと知らないことも多く取り残されたり自分にとって不利益になってしまう。若い世代の人は色々とインターネット等で調べられる時代だが高齢者等は情報を自分から取りに行くことが難しいのもっとこういうサービスがあるよとか給付金が出ますよとかもっと大々的に情報を打ち出していく事を今後願っています。手続きをもっと簡素化してほしい。申請したりする時に煩雑すぎて分かりにくかったり必要な資料や書類を集めないといけない事もあるので面倒な事や時間かかってしまったりするのでもっと簡単な形で処理できる形ができるとありがたいと思います。役所仕事なので仕方ない部分も理解しますが利用者にとっては分かりにくい事が多いです。（男性 30代）
- 福祉サービスにどんな物があるか知りたいです。（男性 50代）
- 様々な福祉制度があるとは思いますが、その制度の有無や利用状況等は実際に本人がその制度を受ける様な状況にならなければ判らないと思います。現在はITの情報が得られやすくなっている為、今後は福祉支援が必要となった際に容易にネットでどんな支援を受けられるかをより簡単に検索できる様なホームページ等があったら良いのでは？（男性 50代）
- 知らなかったことが多く、知る機会ともなり、ありがたかったです。情報をHPやパンフレットで発信してくださっていますが、内容が分かりにくいです。また、行政からのプッシュ型通知をして頂きたいです。精神障がい者の障害の程度は他人からは分かりづらく、また理解が得られにくいように思います。（自分自身でも具合が分かりにくいので、仕方ないのですが）ご理解が進められるような手立てを考えていって頂けるとありがたいです。双極性障害のため、躁状態を気をつけています。しかし、気分の上下を常に意識しています。これが厳しく疲れてしまいます。（躁状態で迷惑をかけたり、うつ状態で食事もできないことがあり、どちらも重度にならないように自分を見つめています。）周知の方策を考えてほしいですが、人間関係や社会的責任を持つことが関わるので、困難ですよ。公助、ありがとうございます。自助の努力を続け、共助を受けやすくするように目指していきます。ありがとうございます。今後とも、よろしくお願いします。（男性 60代）
- 新高額福祉サービスなど良い制度ができてはいるがこのことを知らないため、65才までサービスを使うことなく、過ごしてきてしまったがために、今後の施設入所など経済的なフォローなく、家族に頼らざるを得ない。公的なサービスでもっと上手く利用できる制度が欲しい。（男性 70代以上）
- アンケートに回答すること、アンケート内容を見て様々な制度を知る事ができました。今後も障がい福祉を充実させる為に「制度紹介等」の回数を増やしてほしい。若い頃は制度（例えば障害

者割引等)を受けることは社会に対して申し訳ないと思って利用していなかった。利用は高年齢になってからです。こんな考え方を持っている人もいます。軽い障がいでも高年齢化することで制度援助も変化するので検討を。(男性 70代以上)

- 各施設、団体からの色々なイベント情報などあるが、それぞれのHP、SNSで情報をお知らせしているので、そういった情報を1本化してもらえると、とても参加しやすいです。自立して生活できる様、グループホーム以外にも居住できる何かがあると良いと思う。(女性 20代)
- 高次脳機能障害について情報が欲しい。本人(妻)に聞いてもよく分からないし妻の親も特に説明する様子もないので第三者に話を聞いてみたい。今は特に大きな問題はないが今後不安はある。(女性 30代)
- 情報などもPCやケイタイがないので、「ホームページを見て下さい」とかはやめて下さい。福祉課等でも詳しく公表できるようにしてほしい。1人1人意見は違えど、「将来この子1人になったらどうしよう」は絶対に共通意見だと思う。(女性 40代)
- ヘルプマークは持った方がいいのか教えて欲しいです。支給決定初めて聞きました。もう少しわかるようにくわしく教えて欲しいです。困った所があれば何でも相談できる場所とかもあれば良いと思います。働きやすい環境作りなども大切だと感じました。障害者一人一人意見とか言える場所もあったらいいなとか思いました。引っ越しとかして来た人とかも地域の方とも仲良く出来たら良いと思いました。引っ越しして来てから避難所とかが分からないし、歩いて通勤とかしているし、避難所とかが分からないと困るから、静岡県避難行動要支援者避難支援制度に登録しようかなとも思いました。自分も前に少し経験したけど障害の理解が出来ている人と理解出来てない人がいるので、もし何か困ったり悩んだりしたら相談出来る所があったらなと感じました。私の職場では、私の場合、母と私でヘルパー2級の資格を勉強させてもらいながら、他の施設で実習させてもらって、ヘルパー2級の資格に挑戦して合格して働いているけど、介護とかも向いて居る人とかいるから、私は向いていてよかったと感じました。障害がある人でもない人でも職場の環境とか良い方にしていかないと大変だなと感じました。(女性 40代)
- (再掲) ITの進歩により、広報等の発信、受手からの情報へのアクセスも、昔に比べたら、ずいぶん簡単でスピーディーになったと思いますが、活用できる受手は少数なのではないでしょうか？私は自宅で仕事をしていますが(テレワーク)、ITの恩恵にあずかる身です。障害者の労働、社会とのつながり、情報収集などITにより様々な良い変化が今後も生まれると思いますし、それを期待しています。日々、障害者福祉にたずさわられる皆様へ感謝申し上げます。(女性 50代)
- 今、情報社会の中、ほとんどがパソコンになって来ています。何でもホームページを見て下さい。など、パソコンが使えない方も沢山います。使えるのがあたりまえのように考えて欲しくありません。(女性 50代)
- (再掲) 便利だったり負担が減少する制度自体は用意されてはいるものの、それを知る手段が少ない様に思います。障害者用の駐車場に、以前から使っていて買い替えられていない車(2ドアクーペ)を停めて車いすに移乗させていた際、車いすに移動する姿を見ていた方(見かけていた)からは特に何も感じませんが、車いすが近くに無いと、見かけた通りがかりの方の視線が痛い事がありました。車の前後には車いすマークのマグネットを貼り、市からもらった表示(緑色の掛けるタイプ)もちゃんと表示した状態でも、です。こちら側の被害妄想かも知れませんが、障害者用の駐車場を利用する車には色々なパターンがある事が、市民の方々に周知されると利用しやすくなるのかなあって思います。乱文乱筆失礼致しました。(女性 50代)
- 私は29才のときに自己免疫疾患を発症し、30代後半からSLEと確定診断を受け、55才の時に発症した病気をきっかけに杖歩行となり、昨年には腰椎圧迫骨折が原因で、歩行困難になりました

た。現在は、夫と2人で生活しており、夫の介助を受けながら生活しています。障がい福祉について思うことは、障がい者の目線を考えて進めることが大切ではないかということです。中途障がい者は、突然生活が全て変わります。私は、福祉関係の仕事をしていたので相談窓口やサービス内容等の情報を知らずに困ることはありませんが、わかりにくくどうすれば良いのか困る人は多いと思います。専門職の対応でも差が出ることを在職中に感じました。生活する環境は自分の努力も必要ですが、生活の質を保つことが、将来を悲観せずに過ごすことにつながると思います。ささいなことから障がい福祉を進めていってほしいです。身近なことが改善されることが、生活しやすい社会（障がい者にとって）になると思います。（女性 50代）

- （再掲）中身のあちこちに書かせてもらいました。正直、いろんな書を見なければ福祉についてわからないと言うことが一番です。どのようなことが行われて、どのように取り組まれてて、どのように活用すればいいのか全て。個人情報でもあるので本人又は家族が声を上げなければやはり利用できないのではないのでしょうか？地域でもどこまで介入していいか、どう取り組めばよいか、障害者とのかかわりが、はっきりしていないのではないのでしょうか。障害をもつものと言っても本当に幅が広いので大変な事です。私などは障害手帳を持っていると言っても等級4で低く、なんとか自分で移動できます。つまり手帳上のこと以外に、生活の不自由さを持っていても対象ではないんだろうと思っています。そこが生活していく上で一番問題なのに、それは相談できるのでしょうか？特定疾患もありますそちらも病状はおちついているのではずれるのではないかと。等級が低くても目にみえない体の不調はあり、申請の時、もう一度来なおしてほしいと（必要な書“いつもいるからほしい”と私、必要ない場合もあるので“上で”確認してから来てと役所の人。結局必要でまた下へ）その時足が痛くて苦痛で…エレベーターでってその人は言ったけれど、そこまで行き来するのも苦痛なのに…なんのための福祉事業だろうと思ってその時も泣けたが、これを書いていても泣ける。障害ってなんなんだろうって。これは書にある障害とはまったく違うものなのではないのでしょうか？現在11/18（金）、実は11/14（月）転倒してしまい、一歩もいまだに歩けない状態。診察は14日に受け骨折は見当たらないと言うことで自宅安静。いろんなこと生活補助してほしいが、お金を出せばきつといなくはないかもしれませんが。そんな経済力があるわけじゃないから仕事行けなくて困っている、洗髪、入浴はできない、着衣も面倒でそのまま…欲を言えばきりが無いと言うことでしょうか？障害を認められるのが申請したもののみ、そしてそこから補助が必要と選ばれたもののみ。突然起きたことは障害福祉とはかけはなれたことでしょうか？体が不自由な時必要としたいものだと思いますがそれはまた別の話ですか。そこがわかりません。つまりは積極的にホームページを活用する人にしか届かないってことですよ。（女性 60代）
- 現在自分の事は自分で何かとやっている。現実に、年令的、体力的に出来なくなっていることも事実である。でも年金だけでは楽しむこともままならず働いている。いつの間にか高齢家族と言われ、少しショックを受けている。体力作りに、2人で歩くように毎日散歩をしている。高齢の（65才）一線で福祉を受けられ感謝したことも多々ある。サービスが分からず、どこに問い合わせれば良いかも、どんなサービスがあり利用できるのかもわからない。区役所は遠すぎる。TELもどこへかけて良いのかと考えてしまう。まだ動けるので幸せと思い、夫婦で支え合って生活をしている。1人暮らしになったら、どうするか常に話しながら生活はしている。子供達の生活に迷惑をかけない様断捨離も少しずつ行っている。（女性 60代）
- アンケートが届いたが全く知らない事が多く、ビックリした。若い頃は子育てに忙しく、仕事・家事と休む間もなく、そのうちに病気になる。私の場合たまたま近所に親身になってくれる方がいたので何とか耐えましたが、行政にお世話になった記憶がありません。知っていたらもっと得をしたのと思います。知らない方々の為にこれからの人達の為にもっと努力して下さい。もっと宣伝して下さい。よろしくお願いします。（女性 60代）

- （再掲）難病認定（肝炎）等々の更新手続きが毎年あり、役所、保健所等に手続きに行くことができない。いろんな手続きが多すぎて忘れてしまいそう。はっきり言って、まだ知らない補助等あるのかもしれないが、教えてくれる人がいないのが実状。今は夫がなんとかやってくれているが、この先不安です。
（女性 60代）
- コロナがあったので、説明の載った本をもらっただけで、内容が良く分からないことが多い。障がい者福祉のしおりをもらいました。詳しい説明がなく、読んでも分からないことが多い。
（女性 60代）
- いつも福祉に力を入れて下さりありがとうございます。いろいろな制度が充実しているのはわかりますが身近ではない。申請の仕方や内容について資料を送ってくださると助かります。もっと申請しやすくなるとありがたいです。
（女性 70代以上）
- 今回のアンケートで福祉サービスが色々あることを知りました。もっと周知できるよう、工夫をしてほしいです。
（女性 70代以上）
- はじめての事で色々な地域のセンターの事を教えて頂き有り難うございました。これを参考にさせて頂きます。知らない事がいっぱいありますが本当にたすかります。福祉の事は何も知らなかった。色々助かりました。本当に有り難うございました。これからもよろしくお願い致します。
（女性 70代以上）

【保育や教育に関して（17件）】

- （再掲）生活保護の施設が●●●●にほとんどない。また、両親が共働きだが、生活保護の利用時間が短いため、仕事を辞めないとならない。学校+放デイで7:30~18:00見守りの体制があるが、卒業と同時に短くなることで、家族の負担が多くなる。両親も歳をとり、体力的にも介護が厳しくなると考えられる。また、弟妹の学費がかかるため、仕事を辞めると経済的負担も大きくなると思う。学校に通っている時と同様のサービス時間を確保できる施設が増えることを望みます。
（男性 10代）
- 支援級は基本的に8人に1人の担任がつきますが、発達障がいがあったり、知的がひどかったり、多動でどこかに行ってしまう子がクラスにいと、とてもとても1人の担任では8人を見ることができません。支援員の先生も1人しかいなく、加配の先生が足りません。支援級のクラスには、8人に1人の担任という制度はそのクラスの児童の程度によっては学級としては成り立っていません。保護者の付き添いも必要になります。支援級には先生の人数を増やしてほしいです。学校によっては学級崩壊になって異動してきた先生が支援級にあてられます。そして、先生たちによっては、通常級を受け持つことがステータスだと思っている人もいます。学校の中で支援級はなぜか小さくなっているように感じます。本来、支援級にはベテランの先生を配置していただくと助かります。
（男性 10代）
- 息子もそうでしたが、小児のグレーゾーンの子たちは、千差万別です。支援の先生や補助のスタッフさんを増やすなど、個々の支援、手厚い成長への関わりがその後の子どもたちへの成長につながっていくと強く感じております。突然には、変りません。小さなステップをいくつも重ね、その成果は成人した頃に現れてくれたらと願うばかりで、日々過ごしております。現在、グレーゾーンの子、個性の幅はどんどん広がっているかと思っております。1人1人を大切に未来ある子どもたちに豊かな心に育つ環境、人との関わりをもてる事を祈っております。今後の繁盛に期待しております。色々な法律や情報を知ることができました。アンケートに選んでいただき、ありがとうございました。
（男性 10代）
- 合理的配慮を求めて特性やこういう方法を試した時はうまく機能したなどの情報を伝えても精神

論で抑えつけられ「お前はだめだとか、このクラスにいらぬ」と教室から閉め出され、荷物も取りに入らせてもらえず冬休み前最終日に帰宅したことがありました。担任により子供の学ぶ機会を奪われ、されに胸ぐらをつかまれ壁に押し付けられ恫喝されたり、作った工作を壊され捨てられたり…。ひどい指導といわない指導に、同僚の先生方も校長先生やその他の大人も見て見ぬふりだったこと。他の児童からの友達保護者から情報を知り警察に相談。被害届は出しませんでした。担任と校長先生との面談で話を聞き、こちらも冬休み明け学校に通わせるのが不安だと伝えると、担任は逃げるように辞職し、特に謝罪（子供に対して）もなく終わりました。もうその後は何もなかったように学校から報告もなく、警察の方から担任が辞職した旨を聞かされました。学校や教育委員会は保身で大事にはしたくないのは分かりますが、そのようなことがまかり通ること自体、問題だと思います。様々な児童がいて小さな困り事を抱えながらも頑張っている学校に通っていること、もう少しみんなが障害や配慮が必要な児童に対して知識をもって、偏見なく対応できるように、そして困っていることを安心して伝えられる、助けを求められる社会になると良いと思います。

(男性 10代)

- 私は発達障害をもつ子供が2人います。長男は障害認定を受けていますが妹のほうはグレーゾーンなので認定されませんでした。長男も認定をされているので特別支援学級に行っていますが、受けられる支援も中学校までで、高校からは支援を受けられません。たしかに16才から働く事はできますが、一番お金のかかるのが高校、大学だと思います。日本はやっぱり学歴社会だと思うので、もうすこし長期的支援をしてほしいです。どこに相談したらいいのか、相談しても肝心なところは結局はしません。学校の先生に相談しても先生も知らない事がすごく多いので、もっと認知されてもいいのかなあと思います。よろしくおねがいします。

(男性 10代)
- ここ数年で放課後児童デイが急増する一方で、閉所したり、スタッフが減って利用日数を減らさなくてはいけなかったりと、利用側にも影響があります。古くからある事業所は、授産所でも生かせるような作業をとり入れた療育をしてくれますが、新しい事業所は遊びがメインになっています（子どもはそっちの方が楽しいのですが…）。また、本来は療育を目的としているため、1カ所ではなく複数のデイに通う事をすすめていたと思うのですが、1カ所に毎日（土曜日も含む）通わせている家庭も多く、利用者の囲い込みも見られます。療育というより、託児所になっています。また、延長料金もデイによって、かなり金額がちがいで、無料～1時間2000円となっていて、高い所の利用はなるべくしないようにしていますが、家から近いため、延長を使えない事をたまに不満に思っています。今、一番不安がある事は、息子（小5）が高等部になる時です。現在はスクールバスですが、高等部からは徒歩です。共働きで、なんとか出勤時刻に間に合う所に配属してもらっていますが、4年後、息子が1人で家の鍵をしめて安全に気をつけて通学（登校）できるとは思えず、退職の可能性もあります。以前より障害児がいるから働けないという事は減ってきてはいると思いますが、まだまだフルタイムで働くのは難しいと思っています。親の代わりに通学支援をしてくれるサービスができるといいなあと思っています（もちろん無料でなく有料で。ただ、高すぎるのは困りますが…）

(男性 10代)
- 今年、高校受験をしようとして進路にすごく悩みました。本人は知的障がいがあるのに対し、年1回発達テストでIQが少し高かったとき、支援学校への進学を断られました。体験にも行けず、知的級で中学3年をすごした子に対し、通信高校を進めてくる学校の体制に不満を感じました。“あと半年で、3年間分の授業を覚えなないといけぬ本人の大変さ”を考えると親である私は、“今少しできた所で、この先の高校に行ってやっていけるのか”不安でしかたありません。グレーゾーンと呼ばれる子に対する、高校進学への情報があるといいのになあ。と今でも感じています。(男性 10代)
- 現在、我が子は10才、小学校5年生です。中学校は、今年の夏に発達検査を行い、主治医の方からも支援級での進路をすすめられました。親の私も、小学校での環境や友達との関係を見ていて、今の状況に満足しており、子どもも毎日学校へ楽しく行けているので、中学校の支援級で良いかと思っていますのですが、我が家から進学先となる中学校がとても遠く自転車での通学となるそうです。

自転車の練習をして、少しずつ慣れてきて乗れてくるようになりましたが、我が子は転んだりするとパニックを起こしてしまうのでとても不安です。私自身も普段、自転車を利用するので自分が気を付けていても、危ない思いを何度かしたことがあるので、とても不安です。私の周りでも、自宅から中学までの距離が遠く自転車を利用するという通学手段になってしまい、支援学校への進路を選択する家庭があります。障害をもった子は臨機応変に対応することが難しい場合もあるので、通学の際にふとしたことがきっかけで事故に巻き込まれたりすることのないよう、現実的には難しいことだと思いますが、スクールバスのような送迎や学校でも先生たちと通学路での気を付けるところを一緒に学ぶなど何か方法があったら良いのになと思いました。 (男性 10代)

- 通学の送り迎えが毎日のことで本当に大変です。放デイの送り時のように、自宅に来てくれて学校まで送るサービスを作って下さるようお願いしたいです。それが可能であれば、より多くの保護者が定職に就くことができ、安定した生活ができると思います。親が元気でないと、子どもにも影響します。障がいのある人を見守る家族や本人の支援の充実をお願いします。短期入所が児童が難しい状況にあります。希望する児童が必ず月何日か宿泊できる予約制度があればとても良いです。見守る家族に休養は必要ですね。(児童も高齢者もそれは同じところかと思っています。)家族が介護放棄につながり、本人の身を守れなくなります。(家族の支援=本人の支援です。) (男性 10代)
- 知的障がい児の学校は支援級として増えてきているし、どこの公立小学校にもあるが、身体不自由の子が通える公立小学校がない。本当に困る。兄弟同じ学校へ通わせたいし、公立でもスロープやエレベーターなど身体障がいの子どもでも通えるようにするべきだと思う。障がいを理由に就学先が限られるのはおかしい。 (男性 10代未満)
- ①こども園に入園の際、静岡医療福祉センターで行われた、加配を決める特別面接の時のやり取りです。A園に抽選で決まり、●●●■■所長に、その旨を伝えた第一声が「またA園の予定者！？何人いるの？」「そんなに多くどうすんの！？」と声を荒げられました。私共に言われたと思い、A園にお任せするつもりで」と言うと、■■所長に「A園は関係ない！！」と怒られました。その後、すぐ所長から「療育園は考えてない？」「他のB園は？」と、すすめられました。何のための特別面接だったのでしょうか。市役所の人数の振り分け作業の事務的な内容でした。子供の特性を伝えるつもりで会場に行ったのに、説明する前にそのように声を荒げられ、大変不快な思いをしました。翌年辺りから入園の手続き前に、人数の枠を決めるなど改善されたようですが、それ以前に■■所長の、役所内で決める内容の文句を、保護者に向かって、きつい言葉で言い、子供の特性を聞かずにすすめるやり取りに、怒りと悲しみで終わりました。(このようなやり取りは、他の保護者の方もありましたので、私共だけではないです) ②乳幼児期に、●●●こども園へ見学会に行った時のことです。障害児保育をしている園なので、親子で在園児の子達と同じ教室と一緒に遊べると聞いていました。ですが、担任の先生達が、全く私達親子(他の親子達数組も)見ず、背を向けて歌ったり、手遊びを始めました。何をしているか見えない状態で、1時間程して帰りました。翌月も同じで、3～4回このような教室の隅で見ているだけで、参加させてもらえなかったのも、療育の先生と一緒に行っていましたが、翌月から止めました。後日、他の公立こども園では、先生、在園児と同じ輪の中で遊んだり、声掛けもあったと聞き、“なぜ(当時の)●●●こども園は障害児親子を無視するのか”“もし入園すると迷惑なのか”と、その場にいる事が辛かったです。以上のことは、“障害児”と診断されたばかりで、どうしていいかわからず、公的サービスに助けを求めましたが、怒られたり、無視されたりと、ショックを受けました。私立の幼稚園、小中学校では、障害児の受入れ拒否があったり、生活していく上で難しいですがせめて公共・公立の施設では、味方になってほしいです。長々と書き綴り、拙い文章ですみません。毎回、区役所障がい者支援課の職員の方には適切な提案・丁寧な説明をしていただき、感謝しています。 (男性 10代未満)
- 知的障害を持つ子供がいますが、将来の事を考えると不安でいっぱいです。障害のある人でも生活しやすい街になってもらいたいです。まずは、中学卒業した子供の進路として、知的障害のある子供は進路先が限られてしまっているのが困っています。 (女性 10代)

- に遊びに行ったとき障がい児はあそべないものばかりでした。遊具であそぼうとしたら、ダメですとことわられとても残念でした。放課後等デイサービスはなぜ9:00~17:00が多いのでしょうか(学校休業日)土・日曜日でも開所してほしいです。(女性 10代)
- (再掲) 医療ケア児を公立の保育園でみられるようにしてほしい。水族館もすてきですが、子育てに費用かからない市にしてほしいです。静岡市には助産院が入口に対して多い(日本一かも)。子ども病院もあり、市内の総合病院も多いので、そこをもっとアピールして、人口をふやしていけばよいと思う。障害福祉にかかる予算は後まわしにされている感じがする。自宅分娩希望の人も増えているし、助産院で産みたい女性も増えています。移住をセットでもっとアピールしないともったいないです。(女性 10代未満)
- 娘は医療ケアを必要としています。これからの就学について不安をもっています。今の静岡市では支援級に「病児クラス」がないため「知的」クラスに「医ケアが必要な子」として入学するようです。知的な障害はなくても知的クラスに入らなければならない現状にどうしたらいいのか…とても悩んでいます。(女性 10代未満)
- (再掲) 高額かつ長期(高額難病治療継続者)としての認定、負担上限月額軽減を受ける方法を、年単位の金額でも判断してほしいです。眼科や歯科への通院も欠かせず、ほぼ毎月出費があります。知的障害のある人に対し、社会がもっと優しくなって欲しいです。自分より劣った人を見つけると、自分が偉くなったように感じて、いじめに参加したり、きつい態度に出る人が多すぎます。知的の障がいがあっても、1人1人に合わせた子供への学習が本当に大事です。障害者枠でも筆記試験がある場合もあります。実際、娘の同級生は試験の1ヶ月前に担任の先生から漢字、計算ドリルを渡され、苦勞しています。どうせ勉強できないだろうと決めつけしないで、学習の権利を奪わないで欲しいです。支援学校の先生(特に年齢が上の人)は子供の障害に対し、未だに理解のない人もいます。若い先生はおそらく大学で障害に対する教育を受けているので、子供達への理解がありますが、上の人達が本当に旧式のままで、若い先生達のやる気をなくしています。(女性 40代)
- 私は身体障害者ですが、孫が重度知的障害を持っている自閉障害者です(23才)。ゆるいB型支援に通っていますが、入る前は、見学に行き(親、先生)でしたが、通ってからは送迎がある為、一切中の様子がわかりません。こういう所もあります。よく見てはいただいて、職員の方もお話(送迎時)してくれませんが、こちらから聞かないとダメです。もう少し風通しがよくなればと思います。(女性 70代以上)

【災害時に関して(17件)】

- 母子家庭でアパートに住んでいて町内会に入っていないためまったく地域と関わりがない何年か前に民生委員に相談するも何の返事もない。防災に関しては何も分からない。台風で試しに避難所に行こうとしたが雨が膝まできている所を歩けないので近い高校に避難したら町内組を聞かれた。入ってないと伝え、数時間避難所を利用させて頂いた。グレーの子供に対しての差別を又は理解を望む。(男性 10代)
- 災害時に対して大きな不安があります。防災訓練が通常どおりできないという現実もありますが、以前参加した時は「大変だろうから帰っていいよ」と言われました。優しさなのだと理解していますが、実際に災害がおきた時の事を考え参加していたいことを伝えましたが、何もできる事はなく、ただ居るだけでした。もう少し具体的にどう動くのか、など一緒に考えてほしいです。避難行動要支援者の登録をしていますが、民生委員さんなどと全くかかわりがありません。ただ登録するだけで、不安しかありません。重度の医ケアはある障害児です。一人での介護は体力的、精神的、金銭的にとても大変です。1級の障害児ですがケアがない保護者は働くことができます。ケアがある事で働く時間が限られとてもつらいです。同じ手当の金額というのが納得できません。毎年、同じ

Ⅲ 自由意見

事を記入し提出しています。しかし、全く改善されません。残念です。コロナ禍で外出ができないでいます。一般の方は以前の生活に戻りつつありますが、不安で仕方なく戻れません。人と会わないので差別を感じることもありません。良い事なのかな？ (男性 10代)

- 災害時、今回の台風で地域が浸水被害にあい、道路だけでなく多くの家に泥が入ってしまいました。混乱の中で自治会が上手に機能せず、障害の有無に関わらず、情報や連絡がまわらず、個々で動き、個々で助け合って何とかするしかありませんでした。これを機に地域だけではなく行政も含め災害時の動きを確認する必要があると思いました。インクルーシブ教育。共生のまちづくりは幼い頃から障害のある人もない人も共に育ちともに学ぶ環境を作っていかないと進めないことだと思います。お金もかかることですが、共生のまちの実現は障害のある人のためだけではなく全市民の安心につながることで。ソフト面。障害のある子の通常学級への在籍、または交流学习を進める上で支援の手は必要です。教員、支援員、ボランティアなどという人をどれだけ集める必要があるのか検討してほしいです。通常学級に交流籍をおく場合、名簿の最後に支援級の子の名前を入れるのではなく、あいうえお順の中に混ぜてほしいです。そう言うところから「わかる」意識が子どもたちに芽生えてしまうと思います。医療的ケアがあっても保護者の付き添いなく学校教育を受けられるよう看護師体制を整えてほしいです。放課後こども教室はこどもを預ける場でないことはわかりませんが、個別の支援がないと参加が難しく地域の人や他の児童と交流できる機会を持たない子どもが出てしまいます。個別支援ボランティアの費用と加算してほしいです。ハード面。学校バリアフリー化の計画をたててほしいです。特にエレベーターは目標を決めエレベーターが必要な生徒在籍または入学予定のある学校から優先的に計画を立ててほしいです。学校もそうだが生活も住んでいる地域で近くで暮らせるよう大きな施設を作るのではなく小さくあちこちに施設があると良いと思います。障害があっても一人暮らしできる支援の充実も望んでいます。 (男性 10代)
- 今回台風被害にあったが、要支援者避難制度に登録していても何の連絡もなかった。これは避難に関することだけですか？断水のように避難はしないけど、日常生活に支障が出る場合は、関係ないのでしょうか。行政、自治会、民委などからの安否確認、状況確認は何もなかったです。(所属団体からはありました)今回は終わってみれば、1週間ほどの断水で工夫してのり切れましたが、これが数ヵ月と続く災害だったら本人以外の家族がいなくなってしまう災害だったら…と思うと心配です。 (男性 30代)
- 本当に障がい者の利益になるような制度がなにかできるといいのですが。といっても9月の台風15号の時には病院の職員の方もすごく助けてくれたし、障がい福祉と関係はあまりないかもしれませんが私の地区は3～4日後断水が元にもどり水が出た時には自衛隊の方々が仏様のようにありがたいと感じ思わず合掌しました。 (男性 60代)
- 障がいの程度・種類それぞれだと思います。その、それぞれの方々に個別に定期的あるいは不定期にでも情報を送っていただけたらと思います。特に地震、津波、大雨等の予防、備え、例えば地震に対しては寝る近くに倒壊物、落下物は置かないとか、工夫次第では防ぐことの出来る災害も有ると思います。そういった情報を個別に送っていただけたらとても参考になるしありがたいと思います。とにかく災害時に被災しないための情報を持ってほしいと思っています。 (男性 70代以上)
- 今度の断水でつくづく皆自分達の事で精一杯で障がい者にはとってはとっても不親切を感じた。独居老人宅には水のペットボトルの配達をして腰を痛めたと民生委員の方は言っていたが二人とも障害手帳を持ち一人は寝たきりなのに声かけもなく断水が終わってからごめんとても忙しくてと云われさみしかった。忙しくて大変だろうと思うが元気がある人と重度の家庭の把握はしていると思った。反省会で話しておくねと言われても…世の中には私達のような家も多くあると思います。 (男性 70代以上)
- 母親の立場から記入いたします。うちの子はいくつかの医療ケアがありますが、ほとんど入院することもなく元気に在宅で生活しています。赤ちゃんの頃に聞かされていた、「重度の障害のある子

は支援学校でも通うのが難しく、ずっと家で母親がずっとつきっきりの生活」をすることもなく、学校に通い放課後デイで遊び、ヘルパーさんや訪問看護師さんに在宅介護を一部手伝ってもらいながら、大変でも家族で明るく毎日を過ごせています。きょううちの子が生まれるずっと前から障害のある人の生活向上の為に働いてくださった方々がいたから、今の私達の生活があるのだなと感謝しています。今、学校を卒業した後の生活について考える年頃になり、そこでも医療ケアのある子達の居場所をと考えてくださる方々に出会うこともあり私もうちの子にとっていい選択を出来るようにと勉強させていただいています。そんな毎日の中で、ふと不安に思うのは地震等の大災害が起こった時、私はこの子を守れるだろうかということです。地域の一次避難場所も近くの福祉避難所も知っていますが、色々な人がいる一次避難所には怖くて子供を連れて行けませんし、福祉避難所はその利用者さんのみ来る場所のようです。制度への登録した方の名簿を活用して、1人1人何かあったらここへ行くと指定したり、場合によっては避難所に来る予定になっている人の情報を提供したりとせつかくの登録したものをもっと利用する方法があるのではと思います。(女性 10代)

- 入所施設もグループホームも少ない状況で長く在宅で過ごすためには、重度訪問介護に頼るしかなく、賃金の安さから受けてくれる事業所も少ない。行政としてバックアップして欲しい。台風15号の影響は短期間で終わったが障害者に対する支援のあり方について不安を感じた。今回の件を検討して大きな災害の時の支援体制について考えて欲しい。(女性 20代)
- 電動車イスを使用して主に1人で外出しています。外出先では介助者がいることが前提のように感じることがあります。設備が整っていれば1人で外出可能な車イスユーザーがいることを多くの方に知っていただけたらと思います。災害時には「要支援者は早めの避難を」と言われますが、そのためにも福祉避難所を早めに開設して受け入れをしていただきたいです。災害発生後に二次的に開設では間に合いません。介助・介護が必要な人が過ごせる避難所がないと避難したくてもできません。「早めの避難」ができる場所・環境を必要としています。(女性 30代)
- (再掲) 重度心身障がい者です。自身の年齢が30才になり、両親も60才を過ぎました。現在は、在宅で通所施設に通い、たまにショートステイを利用していますが、ショートステイの利用が数ヶ月前の予約など、急な利用が難しい状態です。将来、在宅も難しくなった時に、入所する施設(希望は家族の近く)は定員いっぱいに入所できるのぞみもなく、性格を見ると入所よりもグループホームの方があっているように思えるが、重心の障がい者むけのグループホームがないため、親ががんばるしかない状況です。重心でも利用できるグループホームを作っていただきたい。災害時には、通所している施設からSNSなどを利用しての安否確認や困っている事を連絡できるように施設に働きかけてほしい。現在通所している1施設から台風時の連絡にホッとしました。連絡がない施設もあったので、市からSNSの使用をまだ利用していない施設に対応の検討をお願いします。(女性 30代)
- 難病のことについて言及して書かせていただきます。・治療を継続するためには、医療費が多額になるので、医療費助成制度に、大変助かっています。ありがとうございます。もしこの制度がないと生活費が破綻するか治療ができず短命するかという状況になります。医療費が必要な人とあまり必要のない人との生活の質の公平性を保つためにも、これから制度を改悪することなく継続していただきたいです。・災害時の薬の確保について不安があります。災害でいつも受診している病院に受診できない時、どこの病院に受診できるか、どこの薬局で難病の事を購入できるか事前に調整できるように各医療機関に話をしていただきたいです。(薬の予備確保はしてありますが。それが無くなった時の対応) よろしくお願いします。(女性 40代)
- 台風15号で床上まで被災して、いつもに増して精神崩壊し、毎日一人で家に居て死にたいと何度も思った。ボランティアさん+市の職員さんが来てくれて、市の職員さんが色々話を聞いてメモしていつてくれた。見捨てないから大丈夫と(手帳持っているのに何も助けも来ないと話した)家に電話したり訪問したりしてもいいかも聞かれたけどそれから一度も音沙汰なしで逆に忘れられて

取り残された絶望感いっぱいです。精神手帳は3級ですが、家のことはほぼできません。3級と決まっても、助けが必要な人も居ます。子供が買い物等やってくれている状態です。家の中はゴタゴタです。でも片付けもできません。3級と決まっただけで支援が何もないのは？と思います。24時間、精神崩壊した時に相談できるどころ、逃げれるところがほしいです。(女性 40代)

- 生活保護と年金でこれからは家賃制度を使い、今のマンションで一生涯住み、家事・勉強・トレーニングが出来る事が一番大事でありがたく思います。一生涯健康に過ごすには、食生活トレーニング仲間が気楽に過ごせる場があると思います。それで皆が安心して暮らせるためには自分、継続、努力、助け合いはなるべく手先を使い、頭を考えて行動をするのはとても大切です。そのために初心と感謝を忘れず、人と人をつながります。特に警察と消防と地域の人と自衛隊と障害の事を知ってもらい、助けてもらい災害があった時に1年に一回は訓練すれば良いと思います。(女性 50代)
- 一般人が障がい福祉を理解するのはむずかしいと思う。今回の台風15号で身にしみた。(そう思った)(女性 60代)
- すべて過保護にならない。災害に合った時、早く助ける事ができる社会であってほしい。(女性 70代以上)
- 障がいの程度によってできる事とできない事がありますが、災害の時は普段は普通の生活していてもみためは健康そうに見える人には、いきとどかない場合が多い。断水の時、給水所が近くにあっても重くて取りに行けないとか、給水車などは健康でとりにいける人はたすかるけど、けっこう自分の力ではいけない人がある。私もその1人でした。一人ぐらしでどのような状態か自治会などで把握しておくとうい。(女性 70代以上)

【医療機関やリハビリ施設等に関して (14件)】

- (再掲) 都内にいる友人やSNSなどの情報でしか知りませんが、発達相談や診断を受けるための受診までにとっても時間がかかると聞いているので、他県に比べて静岡は福祉関係に対して施設(療育センター等もあります)が充実している印象があります。なので対応も早くして頂ける印象ありがたいことだと感じています。我が子は静岡市内の病院で胎児の時に異常がみられたため●●●●病院へ急ぎよかかることになりそこで出産、その後の検診も4歳の今でも受けています。自宅から通える範囲に●●●●病院があることも心強く、そこからの紹介で療育センターでのリハビリを週1回以上受けることが出来、常に専門の先生方にも相談しやすい環境で助かっています。知的障がいの人に対しての偏見はまだまだ感じますが、実際知的障がいの人が一般の人にびっくりさせるようなことや困らせてしまう場面があることもあるためどうすればお互いうまく共存できるのか難しい所だと考えてしまいます。あとテレビ番組の障がい者チャリティ的な内容には少し疑問を感じます。(男性 10代未満)
- 病院の入所施設の入浴ですが、週に1回から2回なのですが、2日に1回程度はお願いしたいです。後、着替えですが、入浴の時以外は着替えをしていただけないのですが、入浴が週1回の際は、夏でも1週間同じパジャマ、下着というのはあまりにも人間の生活として外れているようでありませぬ。親として、胸が痛い。着替えも2日に1回はせめてお願いしたいです。普通の人、毎日朝晩に着替えるのがあたりまえの事です。後、オムツの交換ですが、毎日交換する時間が決まっています、時間になると交換していただけるのですが、途中で大便が出た場合、部屋中に大便の匂いが充満するのですが、時間にならないと交換しません。部屋に入ればすぐに誰かが大便が出ているのが分かるのですが、交換せず時間が来るまでそのままです。忙しいのは分かりますが、病院の方針というのもわかりますが、人間としてどうなのでしょう？立場が逆だったらどうでしょうか。自分の親族だったらどうでしょうか？と思います。今コロナで2年半で1度しか会っていません。会

えないのは仕方がない事ですが、病院で今どのような状況なのか、こちらから聞かないと分かりません。聞いても詳しい事は分かりません。面会がダメなら、病院側から今の状況状態なのか教えてもらえないのかと思います。そのような事を国の方から施設、病院に指導してもらえないでしょうか。このような内容を施設病院に意見すると、嫌われることはもちろん、最悪、施設を「出ていってくれ」といわれます。(事実自分はいわれました) こちらはお世話になっている立場なので、かなり弱い立場です。色々意見を言ってしまって申し訳ありません。何も変わらないのは分かっています。読んでいただいたならありがとうございました。(男性 20代)

- 国立職業リハビリテーションセンター(県外)を使いたいですが身体障害しか寮に入れないのが残念です。精神の人は自分でアパートを借りることになるのが辛いです。少し離れてもよいので精神の人の寮を作って下さい。国のことでした。すみません。(男性 40代)
- 介護保険が利用できる介護施設での医療の手助けを受けられる様にして欲しい。(男性 60代)
- 弟は、精神障害者として長く病院にお世話になっております。両親は高齢のため亡くなり、姉の私が手続き入院費の支払いなどをしています。病状は波がありますが、病院で心配なく過ごしていますが、コロナ禍で面会も出来ず残念です。病院でリクレーションなどができたらいいのと思っています。病院の先生、看護師さん、スタッフの皆さんに感謝しています。弟の残りの人生が少しでも楽しいものでありますよう、心より祈っています。(男性 60代)
- 私は今、数年に1度だけ、県外の病院に通っています。術後の様子をみる検診です。日常生活にほとんど支障なく生活できますが、時に痛かったり、違和感を感じたりすることがあります。静岡市内の病院に転院させて欲しいと(県外まで行っても様子をレントゲンからみる検診だけであり、経過良好とのことで数年に1度だけなので)言ってみましたが、あまり良い顔をされませんでした。先に静岡市内の病院にも問い合わせたところ、県外の病院の了承を得て、レントゲン写真等を持って来て欲しいと言われました。大きな変化がない限り、数年に一度県外まで行くのは良いのですが、日々の中にある少しの痛みや違和感があると、直ぐに通えるところに病院があると安心できると感じています。特殊なオペだったので近所の個人医では詳細にみてもらえないと思いますので病院難民のように不安になる時があります。このような時、病院同士の仲介や、転院手続きのアシストをしていただける福祉サービスがあったら、相談してみたいです。(女性 40代)
- 静岡は障害者施設や医療体制が全国的にも低い。やっているふりをして実際は障害者差別をしている。特に医療に関してそう思う。(なおらない障害だから何もしてあげないという考えが多い)(乳児期にリハビリをほどこしても成年期になるとほったらかさせる)(女性 40代)
- 胃ろうからとりつけるもの、シリンジなどが11月からかわってきていますが、病院、施設の方では人がいないうえに部品が多くなって確認の操作、物をなくしてしまいそうです。行政はそういう所も見た上でかえていくのでしょうか？自分達もやってみれば少しは現場の大変さがわかるのではないのでしょうか？(女性 50代)
- 目に見えない障害、特に聴覚障害者に対する、医療機関の理解は進んでいるとはいえないと思います。病院にもよりますが、大きな病院で受付が移動でころころ変れる所は、絶望的だと思います。医療事務の学校等に、見えない障害に対する授業を取り入れる様、市の方からお願いしてほしいと思います。(女性 60代)
- この度は、「共生都市」の実現の準備の為のアンケートありがとうございました。誠意をもって記入しました。私は、途中障害者です。脊髄損傷になり車椅子生活が30年ほどになります。受傷当時は、静岡県内では、脊髄損傷のリハビリ専門の病院がありませんでした。ご縁があり私は、他県の脊髄損傷の病棟を80床持つ専門病院でリハビリを受けました。歩行困難だけではなく、膀胱直腸障害を持ち合わせてしまいました。リハビリ病院での数か月は、機能回復訓練はもちろんでしたが、

体力向上の為に、体育の時間もありました。廊下に出る時には、玄関から外に出る事を想定してパジャマではなく着替えをして出る事。また車椅子が漕げて、褥瘡がなければ食事はデイルームでした。休日の訓練のない日には、外出訓練、外泊訓練は当たり前でした。様々な場면을訓練の一環としていました。もちろん自分の身体の状態も学びました。現在では、体調管理等をしていただきながら静岡市内の総合病院をかかりつけにしています。受傷後適切な治療が受けられる事でその後の人生が大きく変わる事を知りました。県内に受け入れ病院がない場合、他県の専門病院にかかれるのでしょうか。私の経験から必要な治療やリハビリが受けられると、就労やスポーツ選手への道が開かれるのではないかと考えます。私には、脊髄損傷後、使用した薬の副作用により手に障害があります。ワードでの作成にご理解ください。
(女性 60代)

- (再掲) 精神の病気をもってる母。まわりの目はとても冷ややかで辛い。バカにもされる。白目で見てる。言葉もてきとう。バカに話をしても通じない。暴言を言う病院の先生。普通の患者さんでないのか…とか大病院の先生となる人が家族の前、本人の前で平気な顔して言うてる。最低な人間と思った。そんな最低の人間が患者さんの病気をみる。信用に欠ける。こんなことはいつも。母がとにかく精神の病気になり、どこの病院でも家族の人が完全看護をしなくては入院させられませんか。いつも言われる一言。私が一ヶ月以上、朝昼晩、レンタルベッドを借りてずっと付き添い。精神の看護はできませんので家族がみて下さい。暴れたり暴言吐いて、周りの患者さんに迷惑かからないようにお願いします…と。同じ人間なのに普通と異常扱いって、これは差別と思う、いつも思う。精神の病気と45年間くらい付き合ってる母ですが…。母はとても辛いと思う。悲しいと思う。悔しいと思う。差別のない世の中になってほしいと願ってます。家族身内だけがお母さんの味方。私は母のよき理解者でよきサポートでありたい、続けたいと思ってます。
(女性 70代以上)
- リハビリできる施設をもっと増やしてほしい。障害者用トイレを増やしてほしい。
(女性 70代以上)
- 病気等で入院した時書類に保証人を書かなくてはなりません。他県からの出身ですので今までは友人、知人をお願いしてきましたが気が引けます。病院側の様々なリスクを考えてのこととは分かります。保証人の代わりに高額になってもお金で保証ということはできないのでしょうか様々な事務処理について考えますと難しいのは解ります。
(女性 70代以上)
- 小児のリハビリ施設が少なすぎる。適切なリハビリを受けられず、PT・OT・ST 全て県外まで行きます。先生の中にもバラつきがあり、うちの子は先生の質が悪く、必要なリハを受ける事ができませんでした。児発も医ケアがあると通える場所が限られます。障がいがある子はなぜ肩身の狭い思いをしないといけないのでしょうか？ジロジロ見られたり追いかけて2度見されたり。普段の生活の中に障がいがある方がいない。だからものめずらしいのかもしれませんが、こどもが大きくなり嫌な思いをするであろうとわかっていても何もできる事が無い事をかなしく思います。理解なんて当事者しかできないと思いますが、政治が社会が変わらないと障がいを持つ子たちは生きにくいです。
(回答しない 10代未満)

【介助者・支援者自身へのケアやサポートに関して (12件)】

- 障害を持つ当人ばかりを優先され、介護にたずさわってきた者が介護の為に疾患を発病しても、弱い者ばかり相手にされてきており、介護者の負担、ケア等が全くない。それどころか、思い出したくもない生き地獄のような毎日の生活をぶり返されている為、21年間の重度うつ症状を何度も再発し、完治しない。自身が障害福祉について知りたいが、とにかく“弱い者を助けようとしている取り組み”があるので、心の負担を軽減させて欲しい。介護人の負担をまるで理解していない。一生完治の見込みのない本人を、今後どのようにしたら良いのか分からず、自身も個人的ではありますが、視力を失う危険の病を2つ患っている。死ぬまで治ることがない。施設入所なので負担は無い

Ⅲ 自由意見

と思われますが、本人の体調の悪化、手続き書類、院内の保護者会、なぜか日時指定のされている施設内、トイレ掃除ボランティア、保護者会の役員決めが負担大に思う。※家族の中に認知症を患っている者がいるのでとても負担。介護者の事を考えてくれない（負担、ケアがない）。精神的に弱っている。
(男性 20代)

- 現在自立支援や、障害年金などの福祉サービスを受けていますが、生活はギリギリで家計のため昼夜働く家族（妻）が過労で入院した事がありました。障害者を支える家族へのケアがあればよいと思います。
(男性 50代)
- 本人、多発性骨髄腫、透析、統合失調症のため、自分一人では生活ができなく、95才になる父のお金で生活して40年です。二人の年金を合わせても毎月10万ぐらい。貯金からの持ち出しをして生活しています。他の家族、親せきはいないので、いどこにあたる私が、すべての手続き、お金の管理をしています。ケアマネージャー、ヘルパーや薬の管理をしてくれる薬剤師、入浴などはデイサービスにといろいろな方に助けてもらってなんとか生活を二人でしています。今後、父親が死亡したり、施設に入所したら本人一人での生活は金銭的に無理だと思います。透析などを行っている人が入所できる施設が少ないと聞いて、本人は考える事ができないので日々、不安です。私も70才を過ぎていきますので、いつ面倒を見れなくなるのかわかりません。
(男性 60代)
- 身体障害者本人の妻です。80才になります。主人は体格は良い方です。良く食べます。夕方になると体を動かすのがめんどうになる為におむつ替えをこばみます。そんな時は体は重く怒りっぽくなります。それでも替えないとおむつかぶれ、おできが即できます。両手足でふんばって体をころがしておむつを新品にします。今日はこれで心残りなく自分の時間です。古着をひもにして草履をつくります。好きな事なので眠くなりません。もう12時か1日はあつという間に過ぎてしまいます。新聞を読んだり、メールを字を捨いながらしている時はいつの間にかねむっています。やっぱりとしのせいでしょうか。体の痛みで病院へ行くと年だからとはり薬を出してくれます。まだ痛みが有るので他の先生に見てもらおうと前に骨折した所が有ると言われました。前にとしのせいと言われました。今は一日を主人の介護と自分の時間をつくって（外泊なし）ストレスも少なく暮らして良い方だと思っています。介護保険でリハビリの日、看護でみてもらう日、週2日は朝から夕方まで介護支援事業所でみていただいています。（※56才で倒れました）国民年金生活でエンゲル計数は100%ですが雨が降ってもぬれない我家で元気に生活しています。1人の年金では無理でしょうが二人分有るから暮せるのかなと思っています。介護保険が有って良かったと感謝の気持ちがいっぱいです。
(男性 70代以上)
- 共働き家族が増えている中、高校を卒業した後の障がい者の居場所探しに苦勞するという話を良く聞く。両親フルタイムでも、仕事を辞めずに働くことが出来るような制度が欲しい。今は、生活介護施設などの開所時間が放課後デイサービスと比べるとかなり短く、フルタイムで働くことが難しい。保護者・養護者の就労支援の側面からの補助を要望したい。知的障がい児に対する補助が足りていない。超重度知的障害で多動のある子を育てているが、食事中にじっとしていることが出来ないため、座位保持イスがないとご飯が食べられないが療育手帳では、座位保持イスの補助がおりない。先輩のおさがりを譲ってもらい使用しているが、大人になるとおさがりをもらうこともできないし、おさがりでは本人の体形に合ったものを作ることもできない。知的障がい児の生活に必要な用具も補助の対象としてほしい。
(女性 10代)
- 親子、共に障害を持っている為今一緒に暮らしている家族がいなくなった時や体の具合が悪くなった時にどう対応して良いのか、困難になる時が近い将来来ると考えています。娘は、今住んでいる所が住みよい場所と感じていますが、親の私はひとり親なので、先の不安を感じる事が多々あります。離婚しているので離れて暮らす娘の姉達に会えない事もあり、寂しい思いを10年以上している娘の為に、家庭裁判所で面会交流の申立てを行う事を予定しています。親の私が離職している今、まだ申立てを行う準備が整っていません。ハローワーク静岡で就労継続支援A型事業所を紹介して

頂き、サポーターの方と一緒に見学に行く予定です。働く所が決定したら、家庭裁判所で申立てや娘の将来を考えて、成年後見人の件も家庭裁判所に行った時に相談しようと考えています。障がい福祉の事は知らない事が多いので、今回のアンケートで将来の事を親子で考えるきっかけになり、大変ありがたく思っています。自宅保存用の冊子は色々参考になる資料だったので頂けて嬉しいです。地域で安心して暮らして行く為に活用させて頂きます。(女性 10代)

- 少なくとも市、区役所関係に於いて異性の保護者が一緒に入れるトイレを早急に設置して下さい。私障害者が異性です。他にも困っている方が多数居られると思います。本当に(要介護者)の為にアンケートとか?疑問です。(女性 40代)
- 障害者を介護していた母親が高齢になって病気をしたのですが、母も介護が必要になった時、要介護によってはヘルパーさんの入ってくださる時間が決まっていたのですが、とても足りず姉妹である妹一人で走り回らなくてはならなかった時は本当に辛かったです。(二人の手続き、家事手伝い)そういう状況である家庭は私だけで無く多いかと思えます。そういった家庭にもっと支援をして欲しいと思いました。(経済的人員)働きながらでしたから限界もあり、体力的にも厳しい中大ケガで入院をする事になってしまい、遠くに住むおばに頼む事になったのですが、今まで手続きはしていなかった為、本当に入院しながらの手続きや連絡が大変でした。ヘルパーさんが母を病院に連れて行く代行は半日で7千円ととても高く生活費を圧迫してしまい、母の生活も経済的に厳しいものでした。介護している兄弟、姉妹がもっと楽になれる制度を導入して頂きたいです。(女性 50代)
- 平日はグループホーム、週末は自宅での生活が基本だが、家族が高齢であったり仕事で多忙なため、自宅では主にヘルパーが介護している。グループホームもヘルパーも人手が足りないと聞くのでそうした仕事を担ってくれる方の育成、労働環境の改善も必要だと思う。(女性 50代)
- 障がいのある方もそして障がいのある方のお世話をしている家族なども住みやすい国になる事を祈っています。(女性 60代)
- (再掲)精神の病気をもってる母。まわりの目はとても冷やかで辛い。バカにもされる。白目で見てる。言葉もてきとう。バカに話をしても通じない。暴言を言う病院の先生。普通の患者さんでないのか大病院の先生となる人が家族の前、本人の前で平気な顔して言ってる。最低な人間と思った。そんな最低の人間が患者さんの病気をみる。信用に欠ける。こんなことはいつも。母がとにかく精神の病気になり、どこの病院でも家族の人が完全看護をしなくては入院させられません。いつも言われる一言。私が一ヶ月以上、朝昼晩、レンタルベッドを借りてずっと付き添い。精神の看護はできませんので家族がみて下さい。暴れたり暴言吐いて、周りの患者さんに迷惑かからないようにお願いします…と。同じ人間なのに普通と異常扱って、これは差別と思う、いつも思う。精神の病気と45年間くらい付き合ってる母ですが…。母はとても辛いと思う。悲しいと思う。悔しいと思う。差別のない世の中になってほしいと願ってます。家族身内だけがお母さんの味方。私は母のよき理解者でよきサポートでありたい、続けたいと思っています。(女性 70代以上)
- 本人のサポートそれを助ける家族のサポート(仕事に行けるようにとか、精神面)が出来る環境の手伝いを国、県で取り組んでほしい。(女性 70代以上)

【地域での共生に関して(12件)】

- 行政と地域が連携して障害者が安心して暮らしていけるようになって欲しい。(男性 10代)
- 障害者と健常者の共生を考える上で、周囲の人の苦痛が考慮されないことが多いように感じます。よく、障害者および難病の患者と接する上で、その障害や病気に対する周囲の理解と、支援することの重要性が説かれますが、周囲の人からしたら、支援する必要がある人より、自立している人の方が当然関わりやすいです。神経発達症の身内におきるカサンドラ症候群のように、支援や生活を

する側にも苦痛が伴います。そして、これが解決しない限り、障害者は周囲の人にとって関わりたくない人であり続けるでしょうし、差別や偏見も減ることはないと思います。つまり、共生において最も重要なことは、周囲の人の支援がなくとも障害や病気を患った人が自立して生活できる環境づくりです。例えば車いすの人であれば、エレベーターや、スロープがある所であれば周囲の人の支援なく移動できますから、これは本当の意味でバリアフリーであるといえますが、バスの乗降では運転手によるスロープの設置や、車いす固定などが必要です。この程度のことと思う人もいるかもしれませんが、この程度のことでも健常者であれば生じない手間が運転手にとっては増え、それにかかった時間で他の乗客は不快になるかもしれません。こういった少しの差異の積み重ねが、障害者への関わりにくさにつながっていきます。つまり、バスのスロープ導入は今のシステムでは完全なバリアフリーとは言えないでしょう。重要なことはいかに健常者と同じ生活が“自力”で営めるように環境づくりをするかです。よろしく願いいたします。市立図書館は様々な取り組みを行っていて、とても良いと感じました。そういった施設がどんどん増えていくと、障害がある人も気負うことなく利用できて良いと思います。

(男性 20代)

- 40才後半の息子は現在、地域のグループホームにお世話になっております。色々の障害を持った仲間がいるホームですが、各人の個性に合わせた指導とめんどろを見て下さり、とても感謝しております。今、息子は幸せな日々を過ごしています。しかし、ここ数年、知的にも体力的にも落ちて来ており、病気やケガも多くなりました。私共親も80才近くになり、自分達のこと、息子のこと、考えると、不安はつきません。「共生都市」勉強不足の私は初めて知りました。本当に実現できたら、すばらしいですね。自分で要求も主張もできない障害者の為に、よろしく願いいたします。

(男性 40代)

- 障がい者と健常者の共生のためには、一人一人が理解して、どのように行動したらよいのかを理解することが必要です。健常者が障がい者と接する時、頭で理解することはもちろん、どのような行動を取るべきか実際に訓練することが重要だと思います。特に日本の場合には学校教育で教わったことがないので、幼児教育から行動を含めたプログラムを導入したらいいと思います。※自分自身も車いすや視覚障がい者が困っているときに、どう声を掛けてどう接したらいいのか十分には分かりません。

(男性 60代)

- 地域に車椅子の一時無料貸出しがあるといいと思います。

(男性 70代以上)

- 私は今の所通院だけで過ごしていますが、見た目では障がいがあるか判りません。障がい者として見てはいただけません。この様な方も多いのではないのでしょうか。障がいがある無しに関係なく、やさしい町でなければならないと思います。それは啓蒙活動が大事かと思ひます。ぜひ「やさしい町静岡市」作りの啓蒙をお願いいたします。

(男性 70代以上)

- 日頃から近所の人達と顔見知りになっている事が大切だと思っています。

(男性 70代以上)

- 障がい者を守るのも必要だが、障がいを持っている人も健聴者と一緒に生きていく気持ちが必要。障がいの程度に合わせたサポートを受けることも大事。サポートを受けてもらって、配慮してもらって当たり前と考える人が多いと感じる。→仕事を始めるとうまくいかない人が多い。障がい者の就労支援だけでなく、お互い歩みあえる方法があったら良いなど。例えば、小学生から普通興も特支級関係なくお互いが助け合っていく授業をやるとか。どうしていく方が良いのかを考える。大人になってから考え方を考えるのは大変だと思う。子どもの頃からやっていると良いと思う。それが、障がいのあるなし関係なく生きやすい。映画館、日本語字幕の日が短すぎる、時間指定にする理由がわからない。

(女性 20代)

- 共生といっても難しいね。老人達は、障がい者を嫌う人多いよ。障害者でも同程度(レベル)の集団あればいいね。商売で障害者を集め、特に(株)とかは利益しか考えてなく困るね。◎地域と共に=平和とかいつくるのでしょうか◎みんな今も昔も、自分の命よりお金第一だもんね。難しいよ

ね。コロナ気を付けて頑張ってるね。いつもありがとう。(女性 40代)

- 障害者、健常者（定型発達者？）とか、マイノリティー、マジョリティーとか、人種や男女、年齢差や地域、国、能力…等、ほとんどの人間がどこかで差別や嫌がらせをしていたり受けてたり、ほんのささいな事でもわずかでもしたりされたり経験はあるはずで、障害福祉に関してのみ改善を思ったとしても、他で同じような事がそのままになっているならあまり改善の意味が無いように思える。結局は人間自体の心根が良くならなければ、どんな素晴らしい福祉サービスを提供したとしても、その素晴らしいサービスにつけ込む輩（障害者ビジネスとか、そのサービスに甘んじて墮落する者など）は後を絶たないと思う。理想を言ってもキリがないが、そのような素晴らしいサービスや行政の方針、国が民に還元する→民が国・行政に協力する…このような循環が生まれれば、全て世の中うまくいくと思う。なので、民である自分達もちろん、国行政も全てで心根をゼロから入れ替えるくらいの何かをする必要がある気がしてならない。それが何かはわからない。宗教ではないと思う。全ての人間がどうしたら世の中が良くなるのかを真剣にもっと考えるべきだ。そして、行政、国もそのような機会を作る事にしたらどうだろうか？と思う。(女性 40代)
- 自分が一人で生きていけない不安がある。が、いい方向で幸福になろうと努力している。できないことは多々あるが、地域での働きかけで、人間としての最低限の権利を得たいと思っている。(女性 40代)
- 徐々に障がい者に必要な事が（施設、理解 etc）増えていくと良いと思います。(女性 年齢不明)

【経済的なことに関して（11件）】

- 今の年金をもっと増やしてもらいたい！！なんのためのお金かわからない、親がいない人のための制度も考えて欲しい！！たとえば、今、生活保護を受けていて、保護費が少なく生活ができない。もっと欲しい、ちゃんと考えて欲しい。(男性 40代)
- 一番はお金の面でこれから先心配です。収入が少ないので増やす方法を教えてほしいです。(男性 40代)
- 体の障がいと精神の障がい両方あり働けません。障がい年金が少額（障害厚生年金3級のみ）で生活が成り立ちません。貯金を切りくずして生きていますが、もうすぐ無くなり、どうしたらいいのかわかりません。(男性 50代)
- 精神疾患による精神障害者は体力の大幅ダウン、精神のコントロールが難しいことから、一般の労働が困難であり（1日8時間×週6日）、通所は破滅的に賃金が安く、年金等だけで暮らすのが不可能であるため、何とか障害者が1軒家で生きていくために最低一世帯主あたり1ヶ月の年金総支給額20万円を出して頂きたい。この1ヶ月の収入が20万円にならないため自殺、心中する世帯が多数存在する。なんとか1世帯あたり20万円の支給をよろしくお願いします。もう私はこのために自殺未遂を5回やっており、次回自殺する時は成功するでしょう。(男性 50代)
- 私は中途障害者である為、通常の時には正直関心の薄かった障害福祉でありました。自らが障害者となった時の不安は忘れることができません。自暴自棄にかられ、将来の夢や希望も失い自殺すら考えました。そんな中で主治医や関連した支援施設の方々の話や情報から障害福祉により少しずつ不安が解消されて改めて行政支援での障害福祉支援には助かっています。現実、我々障害者との共生については個々の考え方もあり制度や法律は整っていてもまだ高いハードルだとは思っています。しかしながら行政支援の一層の改革や整備拡充は引続きお願いしたいところでもあります。各年層でそうした期待・希望の内容には違いがあるかと思いますが、私の立場では経済面のサポート（収入、費用）が重要であります。一方もっと若い子供さんといった将来ある方々へはご家族含めて生活に安心安全やがては自立する子供さんへの基礎をつくれる環境づくりに行政の力をお願いしてより

Ⅲ 自由意見

よい社会につなげていって欲しいと思います。人口分布も少子高齢化である為、障害者の認知が減ることは避けたい訳で我々も後世へつなげていく意味でも発信はしていきますので障害福祉への取組みについて国県市共にどうぞお願い致します。(男性 50代)

- (再掲) 本人、多発性骨髄腫、透析、統合失調症のため、自分一人では生活ができなく、95才になる父のお金で生活して40年です。二人の年金を合わせても毎月10万ぐらい。貯金からの持ち出しをして生活しています。他の家族、親せきはいないので、いどこにあたる私が、すべての手続き、お金の管理をしています。ケアマネージャー、ヘルパーや薬の管理をしてくれる薬剤師、入浴などはデイサービスにといろいろな方に助けてもらってなんとか生活を二人でしています。今後、父親が死亡したり、施設に入所したら本人一人での生活は金銭的に無理だと思います。透析などをしていいる人が入所できる施設が少ないと聞いて、本人は考える事ができないので日々、不安です。私も70才を過ぎていますので、いつ面倒を見れなくなるのかわかりません。いどこよ。(男性 60代)
- 障害年金の該当する範囲が狭すぎる。身体が大変なとき、節約できる事もできないのに、年金が受け取れないのは、とても辛い。子供も3人いて1人親として生活してる中で、一般の人よりお金がかかるのに厳しすぎる。(女性 20代)
- 現状は両親の持家で生活費負担がほぼない状態と家事・食事管理の支援を受けて働いています。ですが、障害者雇用の任期付き行政職ですと、雇用も不安定で収入も低く、今後の両親の健康状態によっては生活の維持が難しいです。私の就労の許可は、障害特性の強く出てしまう家庭内のサポートを受ける事(当面は実家にて主に母の支援を受ける事)を条件として受けています。労働場面では「どこに障害が?」と言っただけで有難い限りですが、母の無償のサポートなく、1人の収入で家事・食事管理の支援と生活費をまかなうには、とても収入が足りません。いつか働く事を断念する必要があるかもしれません。静岡市独自の取組は難しいかとは思いますが、障害年金の対象になりにくい(2級は働き始めると難しいそうです。)精神障害者への年金適応拡大、又は福祉サービス利用料の減免、手当の支給など、対応を国に働きかけると共に、どうかご検討下さい。特に、現在見直しが検討されている厚生年金の適応拡大は、3級の労働しながら受給できるという厚生年金だけの制度を含み、これを「初診日に関らず適応」という形に拡大されるだけで、収入の不足が補えて、地域で母のサポートを受けられなくなった後も今まで通り働いて生活することが可能となります。国・市全体として財政事情が厳しいのは重々承知しており、大変心苦しいのですが、「地域で自分の力を活かして働くとかえって生活費に苦しむ無職や支援施設通所の方が生活費が安定する」という現在の精神障害者の状況はあまりに切ないです。どうぞよろしくお願い致します。大変悪筆で申し訳ありません。ありがとうございました。(女性 30代)
- お金の面で将来的な不安がある。(女性 40代)
- 生活に困っておりますので、手当、年金などの経済的な支援を充実させて頂きたいです。宜しくお願い致します。(女性 40代)
- 持病と足と腰のケガにより、仕事が出来ないので、生活保護費と障害年金の金額は節約しても辛い時がある。もう少し増やしてほしいのが願いです。(女性 50代)

【差別に関して (8件)】

- ひとことで「障害福祉」といっても、身・知についてはまだ理解が得られていると感じる。かたや精神障害者への理解は低く、差別、偏見も根強いように感じている。障害者雇用率も圧倒的に身体障害者の割合が高い。精神は長く続けるのが中々難しいのは間違いないが、そこは自分だけの努力ではなく会社側からもサポートが欲しいと思う。過去にA型事業所へ通所していたことがあるが、そこでの職員からのパワハラ・障害者虐待といっても差し支えないレベルのものがすごかった。利用者が体調不良でも怒鳴って外の作業に行かせる、知的障害の人に「43歳児だもんねー」などと言

う、障がい（高次脳で怒りっぽくなってしまう）のせいで警察の世話になったことがある利用者のロッカーに「手紙」という感じで全員が見える状態で上記の警察沙汰になった件を暴露する、統合失調症の人に真後ろから「統失は壊れちゃって戻らない」など言う、送迎利用している人がいるのに残業をさせて21時過ぎまで帰らせない（定時18時）など。福祉施設の数だけ増やせばいいというものでもないと思います。定期的に役所がチェックに入り、「利用者」の声を聞くなどして欲しい。私も一般就労（クローズ）でやりたいことが見つかったので辞めたい、と申し出た際に、「普通のところでやっていける訳がない」など言われ、勝手に母に電話され「こんなことを言っている。見てたから分かるが彼女（私）は知的障害だ（主治医に完全否定されましたが）親が死んでもポーンと突っ立ってるだけだ」など一方的に言われ、母もかなり傷付けられました。そして退職届も居留守を使われて受付拒否。結局労基にまで相談して辞めました。これほどとんでもない事業所もいまだに市内に存在しています。※この件は役所にも相談しました。対応してくれた職員さんに感謝しています。このアンケートの、特に将来のことの欄で気が重くなりました…。親が亡くなったらどうすればいいのか不安が一気にわきあがってきました。最後まで回答するのが気持ち的に非常に大変でした…。役立てて頂ければ幸いです。（女性 30代）

- （再掲）高額かつ長期（高額難病治療継続者）としての認定、負担上限月額軽減を受ける方法を、年単位の金額でも判断してほしいです。眼科や歯科への通院も欠かせず、ほぼ毎月出費があります。知的障害のある人に対し、社会がもっと優しくなって欲しいです。自分より劣った人を見つけると、自分が偉くなったように感じて、いじめに参加したり、きつい態度に出る人が多すぎます。知的の障がいがあっても、1人1人に合わせた子供への学習が本当に大事です。障害者枠でも筆記試験がある場合もあります。実際、娘の同級生は試験の1ヶ月前に担任の先生から漢字、計算ドリルを渡され、苦労しています。どうせ勉強できないだろうと決めつけしないで、学習の権利を奪わないで欲しいです。支援学校の先生（特に年齢が上の人）は子供の障害に対し、未だに理解のない人もいます。若い先生はおそらく大学で障害に対しての教育を受けているので、子供達への理解がありますが、上の人達が本当に旧式のままで、若い先生達のやる気をなくしています。（女性 40代）
- （再掲）私は難病指定を2つ受け（現在は1つ）、障害者手帳も交付されておりますが、良い医療を受け、家族に支えられ、元気に仕事もして暮らすことができしております。たいへんありがたく、こうした日々を送れることに感謝しております。様々な障害がありますが、私のささやかな経験からも物理的な支え（バリアフリー等の社会インフラ設備）、制度的な支え（行政やボランティア等）、社会の精神的な支え（健常者などの差別のない意識、自然にサポート出来る・する社会）は「共生」していくためには必要です。高齢者には誰もがなっていくわけで、高齢者にも様々なバリアがありますから、誰もが自分のこととして考えられるといいのですが…。（女性 50代）
- （再掲）私は健常者として働いてきたつもりです。しかしその中でたくさんの心無い人達の声も聞いてきました。いじめにあった事もあります。だから障害のある人、無い人の共生ができればすごく良い事なのですが、本当にできるのか心配の方が強いです。福祉サービスも大切ですが、まずは、まわりをとりまく人達（一緒に働く人々）が障害を理解してくれる職場・環境作りをすることが先だと思います。その人の指導をする為に自分の仕事が遅れてしまうかもしれないのです。ひとつの部署であっても仕事の早さを要求する人、丁寧さ・確実さを求める人様々で「あちらを立てればこちらが立たず」が現状です。一般企業の雇用の方は限られてしまうのでは…という気がします。（女性 60代）
- イベント（企業の）等・動物園など、障がいのある人が、ゆっくり見られなく、邪魔者扱いをされる。すごくイヤな思いを何回もして、外へ行くのが怖くなった。まだまだ差別がありこんな世の中だから悲しくなる。障がいのある人でも、楽しくできるようにしてほしい。（女性 60代）
- （再掲）精神の病気をもつてる母。まわりの目はとても冷ややかで辛い。バカにもされる。白目で見てる。言葉もてきとう。バカに話をしても通じない。暴言を言う病院の先生。普通の患者さん

でないのか…とか大病院の先生となる人が家族の前、本人の前で平気な顔して言ってる。最低な人間と思った。そんな最低の人間が患者さんの病気をみる。信用に欠ける。こんなことはいつも。母がとにかく精神の病気になる、どこの病院でも家族の人が完全看護をしなくては入院させられませんか。いつも言われる一言。私が一ヶ月以上、朝昼晩、レンタルベッドを借りてずっと付き添い。精神の看護はできませんので家族がみて下さい。暴れたり暴言吐いて、周りの患者さんに迷惑かからないようにお願いします…と。同じ人間なのに普通と異常扱って、これは差別と思う、いつも思う。精神の病気と45年間くらい付き合ってる母ですが…。母はとても辛いと思う。悲しいと思う。悔しいと思う。差別のない世の中になってほしいと願っています。家族身内だけが母さんの味方。私は母のよき理解者でよきサポートでありたい、続けたいと思っています。（女性 70代以上）

- 私現在86才の高齢者で人工肛門を10年程つけております。現在息子と2人暮らしです。地区に高齢者のふれあいの会が月2回行われておりますが、以前カラオケグループ20名位の仲間に入っておりましたが、中には指先が臭うとか言う人がおまして（以前自分の身内に一緒に住んでいた人工肛門の患者さんがいたものでくわしく知っており）私達6名グループは湯呑み等使用できず、各自でお茶を持って参加してましたが、中には嫌味を言う人もおまして、現在はグループ解散となりましたが、私皆の集まる会には参加しない様にしてますが、地震でも来て皆と集まれるか不安です。（女性 70代以上）
- 職場でバカにされつらい思いをしたことがある。（女性 70代以上）

【その他（48件）】

- ありがとうございます。（男性 10代）
- 区分によって生活が様々なので、本人にとってよりよい福祉サービスをその都度利用できるようにしたいと広く希望しています。地域で暮らす明るい未来があると思いついていますが、グループホームの今の状況などくわしく知っていただけるとありがたいです。（男性 10代）
- 障害を認めたくないという日々でしたが、現実を受け止め、皆が幸せに暮らせる社会を目指していきたいですね。（男性 20代）
- 今手話奉仕員講座を受講しています。手話通訳の依頼をFAX以外の方法も拡大した方がいいと思います。（SNS、メール、電話など）市で手話通訳者をもっと雇用して欲しいです。（パートではなく正社員として）苦勞して手話通訳者の資格を取っても、低収入で続けられない人が多いため。高齢化も深刻、静岡市としても「手話言語条例」を制定して下さい（県はしている）。交通費の助成（6千円まで）について、新幹線も対象に含めて欲しいです。（男性 30代）
- 障がい者用駐車場に最近100均で売っている車イスマークをはって障がい者や老人、妊婦でもない普通の人々が駐車している。その為とめられない。100均での車イスマークの販売をやめてそれぞれのマークを役所で登録制にして本来使用出来る人が使用し、使用出来ない人は使用出来ないようにしてほしい。（男性 40代）
- 色々とお助けをもらって感謝しています。日本人に生まれて良かったです。（男性 50代）
- ①より良い福祉のために県外（他県、都、道、府など）の情報も知りたいです。他県等で参考になる情報があれば、良いと思う。②在宅（パソコンなどを使用したり出来る）の仕事なども地域に囚われず、紹介などの部署もあると良いと思います。（男性 50代）
- 現在再認定となっているが、再認定がどのようになるのか不安でしかない。身体の状態は全く改善しておらず、そもそも再認定などとされる理由もわからない。そんな扱いをしている人にこんなア

Ⅲ 自由意見

ンケートをさせる考えも理解出来ない。(男性 50代)

- 50才で脳こうそくになり障害2級をもらい、今は体の訓練をして早く治りたいと本人は頑張っていますので。障害の事はまだどうしたらいいか考えが決まっています。今の所は母が見てくれています。母も年をとっているんで、いずれ一人になると思うと心配です。兄がいますが、他県にいるのであまり相談も出来ず、どこまで自分元気になれるか不安です。これは本人と母と二人で毎日考えている事です。もうすこし日数はっきりしたら色々相談したいです。よろしくお願いします。(男性 50代)
- よく簡単においでくださいと言いますが、移動には困難が伴う。(男性 50代)
- 私は、女性から無視や疎外を受けると感情のコントロールが出来なくなります。その為に必要なのは、女性と接する機会だと思います。女性と接し、正当な扱いを受ける事が大事だと思います。でも、就労支援では、女性と距離を取るよう教えられます。適度に女性と距離を近付ける教育・実践の場が欲しいです。(男性 50代)
- 障がい者と呼ばれる事に違和感を感じます。(男性 60代)
- こんなことムダだ。障がい者でない人があれこれ考えてもムダ！アホッ！医者が無知だ。あたり前のことをいわない。当然、私もわからない。(男性 60代)
- 本人男65才、私母89才が同居しています。月日が経つにつれ、毎日の生活が困難になっていくのが目に見えて分かります。特に冬は大変です。歩行困難、車椅子の生活、トイレの始末です。あと何年我が家の生活ができるか不安です。年令からでは私が先、しかし体の状態ではどちらともいえません。願わくば私が息子を見送ってからと願いつつ毎日を過ごしています。このアンケートにより障がい福祉の機関とか組織、名前など知ることができ、とても参考になり勉強になりました。(男性 60代)
- これはいい事であります。今81才だから、静岡が毎日、いい生活ができれば、幸せです。いい体験です。ありがとう。(男性 70代以上)
- 障害がどのように進んで行くのか不安である。今のところ車イスがあれば外出できるが、これからどうなるか不安である。(男性 70代以上)
- 当時は知的障害のみだったが特別教育がある学校が少なく、中学になるとあまりにも少なかった。私は●●から●●までバスを乗り継いで通学し、祖母が付き添いで送迎をしてくれたが、途中で逃げ帰った事も度々あった。両親は共稼ぎで毎日仕事に出掛け、生活も苦しかったので大変だった。成人してからも職場では工場主は充分承知してくれていて、出来る範囲の仕事をさせてくれたが、従業員の中には意地悪をして弁当をかくされたり、はきものを手の届かない高い所へ置かれたり、色々いじめがあったので何度も職場を変えた。両親もあいさつに行って理由を話して色々お願いしてくれたが、中には面白半分でいじめられた事が多かった。大体3年に一度位職場を変え、一番長い所では8年バスで1時間位かかる所だったが、事業主が大変良い人で、いつも従業員を注意してくれたが、自宅で脳内出血を発生し、大病院に6ヶ月入院したら退院をすすめられたが、まだ歩行も困難だったので、市外の大病院を頼んで再入院したが、4ヶ月毎日父が通ってきてくれ、一緒に車イスを持ってついてきて歩行訓練をした。自宅でも訓練には付き添ってくれたが、家の中で二度転倒し、骨折をしたりしたので、施設へ入園させてもらった。(男性 70代以上)
- 一日中、家でテレビを観ているだけの生活なので、障害者と介護者だけの日帰りのバスツアーに、同程度の障害者達と一緒に行けたらいいなと常々思っております。気分転換させたいです。(男性 70代以上)
- アンケートで少し不明の点が有りましたので回答におかしな所があるかも知れません。すいません。

Ⅲ 自由意見

特定医療費のおかげで大変助かっています。有難うございます。福祉サービス、沢山あるのが判りました。
(男性 70代以上)

- 皆々様の御支援で生かされております事に心より深く御礼申し上げます。最も誇りに思う事は、日本国籍と静岡市民であり、こんな素晴らしい都市空間で生かされています事に。感謝申し上げます。行政の方々の「お思い遣り」をいつも感じております。「ありがとうございます」(男性 70代以上)
- P26の付問3について。75才まで働いて80才で突然、特発性間質性肺炎になったので障害者三級となりました。障害者福祉に知識が有りません。誠に申し訳ありません。(男性 70代以上)
- 私の現在治療中の病気。前立腺ガン、●●●泌尿器科。ペースメーカー、●●●病院。大腸ガン、●●●ゼロクス療法。(男性 70代以上)
- 80才ですので、家族と一緒に暮らしておりますので、今のところこまった事はありません。毎日一時間ぐらいは歩いております。足腰が丈夫な内はなんとか生きていけます。(男性 70代以上)
- 右肩の痛みがひどく人工骨を入れていただいたのですがそのときのリハビリが十分行われて居なかった為、肩に筋肉がついていないので神経が痛みを越し、いつも「何もできない」と言うのが口癖でせつかく心臓の方は人口弁がうまく行って健康になれたのに、何もかも手を出さず歩く事、人と話をする事も好かなくデイサービスを受けてもらいたいと思っても行くのが「いや」ともう3、4年たってしまいました。テレビを見たり家の回りを歩く位でよく痴呆にならないと思っております。でもどうする事もできません。寝たきりの生活が目前だと思えます。妻が書かせていただきました。新聞はすみからすみまで読んでいます。(男性 70代以上)
- ヘルプカードを役所でもらいましたが、個人情報援助して頂く方以外の人も見えてしまうのではないかと思ひ、子供に持たせるのはやめてしまいました。良い取り組みだと思ひるので改善をお願いします。(女性 10代)
- できるだけ家族一緒にいて毎日夕ご飯を食べたいが、高校卒業後、父が仕事でデイサービスの時間とマッチしない為、入所しかないと感じる。手の届く距離で生活したいが現実には厳しい。「生かされる」ではなく「生きたい」と思う。(女性 10代)
- 若者。引きこもりの人に対する支援。フリースクール等少ない。静岡市は、そういう支援が少ない。(女性 10代)
- 病気あって、父も亡くなり母と2人ですが、何とか、心臓手術しなければ20才までむずかしいと言われ、30才まで生きました。ワクチンを1回もやっていませんが、元気です。将来の不安ははっきり言ってありますが、親子で何とか生きています。人の目は、気にしません。コロナの時代ですが、人一倍神経質でほとんどきれいにしています。将来の事は、色々考えてはいます。よろしく願ひします。出来るだけ、今の部屋で暮らしていきます。(女性 20代)
- 親亡きあとのことそれだけが心配です。(女性 20代)
- しいて言えば、障害者手帳のデザインが気になります。今のデザインだと顔写真が裏面に貼られてしまうため、もっとキレイにまとめてくださると幸いです。また、カード型障害者手帳を静岡でも導入してください。(女性 20代)
- 障害区分認定が実態にあっていない。(女性 30代)
- 私達一人一人がしっかり考えて行動することだと考えます。そのために自分がしっかり努力をし支え合うように頑張りたいと思ひます。(女性 40代)
- (再掲) 私は難病指定を2つ受け(現在は1つ)、障害者手帳も交付されておりますが、良い医療を

Ⅲ 自由意見

受け、家族に支えられ、元気に仕事もして暮らすことができいております。たいへんありがたく、こうした日々を送れることに感謝しております。様々な障害がありますが、私のささやかな経験からも物理的な支え（バリアフリー等の社会インフラ設備）、制度的な支え（行政やボランティア等）、社会の精神的な支え（健常者などの差別のない意識、自然にサポート出来る・する社会）は「共生」していくためには必要です。高齢者には誰もがなっていくわけで、高齢者にも様々なバリアがありますから、誰もが自分のこととして考えられるといいのですが…。（女性 50代）

- 今後さまざまな機会にお世話になることが多々あると思います。機会ごとに情報を得そして色々な形でこれから先の生活・行動・努力の糧にしていきたいと思います。宜しくお願い申し上げます。（女性 50代）
- 知り合いに LaFrance を配っているうちに9万円盗られました。私の心のケアしてくれる機関がほしいです。上の鍵は番号から複製され下の鍵は簡易のため開けれる（●●には鍵などないそうです）あの人たちにとって開せんなど簡単なことみたいです。もう何回も嫌がらせに進入されました。（女性 50代）
- 身体障害者手帳をカード化していただきたい。（女性 60代）
- 日頃の取り組み、ありがとうございます。（女性 60代）
- 色々としていただきありがとうございます。うれしく思っています。（女性 70代以上）
- いつもお世話になっております。有難うございます。（女性 70代以上）
- 心臓障がい1級ですがタクシー券や（内部）生活保護の割増しなど日本に生まれたことに感謝しておりますので私なりに地域に貢献させていただいております。（女性 70代以上）
- 今まで知らない事があったので勉強になりました。（女性 70代以上）
- 家族に面倒を見られないと言われた時、どうすれば良いのか不安です。（女性 70代以上）
- 私は人工関節による下肢機能障害4級、H16年9月に受給を受けました。今は自立し1人の生活を送っております。先々の事は色々心配ではありますが、今日1日元気でという気持ちで過ごしております。地域の人達、友人知人、子供達に支えられる日々です。（女性 70代以上）
- 障がい福祉センター様、いつもありがとうございます。自分なりに判断しましたが、間違っって記入したかもしれませんので、よろしく御願い致します。（女性 70代以上）
- 私は73才になりますが、50才ぐらいの時に右の股間部が悪くなり、手術をしました。なんとか買物をする位は歩いていますが、今、又左足の方が時々痛みを感じる時があります。年に一度、診察していただいています。左足の方が2cmくらい短くなっているの、2年に一度、靴の底を直してもらっていてその料金を助成してもらっています。それも助かっています。今回、アンケート用紙をもらって知らない事がたくさんありました。33P～46Pの福祉のいろいろ書いてある事読んで勉強したいと思いました。（女性 70代以上）
- 誰もが（障がいのある人、ない人）明るく平和に暮らせる静岡を希望します。（女性 70代以上）
- 転入して日が浅いので静岡の事が良くわからないがわかる所だけ印をつけました。（女性 70代以上）
- ありがとうございます。よろしくおねがいします。（女性 70代以上）

【アンケートに関して（69件）】

- は1つまで、3つまでというのをなくしてほしいです。福祉に関する情報などをホームページだけではなく、静岡気分などの情報誌のような物があつたら嬉しいです。障がいをもった本人だけではなく、その家族への支援・配慮が少しでもあるといいです。（男性 10代）
- 就労のアンケートの所に働けないなど、寝たきりや意思確認がむずかしい人の所も含めてほしい。アンケートで今後役に立つのは助かります。少数派ですが重度の寝たきりの人の選択をいれてほしいです。（男性 10代）
- 前回アンケートから全く変わってないと思いますが、このアンケートは統計の為だけですか？色々な手当等、収入で受け入れたり、停止になったりは不平等だと思います。男・女関係なく一人で育てていくのに大変さは同じだと思います。ここで何を言っても変わることはないと思いますので、今後このアンケートは送らないで下さい。（男性 10代）
- ほとんどの問いが、あまりあてはまらず自分で考えての回答になってしまいました。お役にたてず申し訳ありません。（男性 10代）
- このようなアンケートが何のためになるのか、なっているのか全くわかりません。（男性 10代）
- 今回の回答は本人に説明をしながら行いました。障がいもいろいろな形の障がいがあり今回のアンケートで知ったこともたくさんあります。将来を考えるのは大切な事なのですが2-3歳のお子様の保護者の課題と20-30才の保護者の課題は違うと思うので年代別の障がい福祉情報の回覧などがあればいいのと思います。年々障がい児や障がい者に対する対応や制度、福祉も10年前に比べて生活しやすくなっている面もあると思います。メリットもデメリットも世の中の方々に理解をして頂ければと思います。このような機会をあたえて頂き感謝致します。ありがとうございます。（男性 10代）
- 本人が4歳であり、面倒を見なければいけないことが多く、アンケートの回答に苦慮する設問がありました。（男性 10代未満）
- アンケートに答えれば答えていくほど腹が立ってきます。今までも何度かアンケートに答えてきましたが、それでどのように変わってきたのでしょうか？アンケートに答えれば少しは自分達の不安さ（親も含め）不自由さが把握されると思ってました。あたたかく声をかけてくれると思ってましたがそんなことは全然ないまま何年もきてます。その間にはもとの病気の他に又別に病気にかかり手術をしたり障害の追加にまでもなっています。親も年をとり、自分の体もままならない上にそれでも子供の面倒をできるだけみてあげたいと必死なのです。今年息子は直腸がんになり人工肛門を付けました。親1人子1人の家庭で私が倒れたら、もう二人ともアウトです。それにストマの助成も2ヶ月¥17,200-と少ないように思います。パウチだけでも1枚¥1,000-もするのです。その他いろいろケア用品もかかります。もう少し助成があってもいいと思います。特に親1人子1人の世帯にはもっと手厚く援助をお願いします。個別訪問とかのサービスもあってもいいと思います。○3つまでとか選ばれるわけがありません。それだけすべて不安なんですよ。こんな立派な面倒なアンケートを作る暇があつたら親1人子1人世帯、年取った親子、困ってる親子に直接あたり声をかけて下さい。緊急でも利用できる手続きや簡単なサービスを増やして下さい。（男性 30代）
- 本人が拒否してしまい代わりに親がやりました。本人がこうだろうと思い答えました。たぶん本人がやっても、質問に対して深読みをしてしまい、1問に長い時間がかかり、生活に支障が出ます。ヤダと言って破棄してしまうより、代わりにやった方が良くないと思います。少しは本人にも聞きました。「問40」に関して…親と一緒に仕事に行っているの、本人より親の体力の方が心配です。本人はうちでのんびりしていただきたいのが本心だとは思いますが。（男性 30代）
- 区分認定の意義、必要性、方法の見直しを！本人に見合った区分を決定するのに本人も家族も時間

Ⅲ 自由意見

労力を使いすぎます。区分に関わらず本人が生きやすい現状となりますように。締め切り過ぎてしまいました。どうもすみません。
(男性 30代)

- このアンケートに50問もあったら大変。見るのは大変だから、読んでもらって口頭がよい。
(男性 40代)
- 本人の立場に立って解答することは難しく、本人なのか親なのか分からなくなってしまった。アンケートは、福祉サービスに関して復習する良い機会でした。ありがとう。
(男性 40代)
- 質問が良くわからなくて、答が書けない所もあってすいません。
(男性 40代)
- このアンケートについて。匿名性確保との兼ね合いで難しいかもしれませんが、オンラインでの回答ができると助かります。また、33~46ページは別冊がよかったです。切り取り線の位置ではダメなページもありました。
(男性 40代)
- 長期入院のためアンケート記入、出来ませんのであしからず※とても在宅者にとっては良い事ですね。わかり易い質問です。
(男性 50代)
- 切り取り線がずれていて保存用の冊子の字が欠けてしまいました。
(男性 50代)
- 切ったらバラバラになるから別紙にすればいいのでは？ページめくりが大変でした。(男性 50代)
- 記載項目が多すぎる。無意味。税金の無駄遣い。
(男性 50代)
- 聴覚障がい6級の自分に対してこのようなアンケートを送付してきても、普通に仕事をしているので、他の方のようにまともに答えられません。もっと重度の困っている人に送付してあげてください。
(男性 50代)
- 設問を要約したり、簡易にして本人に聴いてみました。最近は署名の際、かなり手がふるえるので、「代わりに書いて」とよく頼まれます。耳や目が以前より(加齢もあり)悪い様子がお世話の際感じられます。
(男性 60代)
- このアンケートは、障がい者福祉に相当関心があるが、その恩恵をうけている人でないとわかりにくい気がします。
(男性 60代)
- アンケート記入にエネルギーが要るなあ。
(男性 70代以上)
- 設問が私の立場に全く合っていない。解答しようにも解答枝がない。障害者をひとくくりに考えている為にこのようなことになる。私は身体障害者手帳一級を持っているが、何故?と思うことがある。あまりにもミクロに考えてやしないか。
(男性 70代以上)
- 認知もあり、大変難しいアンケートでした。判断できない事が多く、ほぼ寝て1日を過ごす為、介護者もどう答えていいのかわかりません。そもそも意見すら持ちあわせていません。(本人は)行動範囲は自分の部屋、ベッド上のみ、外出はデイサービス・ショートステイのみの生活。情報取得方法はほぼ0、理解力も0の状態です。協力できず申し訳ありません。(介護者) (男性 70代以上)
- 視覚障がいがあり、アンケートを読むことが出来ないので困りました。
(男性 70代以上)
- 記事内容もさることながら、一見して目がくらくらした。平易な漢字までにルビをふってありよけい煩雑になって読みにくい。自分も最後のほうは勘弁してほしいと思い止めました。
(男性 70代以上)
- 87才でペースメーカーをしているがこの調査の必要はないと思う。私の解答は削除してもいい。
(男性 70代以上)

Ⅲ 自由意見

- 病気で入院したため、遅くなりました。 (男性 70代以上)
- わからない所があり普通用語と違い専門用語ばかり使っているので、調べ調べ書いていたので3倍疲れました。二度とやりたくありません。 (男性 70代以上)
- 本人も家族も高齢者なのでアンケートに答えるのも大変になってきている。(質問の数も多すぎるのでは) 家族で今後どのように生活してゆくかを考える良い機会にこのアンケートがなった。年金だけの生活者にとって介護保険のサービス料金、保険料の値上げ、医療費の値上げの話が出る度に不安が増します。道路について、町の中心部で地下を通らないと道を渡れない所がありますが、障害者や高齢者は大変ですので考えて欲しい。災害時の支援について、各町内会や自治会で支援方法が違っていているように感じますが。 (男性 70代以上)
- このアンケートの内容、自分の身体障害者4級ではあてはまらない。 (男性 70代以上)
- このアンケートは知能がある程度あることを前提としているので答えに困る設問が多い。 (男性 70代以上)
- 設問内容と質問内容解答できる○の数など指定する部分が違っていているように感じた。静岡市の障がい福祉サービスは他の政令都市や市町村などと比べるとおこなわれているように感じます。 (女性 10代)
- ○をなぜ3つしか選べないのでしょうか?全部あてはまるし、たりないです。 (女性 10代)
- せっかくの機会ではございますが療育手帳もありません。アンケート調査内容が不快に思いました。送って頂かなくて結構です。 (女性 20代)
- いつもアンケートが当たっているように思います。 (女性 20代)
- ご尽力いただきありがとうございます。障害者は社会に貢献することは難しいので健常者の方々が住み良い社会を創り上げていただけたらと思います。こういったアンケートに答えてもなかなか反映されていないという意見も身近に聞きます。今後とも宜しくお願い致します。 (女性 20代)
- 質問事項の内容にメンタルな部分が含まれていなかった(具合のわるい時のことが聞かれなかった)。(女性 30代)
- すみません。本人が良く答えてくれなくて。回答出来ない所もあります。申し訳ありません。 (女性 30代)
- 本人は自分のことを「障がい者」であることを知らない。このアンケートの内容は理解できないことが多い。(女性 30代)
- まず、この調査が届き、驚きました。調査対象に該当してはいますが、定期的な点滴治療を受け、服薬している以外は障がいのない人の生活をしているからです。(持病が悪化すれば障がいのある人になるかもしれませんが) そのため、33ページ以降の用語等ははじめて見たものばかりだったため、それらを知る良い機会にはなりました。ただ、障がいのない人の生活を送っているため、回答に困るものがいくつかありました。自分はどの立場で答えるべきか、持病が悪化した際のことを想定して答えるべきか、悪化を想定しても回答に困ったため、想像で回答しました。私がこの調査に回答することに違和感を感じたため、対象者を狭めても良いのではないかと思います。(女性 30代)
- アンケートが長すぎて大変です。(女性 30代)
- こういうアンケート、すごく嬉しいです。それぞれ、困り事は違うと思うのでもっと、みなさんと

Ⅲ 自由意見

共有したいです。ありがとうございます！ (女性 30代)

- アンケート内容が知的障がい者には分からない解答内容が多く当てはまらない。選択解答が多いので解答に困った。回答者の立場に合った質問内容にしてほしいと思います。 (女性 30代)
- 本人には難しいので答えることが不可能な設問がほとんどです。これで集計をとれるのかと思いました。 (女性 30代)
- 質問の内容が難しく、量が多すぎて大変でした。 (女性 40代)
- このアンケートは殆ど軽度の障害者向けでは？本当に介護の必要な人の為の調査(アンケート)では無いと思います。 (女性 40代)
- このアンケートの解答は親が記入しました。日常生活で困っていることはありますか？の質問には○3つではとても表せず、全てに○をつけたい状況です。そのように重度の障害を持つ者には施設も後見人等を含む周囲の体制などにも不足を感じています。親亡き後も安心して生活できるような体制作りをよろしくお願いいたします。 (女性 40代)
- ごめんなさい。ここまでのアンケートでつかれました。頭も回らないのでとりあえず意見などは無しとします。障がいに対して気をつかって下さりありがとうございます。もう一つごめんなさい。この後のページの切り取りに失敗しました。すいませんでした。 (女性 40代)
- 質問の数が多すぎる。ふりがながあり読みづらかった。アンケートさせるならお礼を頂きたいです！！ (女性 40代)
- いろいろありがとうございます。お世話になります。記入することがとても大変でした。 (女性 50代)
- 読む事がむずかしいので提出が遅くなりまして申しわけありません。乱筆もあり読みづらいと存じます。どうぞ御容赦下さいませ。 (女性 50代)
- 障がいの種類にもよりますが、支援が必要な方もいるし、支援者になれる方もいるはずですが。健常者の中にも、支援を必要としている方はいます。障がいのある・ないで支える・支えられるという考えはすべてに当てはまるとは思えません。人間としての個性を皆が理解し受容できるように、学校教育・社会教育・家庭教育で変えてゆくこと。考え方を考える柔軟性を持ち合わせることは難しいですが、やらなくては変われません。例えば…今の小学生はジェンダーフリーについて非常に寛容(付き合いのある小学生たちは、まったく意識していない、または性別がなにか？という感じ)です。小学生のとき、片腕のない友人がいました、だから何？できないことは手伝いやってあげるのが当たり前でした。世の中の意識を妨げているのは、大人たちではないでしょうか。大人が子どもから学ばなくてはならないことがたくさんあると認識しています。「障がい者ですが、何か？」と言える世の中、障がい者であっても「社会貢献している＝世の中に必要な人」という自信をもって生活できるような世の中になるとよいと思います。行政が変わろうと、障がい者からの意見を吸い上げてくださることに感謝申し上げます。「33ページ～46ページは、ページをきりとり、自宅保存用としてご利用ください。」障がい者だけでなくご家族の方も…多くの方は点線で記された場所をどのようにして切り取るのでしょうか？はさみを想定していますか？カッターですか？7枚の用紙を一度に切り取れますか？高齢者がカッターを安全に使えますか？ステープラーで止めた針を外すのでしょうか？手間はかかりますが、あらかじめ切り取りしやすいように点線に切り込みが入っていると、別紙で添えるとか…考えが及ばなかったのでしょうか？しかも点線で切り取れば、保存しておきたいせつかくの書類の文字が欠けてしまいました。行政が本当に障がい者に寄り添う考えがあるのでしょうか？との疑問が残りますし残念です。障がい者として、社会に助けられていることが多いですが、私にできる社会へのお返し・社会奉仕活動も行っています。一人ひとりを大

Ⅲ 自由意見

切にすること、障がい者という言葉がなくなり個性としてお互いが認識できる世の中になることを願っています。必要な時しか見えるように使用していませんが、支えてほしいときのヘルプマーク。駐車スペースのゆずりあい駐車証も体調の悪い時には使わせていただき助かっています。障がい福祉に関する環境が今よりも良くなりますように…。ありがとうございます。（女性 50代）

- 設問はやや多い気がした。（女性 60代）
- お仕事、集計御苦勞様です！知らないサービス、忘れていた事もあり、今回再認識出来て良かったです。（女性 60代）
- このアンケートは何の為におこなっているのか、65才になる妻にこのアンケートはどうなのか。もう少し年代にあったアンケートが必要では。私の妻のほか、息子もダウン症で障がい者でもあります。（26才）年代に分けたアンケートが必要では。障がい者はどれも同じ（年代や障がいの程度）と感じているアンケート調査はどうかと思うのは私だけでしょうか？もう少し障がい者の程度を分析するなりしていただきたい。このアンケートは障がい者に対して思いやりが足りません。（女性 60代）
- このアンケート及び資料はとても参考になりました。自分を含め、障害福祉の現在の状況やサービスを見直したり知ったりすることができました。（女性 60代）
- 自宅保存用なら別にした方が良いでしょう。（女性 60代）
- ネット解答もできるようになりませんか。何回かアンケート解答していますが調査結果が反映されているのでしょうか。（女性 60代）
- 無作為に選ぶのはどうかと思う。10代の子と高齢者では立場が違いすぎてアンケートの意味をなさないのでないでしょうか。若い方はこれから働く、高齢者は今まで働いた。両極端の人達から同じ障害者だからと同じアンケートをとってそれを集計したら正しい結果は出ません。（女性 70代以上）
- 私の場合心臓系の重度障害者なので、今回のアンケートには記入の考え方が難しく随分時間が必要でした。（女性 70代以上）
- 独居の視覚障害者では、このアンケートはできません。私は家族がおりますので困る事はありませんが、アンケートをサポートしてくれる人が同居と分かっているアンケート配布だったのでしょいか。（女性 70代以上）
- ありがとうございます。十分にアンケートに答えることが出来ませんでした、一応お返し致します。おつかれさまです。よろしくお願いします。（女性 70代以上）
- 年寄りにこんなにたくさんのアンケートを記入させることに無理がある。（半分ぼけている人にはわからない）色々な制度があっても手続きが面倒なことが多い。（女性 70代以上）
- 高年齢の私が選ばれ、協力出来なくて申し訳ありませんでした。（女性 70代以上）
- 十分な解答が出来ていなくてすみません。11/2（水）から入院していて、入院中にアンケート在中の封書が届いている事は入院中に知りましたが自宅にアンケート在中の書類を置いておいたので、目を通すのが遅くなり、体調の良い日と悪い日があったのでおろそかにしていました。（女性 70代以上）
- 問答が沢山ありまして疲れしました。強制でしょうか？（提出）悪しからず…。（女性 70代以上）
- このアンケート、ふりがながありすぎて読みにくかった。（回答しない 30代）

- 清水区役所正面中央階段に手すり付けて頂いたが、平地からの1段目になぜ手すりないのか？これでは希望した私は利用出来ません。装具使用にてのスロープは歩きにくいですし、手すりつかみにくく、側にプランターを置かないで下さいとお願い何度かお願いしたが、何も植わっていないプランター有ったこともあり何の意味が？清水市に戻してほしい！！P33 のコメントのような事がなぜ不自由と理解出来ないか！！最初から別綴りにしてほしい！！（性別不明 年齢不明）

2. 障がい福祉に関する意見／障がいのない人

【障がいのある人への理解・交流等に関して（64件）】

- もっと身近に障害者の方々や福祉と関わる機会があったら良いと思う。（男性 20代）
- 身体的機能に関する障がいは仕方のないことで社会全体での支援が必要だと思うが、精神面での障がいといわれ病名までついてのものに関しては本人の気持ちや考え次第でどうにでもなることもあるのではと正直思ってしまう。自分もつらくて逃げ出したいことはいくらでもあるしおそらく病院に駆け込んで思うままに気持ちと症状をはき出せば病名がつくのではとも思うがそれは甘えだと思うのでしません。そのような人たちにたいしての積極的な支援というのは「甘えていい環境」をつくり出すことにもつながるのではないかと正直思ってしまう。（男性 20代）
- 実際に接する状況に直面した時、家族など身近な人が障がいを抱えることになった時、知識不足のままでは適切な行動が取れないかもしれない。まずは「知ること」。社会にとっても自分にとってもその一歩が必要であると感じている。（男性 30代）
- あまり障がい福祉に関わりが少ないが自分の出来る事があればやりたいと思う。人によって出来ることは違うがみんなが助け合うことができれば良いと思う。行政がそれをサポートしてほしい。（男性 40代）
- 障がい福祉に興味がある人は、ほとんどいない状況で今後そのような人達に興味を持ってもらえるか考えたほうがよい。障害者スポーツ（オリンピック）などの人達が現在どのような支援を受け、どのような生活をしているかなど、イベントで体験してもらうなど。etc.（男性 40代）
- お互いに助け合う気持ちがあればなんとかなる（男性 40代）
- 今後高齢社会がさらに進んで、社会全体に福祉が必要になってくる時代がすぐそこにあると考えられると、誰もがすべて福祉について知り、考えなければならぬ。まずは介護体験などで体験実習の経験を積むことが実際的なエントリーになると思う。（男性 40代）
- 障がい者への支援は必要と思うが、「お互いに、支え合い」は正しい表現ではないと思う。健常者側の好意で成り立つ「お互い様」と考える。ただし、障がい者が活動することを遠慮する様な雰囲気は健常者が作ってはならない。（男性 50代）
- 日常で障がいのある方と接する事はほとんどありません。その為、障がい者が何に不自由しているのか何を必要とされているかも分かりません。（男性 50代）
- 障がい者も健常者も楽しく暮らせる社会になるといいと思います。（男性 50代）
- 障がい者と健常者の間には埋められない格差があるがお互いが認め合ってやさしきで対応する事が大事だと思う。そういう気持ちがあれば特別なあつかいは必要ないのではないかと？（男性 50代）
- 配慮はするが同情はしないスタイルで向き合っている。何をしたら良いか分からないので見本を見

せてくれる人が身近にいると助かる。 (男性 50代)

- 障がいを持つ方が困ることがあれば、何らかの手助けをしたいと思いつつも、むしろその行動が偏見や見下す行動になるのではないかと躊躇してしまう。又、実際に目の不自由な方に声を掛けたら「放っておいて下さい」と返された経験もある。私達が思うほど障がいを持つ方々は不便に感じていないのでは？と思うケースも度々ある。障がいを持つ方々が何を希望しているのか、むしろ私達が知りたい。その方がスムーズに事態が進む気がする。 (男性 60代)
- 障がい者自身の思いを、健常者の人達はさらに耳を傾けるよう、さらに努力を望みます。やがて年をとり、自分も障がい者の仲間入りするのだから…。最近右足の肉離れ（モモあたり）をして、歩行がしづらくなり、階段（家の中）がこんなにも大事！！と痛感した体験から。バリアフリーとか、段差を無くすとか…。 (男性 60代)
- やはり障がいに対して過度な偏見、先入観はいけないと思います。重度な障がいであれば、一般の人と同じような感覚で仕事ができると思います。かなり前の話ですが、某企業では障がいのある人にライン（コンペアー）にはいつてもらって瓶のチェックをしてもらったそうです。その結果、健常な人のチェックと何らかわらなかったそうです。私個人の考え方としては、障がいのある人に対してごく普通に接する—これが一番重要なことではないかと考えております。 (男性 60代)
- 身の周りに障がい者がおらず、ふれあう機会がなく、結果的に関心が少なく、法、ルールなどに無知であることを知りました。あるいは障がい者が居ても、そう意識していないのかも知れません。 (男性 70代以上)
- 非常に関心はあるが、自分の体も最近動くのに大変になっている（足首から下が「しびれ」ので感覚がない）状態です。身内にも障害者が居るので福祉行政には出来る限り参加したい。残念だが自分が障害者の仲間入り間近です。 (男性 70代以上)
- 若い頃は障がい者はかわいそうだ、生まれつきならなおさらだと思い、同情ばかりでありましたが、どうしてもかかわりたくなく一定の距離をおいていた。自分が高齢化し、半分障害者に近い行動をするようになってから関心が出て来た。併せて地域、町内の役員をする様になり、一層考えるようになった。又、防災上の資格をとったり、点字を習得したり、少しでも理解を深める事に努めた。昔の人は道徳などで、自然に困った人を助けるのはあたり前であった。今は自分勝手な人が多く残念でならない。 (男性 70代以上)
- 身近に障害者がいなかったのこれまで比較的無関心で反省している。遺伝情報のミスが原因とか聞くけれど誰の身にも起こり得ること、人としての生を授かった以上その人の天寿を全うさせ学ばべき事を学んだり、周囲に学ばすなどの務めがあるのではないと思う。現在の自分がいかに恵まれているかを周知徹底させて、恵まれていない人への配慮を気付かせるか工夫して欲しい。 (男性 70代以上)
- 今から何十万年も前の人類の祖先の骨が見つかりました。その頭骨にすべての歯がないものがありました。この事は何を物語っているのでしょうか。チンパンジーから別れた祖先が脳（前頭葉）を発達させ、この時既に「他を思い遣る心」を持っていた証拠だと思います。その後現人類となり、進化の道を急速に歩み文化、文明を築いたことは周知のことです。特に科学技術の進歩は目覚ましいものがあります。しかし未だ貧困、飢餓、戦争を克服するところ迄辿り着けません。これは脳、知恵が未熟だと云うことでしょうか？さて数年前衝撃的な事件が起きました。県外でホームレスの無抵抗な老婦人が男に殴打され殺害されました。これを不寛容な殺伐とした社会のせいと済ましてはいけません。何故救えなかったのでしょうか。たとえ今健常者であっても突然の病、事故、あるいは高齢化、その他、様々な原因で、以前の当り前の生活が困難になってしまうことがあります。人

は様々、千差万別「他人様の迷惑にならない」と云う様なある種孤高高潔な人格を有し声を挙げない人（サイレントマイノリティ）も多数存在します。健常、障害と云うデジタル的な括りで差を付けるのではなく「お互い様」「お蔭様」と云った謙虚で且つ感謝の心を持ち、緻密で偏見のない思い遣りのあるソーシャルワークが必要です。人間は軍備軍拡では護ることはできません。人間によってこそ護られると思います。この様な人と差を付けない、違う他を受容できる思い遣りの心を育むには、若く、感受性の強い柔軟な心を持ち続けることが必要です。年取った政治家が失言を繰り返すのは、脳が固まってしまった証拠です。よって幼い頃から、家庭、学校、地域社会での教育実践を行って行かなければならないと思います。（男性 70代以上）

- 私は小学校の時に児童支援学校との交流に参加しました。みんな一緒にゲームや運動をする事に喜んで参加し、楽しんでいた姿が今も心に残っています。とても良い時間でした。そういった経験から障がい者という偏見がなくなっていきました。これからも色々な場所で「障がい者共生のまちづくり計画」という素晴らしい案が充実したものになりますよう期待し、自分もできる事に積極的に耳をかたむけていきたいと思っています。（女性 20代）
- 知らない、分からない、だから関わらないを減らして欲しいです。障がいの方の関心を増やすことも大事だと思います。暮らしやすい社会になっていく事が増えていってほしいなと思います。（女性 30代）
- どう言う時にどう言う対応をすれば良いか解らない時に近づいたり、話しかけたりせず遠目に見てしまっただかかわろうとしない。こんな時にこうすると良いなどのマニュアル or 例題的な啓発運動があれば、もう少しお互いの理解が深まるのではないかと思う。（女性 40代）
- 「障がい」と言いましてもいろいろな障がいがあり、人格形成がむずかしい分野も多くあるとは思いますが、やはり人柄なのではないかと感じてしまう事があります。ただ障がいを持ちながらも力強く生活されている方を見ると本当に尊敬します。この多様性が叫ばれる世の中、障がいの有無に関係なく、いろいろな人が交流する機会があればお互いに気付きを得られる事も多いのではないかと考えます。と、何も知らない故理想論でクリアしなくてはいけない問題が多くあるのでしょうか。お仕事とはいえ、このような分野で尽力されている方々に心より感謝致します。（女性 40代）
- 仕事柄（リハビリテーションセンターで、ごはん作ってます。）、普段、リハビリなどで、見かけたり、職員の方の話を聞いたりして、思っているよりもっと明るいというイメージが意外とありました。コロナ前は、よく音楽のライブに行ったりしていましたが、●●●とか、●●●の施設などで、見かけました。もちろん職員の付き添いの人も付いていましたが、何しろ、せまいので、周りの人々の理解も必要で、それなりに周りも動いていたのに、感動しました。→ストレッチャーで入ってきたのですヨ（笑）利用者で何か手伝おうとする、手伝ってもらわれているというのが嫌だという人もいらっしやって、なるべく自分でやるのがモットーだそうで、それも意外でした。特別扱いはなしの方が、良いのかもしれない。（女性 40代）
- 私の子供（小学生）は来年度から支援学級へ入ります。支援学校=かわいそうのイメージがある人が多く、「かわいそう」と何回か言われた事があります。特に私世代から上の年齢の方達に…私達家族は子供がかわいそうと思ったことはありません。世間は障がいがある子を、違う目で見ていると思います。まだまだ障がいがある子達にとって住みにくい世の中だと感じます。（女性 40代）
- 令和の時代の事は分かりませんが、私が普通の環境で育った中では、障がい者を知る、接する機会はなく、理解のしようがありませんでした。変わった顔ぼうの子（ダウン症）、ヘッドギアをしたり、独り言を言いながら歩く子（多分自閉症）、車いすに固定されている子（神経、脊髄の問題??）などを養護学校の送迎バスで見かけたことがあります。ちょっと怖くて異次元な感覚でした、子供の頃は。どう接するか分からないし。なので、成人してから、共生・協力等言われても、近づきたいイメージはあるし、接し方も分からないし、どうしてそんなに集中力がない、理解できないの

Ⅲ 自由意見

か、理解できなかつたです。小学校、幼稚園の頃にもっと交流する、理解し合える機会を増やすべきかと思います。見た目、行動が自分と違っても、〇〇という理由でこうなる、何かあったらこうやって話しかけて、手をかして、というのが「普通」になると、成人してからの地域社会、職場でも超特別な存在にならないのかなと思います。色んな人がいる、の1つ、走るのが速い人、遅い人、走ると転ぶ人色々あるよね、位になれるといいですね。(女性 40代)

- 障害者であっても一生懸命、社会生活を送っている人もいますがなかには、障害者だからと言い訳にし、仕事もせず、まして健康的な生活をおくってない方とかをみると、障害者の方に対しての偏見がうまれます。一生懸命の方には少しの事だったり、小さな事でも何か出来ればとは思いますが、そうでない障害者の方には、何もしたくないと思う。市、県のほうでもっと調査すべきだと思う。障害者手帳をもっていなくても、身体に不自由をかかえ、通院、リハビリしながら健常者として社会生活をおくっている人もいます。上記のことから、障害者の支援に対して疑問がうまれます。(女性 40代)
- 普段より障がいの方々と接する事がないと、いざという時、どうしていいかわからない、どう接していいかわからないと思う。小学校の授業の中に福祉というものを入れたりして、子供の頃から福祉に対して勉強したりする事も必要だと思う。(女性 40代)
- 障がいをもつ人、もたない人、みなさんが生きやすい世の中になること、それが一番だと思います。障がいを持っていた母と生活していてすごく感じたことがあります。私の母だけかもしれませんが「助けてもらって当然」という意識を母の中から幾度となく感じました。「そうじゃないでしょ、お母さん」と何度も思いました。感謝の気持ちを持ってと何度も伝えました。健常者、障がい者、相手の意識が変わっていけるとよりよい社会になるかと思います。乱筆にてすみません。(女性 40代)
- 行政やコミュニティのみではなく日常的な場所（スーパー、ドラッグストアなど）で障がいのある方へのお手伝いの申し出ができやすい環境をつくと良いのではと思う。(女性 50代)
- 私も含めてですが、余裕がなく（心の余裕、体力がない）自分のことで精一杯な人が多いように思います。それに加えて、他人に無関心な風潮があり、見て見ぬふりをしてしまうのかもしれない。障がいのある人がどんな支援を求めているのかもわからないので、どう手を貸してあげたらよいかわかりません。(女性 50代)
- 身のまわりに障がいのある方がいないのであまり考えなかつたですが、近所にいらっしゃいますが、外であったときは声かけはしています。おはよう！こんにちは！など。もう自分も年をとり心配になってきた年ごろなので近年もう少し深く考えてみたいと思いました。勉強もしたいです。(女性 50代)
- よく知らなくてすみません。(女性 50代)
- 普段、日常生活の中では意識する事なく過ごしている為、今回のアンケートへの協力で障がい福祉について考える時間を取った事、今は無理でも健康で過せる一生の中で何か自分も役立つ事ができるのかを考えさせて頂け、今後今までとは違った行動が取れるのではないかと思います。より良い福祉活動に繋いで頂ければと思います。ありがとうございました。(女性 50代)
- 私には障がいがある方に対してどうしていいかわからないというとまどいの感情があります。地域や社会のしくみや、個々の知識レベルが上がっていくようになるといいと思います。(女性 50代)
- 今回のアンケートを通して、改めて私自身が障がいや福祉、相互交流等について日常考えていない事を実感しました。駅や街中で盲導犬をつれている人や子供連れでベビーカーを押している若いママさん、白杖をついている人、ヘルプマークをつけている人に気付き、様子を気にかけて声かけもあ

りましたが周囲を見てみると環境が整っていないのかなと感じました。もっと教育の中で協力し合うことやボランティア等の教育が普通になって欲しいと思いました。突然何かをしようとしても行動にうつせないと思います。私は10代後半から20代にかけて動物好きがきっかけで盲導犬を知り、視覚障がいのある方々が何か困っているか、声をかけて欲しいと話されていた事が脳裏に残っていてほんの少しのお手伝いできればと思って行動に移す様になりました。行動に移すきっかけは様々だと思いますが、きっかけすらない人達も多いと思います。きっかけの場をつくっていただけたら街中の人達も自然に行動できるのではないのでしょうか。(私が見かけたやさしい出来事)障がいのある方が通行人に話かけるもみんな素通り、ベンチに座っていた女子高生が2人席を立て障がい者の方に近づき、一言二言何を話していたか私の場所から聞き取る事はできませんでしたが、女の子達はその場にしゃがんでいました。ほどけてしまった靴ひもを結んであげた様でした。そんな様子を見て素通りした大人に腹が立ち、やさしい女子高生をほめてあげたくりました。

(女性 50代)

- 私はお店で並んでいる時、コンサートなどで介護の人が「先に行かせて下さい」「前へ行きたい」と言って特別扱いがあたりまえの様な行動、言動にそれは違うのではないかと思った事があります。すべて平等ではない事は分かっている。介護の人は「平等にして下さい」とも言っているが、それは私達の平等とかけ離れていると感じました。一部の人もかもしれないけど、平等というわりには特別扱いをあたりまえに使うのは違うと思う。並ぶのも絶対並ぶ事は分かっているはず、来るのであれば並ぶべきだと思います。障がい者本人ではなく、付き添いの人の問題です。困っていれば声もかけるし、お手伝いもしますがこういう場面を見るとイメージが悪くなる事があります。私達も必死に生きています、特別扱いが目についてしまう時があります。お互いより良い生活、環境で生きていくためにはお互いの感謝の気持ちがあるべきだと思います。心がお互いの事を大事思えるには、障がい者だから、障がい者なのではなく、人間同士、思いやり、気遣いを持っていけたら良いと思います。

(女性 50代)
- 別の市ですが以前福祉関係の施設で働いていました。主に精神障害、知的障害の方と接していましたが完全に社会から隔離されていると感じました。知的障害者は本当に純粋で社会に出たらだまされれないかの方が心配でした。また、見た目は障害があるとは思わない様な方もいらっしゃったので、何か問題行動や人と違う発言があった時の理解がされにくいと思います。なので、もっと共生できる社会であり障害者というか障害がある人と扱われない様に普通にくらせる様なになればと思います。目の見えない方が歩いていても声をかけたり道をゆずるという方も静岡市では見た事ありません。私は声をかけないといけない状況になるまで見守り、困っていたら声をかける様にしています。

(女性 50代)
- 健常者とのコミュニティの確立や、買い物、散歩などがしやすい道路の整備があつて、障がい者の方々からも接点を作ってくれたらどこに住んでいるか、何を必要としているか想像しやすいです。あえてイベントなどで交流するより、普段の生活をしていく中で自然と接する社会が理想です。テレビも新聞もみることが減った昨今では、法律の整備があつても知らない方が多いのではないかと思います。学校教育で子供のうちから障がい者や年配の方々とはふれ合う機会があれば将来のためにお互いの理解が深まるのではと思います。

(女性 50代)
- ひと昔より、随分私たち健常者にも理解出来る人が増えていると思いますが。障害者の人たちから見るとまだまだですよ。その溝が少しでも埋まるといいですね。私もこれを切っ掛けに見直したいと思いました。

(女性 60代)
- 自分の生活で精一杯の世の中かもしれませんが、“共に生きる”の根本を一人ひとりが意識できるようなコミュニティづくりや、私にできることを、させていただきたいと思います。私が子供の頃、およそ50~60年前には、障がい者に対する差別は、とても大きいものだったと思います。日本も、近年では、福祉が発展し、改革も行われてきたと感じています。多くの福祉のイベント等の開催も、

その一役を買ったのだと思います。今後も行政の力をいただき、障がいのある方が住み良い社会づくりができると良いです。しかし、私達ひとり一人が本当に人として、できることを努力していくことが最も大切なことだと思っています。特別なこと、としてではなくあたり前のこととして生きていけると良いなと思います。
(女性 60代)

- 障がいと一言で言うほど少なくないと思います。障がいにはさまざまな実態があり、あまりにも広い範囲で…いつもどの部分でお手伝いができるのか？知的、身体的、精神的分野が自分で定まらず考えてしまうことがあります。その都度出来る時に分野問わずやらせて頂いてますが、なかなか現実には深くかかわる事ができません。身近で自分の時間が上手く使える情報をもっとあればと思いますが、私が気づかないだけかもしれません。長い間やれる事も少ないです。少しずつみなさんで分担してやれる事があればと思います。
(女性 60代)
- 職場にも知的障害の方がいます。特に問題もなく働いていると思います。障害を持った方も働きやすいように職場や福祉等ちょっとした支援で普通に問題なく過ごせるとしています。今後も差別もなくなり安全に地域にとけこめたらと思います。今後ヘルプマークやヘルプカードを見かけたら積極的に声かけや手助けになるような事をしていきたいと思いました。
(女性 60代)
- 子供の頃、障害者に追いかけてらいたいやな思いがあります。また、近所に乱暴な知的障害者がおり、周りの人に乱暴したり、困っています。こういう人達と仲良く、というのは、現状をよく知らない人達のきれい事だと思います。
(女性 60代)
- 現在 91 歳なので自分の事で精一杯。若かったら手助けしたい。
(女性 70 代以上)
- 年を取ってくると自分自身が大変になります。若い時関心がなかったことに残念です。
(女性 70 代以上)
- 今は何不自由なく動ける身体ですが高齢なので障害者になるのも近い将来かも知れない。このアンケートをする事で日頃の自分の行動を反省するよい機会になりました。動きの不自由な老人が増えています。身近な所で日常生活の手助けや、話相手になる位しか出来ない私ですが、頑張りたいです。
(女性 70 代以上)
- 身近に障がい者がいない事もあり日常生活で考える事がありません。でも協力できる場面に遭遇したら気おくれせずお手伝いしたいと思います。健常者と同じ様にみんなで補い合いながら生活できると良いですね。以前ダウン症の女性から「おはようございます」と明るく声をかけられ、びっくりしました。そして自分の思い込みでそれまで知らんぷりをしていた事はずかしく思いました。
(女性 70 代以上)
- 親戚に知的障がい者がいるけれど、近くにいないのであまりわかりません。近所にも知的障がい者がいるけれどあいさつするくらいです。
(女性 70 代以上)
- 知的障がいの方に道で会った場合自然に普通に明るく“こんにちは”のあいさつを交わしています。明るく返事を返してくれますよ。障がい者共生のまちづくりの第一歩だと思います。
(女性 70 代以上)
- 障害者が身近にいないので余りにしていませんでした。
(女性 70 代以上)
- 障がいのある人が近くにいないため、福祉について、あまり良くわからないのが現状です。
(女性 70 代以上)
- 市主催の講座を受講した際、障害のある人と同じ班になり一緒に研究活動をした。それまで障害のある人との関わりが全くなかったのでとても良い経験になった。けい椎負傷で電動車イスをたくみに操作していましたが、身支度を整えるためだけの支援者がついていたのにははじめ少し驚きまし

た。ダウンコートや手袋の着脱、胴体にくくりつけたバックをはずしその中から専用の筆記用具や水筒を取り出して机の上に置く、そんなことが私でもさりげなくできるようになって、相手側から喜んでもらえたことを思い出した。小指にかけるフックがついたコップがあればみんなで一緒にお酒を楽しむこともできるのもわかり語り合うことができた。障がい者のために何かを企画するというのではなく障がい者と共にどちらも自然体で過ごせる機会があれば理解が深まると思っている。
(女性 70代以上)

- 障がいのある人がいる家族自体が近所に知られたくないとか、家の中にいた方が安心、他人は信用できないという考え方も、かなりあるのでは？障がいを持った家族達がグループの集まりで健常者に対して、文句がかなり多く言われていました。一般の人が理解してくれないと言うだけでなく、そちらからも、もう少し頼ってみたら？とも言いたくなります。
(女性 70代以上)
- ボランティア活動で障がいのある人たちとかかわる事がありますが、それぞれ障がいの程度によって出来る事出来ない事はありますが、皆社会の一員として認めてあげる事が必要だと思います。何かをしてあげる！というのではなく、出来ない事を補ってあげながら共に社会活動ができればいいと思います。スポーツ等を通して、彼らが活躍できる場所も作ってあげられたらいいと思います。
(女性 70代以上)
- 障害を持つ家族は恥ずかしがって外出を控え家にとじ込めている様に思う。本人にしてみれば何を考えているか分かりませんが、楽しみもなく何の為に生まれきたか。途中で障害になられた方はどんなに辛い思いをしているか本当に気の毒に思うし、可哀想だと思います。こうした方の為にも大変でも色々手をさしのべていただきたいと思います。
(女性 70代以上)
- 私も片方の目が義眼です。見えないことはないですが不自由なこと、外見的な事ずっと大変でした。今もそうです。変な目で見ると人がたくさんいます。小さな事かも知れませんが本人はすごくつらいです。福祉って何なんでしょう？一番は心のケアですよネ。無理な事ですネゴメンナサイ。自分を守る事でいっぱいっばいっばいです。
(女性 70代以上)
- 家にこもりがちだと思うのでふれあい活動にさそってあげる事がいいと思います。
(女性 70代以上)
- 数年前に比べて障がい者に対して社会も個人も理解がある様に感じていましたが、当事者にとってはまだまだと云う所もあると思いますので色々これから考えながら行動したいと思います
(女性 70代以上)
- 私の身近に障がいを持って暮らしている方がいないので接し方が分かりません。
(女性 70代以上)
- 障がい者として生まれたいと思っていない為、世の中の人々が普通に手助けできる様に小さい時から教育していけば特別扱いしない世の中に少しでも良くなると思います。
(女性 70代以上)
- 私はヘルパーをしまして障がい者の方のお世話をしています。まだまだ手の届かない所があると思いますが、これからも頑張ってお世話していきたいと思っています。
(女性 70代以上)
- 私はまだまだ福祉の知識が浅いと感じた。もう少し1人1人の意識改革が必要だと思う。近年人々の福祉へのイメージも変わりつつあると思う。「障がい」を「個性」と捉える見方も増えてきている。しかし、私が親戚に障がい者を持ったとき、そんな甘いものではないことを知った。1人1人が生きやすい世の中にする為には個別のニーズに答えるようにしていくことも必要だが、もっと1人1人が自分と周りの人、地区の人、日本の人のことも考えていくような考えを待たねば限りがあると思う。1人で生きていけるようになったからこそ、今1度共生を考えていきたい。よければもう少し教育面で共生を考える機会を与えてほしい。日本を地球をになうのは子どもたちだと思う。様々

なことで生きる希望を持ちにくくなっている世界に子どもたちをはなつのは無責任であると思う。少しでも夢と希望を持って生きてほしい。私もそう生きたい。私1人ができることは限られている。どうか少しでも多くの人が幸せに生きられるような世界、地域を作ってほしいです。このようなアンケートがあつてうれしい。お仕事お疲れ様です。お互いが尊重し合い支え合える都市になったらうれしいな。
(回答しない 20代)

【行政などに関して (34件)】

- 障がい者を保護するために、障がい者側の立場からルール作りや設備対応することは、非常に重要だと思う。一方で、障がい者を介助、支援する健常者側に余裕や豊かさがないと、いくらルールを作っても上手く機能しないのでは？と思う。障がい者側の立場からの取り組みを進めるのと並行して、障がい者を取り巻く地域の人々の生活が豊かになり、心に余裕が生まれるような施策も考えてもらいたい。住民税の低減や、子育て世代への支援の充実、介助支援する人の待遇向上、など。まずは、将来に対する経済的な不安を取り除き、心に余裕を作っていくことで、ルールを上手く機能させていってはどうでしょうか？
(男性 30代)
- 地域によって福祉の窓口の対応に大きな差があるのが非常によくない事だと思っている。静岡市は支援等の対応がとても良い方だと思うが、他県に住む友人は、同じサービスや制度を利用しようとした際、かなり冷たくあしらわれた事があり、その件を行政相談に連絡したら、そこでもまともに話を聞いてもらえなかったという事がある。また、障害者差別解消法の改正があつても、実際に虐待を受けている人が役所に証拠を持って通報しても、加害者の肩をもつような事もあったりする。市政だけでなく、国レベルで福祉の格差をなくしていかなければ、他地域との人の出入りが多いこの時代、何も変わらないと思う。
(男性 30代)
- 子どもが療育支援を受けているため、毎年受給者証の更新を受けるために、区役所で面談を受けています。子どもが大きくなり段々と漢字が読めるようになってきました。そこで、本人(子ども)が『障がい』という文字を意識し自分には障がいがあると認識し自己にマイナスイメージを持つのではないかと不安があります。障がいがある自分も含めて自分を認める力は必要だと思いますが、それが可能な年令であつたり、また障がいの度合、いわゆるグレーゾーンと言われる子もいるので個々の状況に合わせた面談環境を整えて頂けるとうれしいです。例えば、面談場所を障がい課とは関係ない場所など…。何卒、ご検討のほど宜しくお願い致します。
(男性 30代)
- (再掲) あまり障がい福祉に関わりが少ないが自分の出来る事があればやりたいと思う。人によって出来ることは違いますがみんなが助け合うことができれば良いと思う。行政がそれをサポートしてほしい。
(男性 40代)
- 災害時、障がい者1名を助ける為に、10人中何人が動けるだろうか。自身も被災した人、また助ける為に命の危険がある場合、その時々状況により異なるが、結果だけ見れば動いた人が褒められ、動かない人が非難を受ける。また、避難所においても障がい者1名の為に、健常者4人分のスペースが必要とした場合、どちらを優先するべきか、弱者にやさしい社会だから障がい者を優先するのか？多くの方が共生を望むと思う。だが、現代ではまだ難しい。健常者にも善人が多く、悪人が少なからずいる。障がい者にも、障がいを盾にワガママを言ったり、不当な要求を行う方がいる。そのわずかな数人が目立つ事により、更に偏見を生んでいる。仕方のない事だが、分母が少ない分、健常者よりも目だってしまう。平等な社会がいつしか弱者にやさしい社会、そして、弱者寄りな社会になっている。弱者(障がい者)優位になっている事で、上辺は平等を装い、本音は偏見・差別してしまふ。長くなつてしまつたが、時には厳しい決断も必要ではないか。税金を使う以上、健常者が損をし、障がい者が得をするのは、ある意味不平等と感じる。
(男性 40代)
- 障害福祉も大事ですが、基となる、その他の事業もしっかり充実させて欲しい。障害福祉は基があ

ってこそできる事業ではないでしょうか。静岡市の人口減、産業減、企業誘致、魅力ある街づくり、力を入れてもらいたいです。(男性 50代)

- (再掲) 例え、差別がなくとも、障がい者が働く場(職場)、仕事を得るチャンスがなければ障がい者のつらさはなくなりません。また、差別されてなくても、保護、援助でしか生きていけない。自分の力で生きていく(生計を成り立たせる)ことが出来なければ、差別されている人と、社会的立ち位置は大きく変わりません。今の社会は働く事、仕事を手に入れることが難しいんです。現実には、企業の立場としては能力がある、少数の人がいればいいんですから。例えば市役所及び、その関連は窓口では障がいがないと働けないという仕組みはいかがですか?それを見て市役所に来る人の意識が変わりますよ。世の中はお金です。障がい者が自力で生きていける、生活費を(自分で働いて)稼げる「場」・「条例」「事業」を作ってください。(民間では無理でしょう) (男性 60代)
- 障がいのある人と認定(公的な意味)されている人はまだ良いと思っている。世の中には認定されていないが社会生活をしていく上で困難を強いられる方々やそういった方々と共に生活している家族が大変な思いをしていることもたくさんあると思う。行政機関は多くの場合、人を色分けして色のついている人(ヘルプマークを持っている人等)に対しては手を差しのべるが、そうではない人たちには全く目を向けようとしない。なぜそうなるのか問うと「それは私たちの仕事ではない」と断られる。静岡市や静岡県の職員の方々の中にそんな台詞を意味も考えずに言う人がいなくなるとほしいと願っている。(男性 60代)
- ただ障がい者による風当りは、まだ冷たいものがある。そういったものをなくしていく様、行政は努力してほしい。もちろん一個人としてもみんなで共生できる様な努力も自分を含めてしていきたいし、考えていきたい。(男性 60代)
- ※障がい者に対する件に関しては、障がい者本人の親等身近にいて将来にわたってある程度の面倒をみていかなければいけない状況におかれている市が多くあると思いますが、障がい者本人が自立できる(生活していく事ができる収入等の確保等)社会的なインフラ等が必要では?民生委員の名もあるようですが具体的に何をしていますのですか制度的に必要ですか?名誉職ですか。もっと身になる福祉活動はないのでしょうか。自分自身の廻りに対して思う事は障がい者本人が自立できる生活環境を作る市が大切だと思います。(男性 60代)
- いずれにせよ。全ては対応できる予算次第である。だと言って予算にも限界がある。要は、公平性と理解しやすい制度であることだと思う。(男性 60代)
- コロナ社会(長引くし)、そして●●●●による戦争の長期化に供なる諸物価の高騰等々、生活(年金)はますます厳しい状況になり、身体も不具合(病気の悪化、長期化、特に妻の持病による病院通い etc...)生活不安、社会不安、障がい者の人達はさらに感じるものが多々あるのではないのでしょうか。いずれにしても福祉共進県を目指し、さらなる努力と予算を確保して、事業を進めて、反省(必ずチェックをし)Plan→Do→Seeそして、さらにレベルアップしたPlan...と改善・改良して、障がい者福祉の向上を期待しております(乱筆乱文にて)。追加、少子高齢化に対する施策もさらに...やはり元気な高齢者に協力(行政よ)もしていただいて、経費をかける部分(部分、部署)と削除していく...メリハリをつけて、行政の政治が行動力、例、清水区の断水時の対応遅すぎる!!!静岡市で対応できなければ近隣の市なり...に協力を依頼、オール静岡で対応という様にやはり〇〇長の指導力、リーダーシップが欠けていた、事故、人災ではなかったのでしょうか。検証をして、二度とおきない様に行政力の見直しをお願いしたい。大地震がいつ起こるか... (不安)。(男性 60代)
- 窓口担当へ。近年様々障がい者への差別扱いが新聞 TV で扱われる様になり随分と進歩していると感じます。私が初めて市福祉窓口に向った折の職員の対応とは雲泥の差で良くなっているものと感じます。当時の窓口担当の言葉には驚き衝撃を受けました。障がい者にとっては励ましの言葉がど

Ⅲ 自由意見

んなに心強い！優しく接してあげて下さい。ジイさんのグチです。 (男性 70代以上)

- 私の姉が目が悪く、市より印カンを押したり書いたりする書類が3月～5月ごろに届きますが本人では出来ません。もう少し役所の方も教えてほしいです。 (男性 70代以上)
- 障がいをお持ちのご家庭が、もっと自由に積極的に外へ出られる様に、行政が細かく気を配れば回りも動くのではないかと思います。 (男性 70代以上)
- 静岡市内には、県立の特別支援学校があります。支援学級はもちろんです、特別支援学校の改善をしていただきたいです。市立と県立では管轄が違うのかもしれませんが、そこに通っている子どもたちは静岡市民です。学校給食は、静岡市立の学校は市の職員や給食センターの委託はプロポーザル方式の契約を行っていると思います。しかし特別支援学校は価格が安い業者が落ちる方式の入札で、不調になる学校が多数あります。安すぎる価格で委託しており、調理員の人数は少なく、現場はいつ事故が起きてもおかしくない、死人がでてもおかしくない状況です。健全な子どもたちは安心安全な給食を食べているのに、障がいのある子どもたちがそのような状況ではおかしいと思いませんか。ただでさえ身体の弱い子どもたちもいるのに、矛盾していると思います。特別支援学校もプロポーザル方式を希望します。同じ静岡市民なのに市と県の状況が違いすぎて、障がい者差別だと思えます。早急に改善を求めます。 (女性 20代)
- ボランティアで障がいのある方や高齢の方を支えるのは大事だと思いますが、ボランティアではなく行政での支援を整えて欲しい。支援を必要としている（無償又は低額で）人はたくさんいるのに受けてくれる人が少ない為。 (女性 30代)
- 私のいるグループホームでは障がいがあると言う事に甘え、何をしても許されると思っている子が多く、言葉で人を傷つけていたり、何かあれば人のせいにしてたり、リストカットをしてみたり、あばれたり、私たち職員に手を上げたり、職員のを勝手に食べたり、職員の車に大きな傷をカサでつけたり、ウソをついて障がい年金もらっていると言っている（本当かどうかは不明）の様な人がたくさんいます。確かに障がいのある人を守っていかなければならないでしょう。手助けも必要だと思います。でも、障がい者だけ特別に何かする必要はないと思っています。一般の人でも苦しんでいるこの時代に私は他者を助けられません。私も守ってほしいです。皆の税金を使うのでしたら、一般の方にも同じ金額を使い何か役立つ事をして欲しい。平等にして欲しい。 (女性 30代)
- ふるさと納税をもっと利用すべく、魅力的な商品の採択や選定を行い、もっと福祉にお金をかけてほしい。今のままでは本来、静岡市に入るべき税金が、ムダに他の市町村に流出しているだけ。 (女性 40代)
- （再掲）障害者であっても一生懸命、社会生活を送っている人もいますがなかには、障害者だからと言い訳にし、仕事もせず、まして健康的な生活をおくってない方とかをみると、障害者の方に対しての偏見がうまれます。一生懸命の方には少しの事だったり、小さな事でも何か出来ればとは思いますが、そうでない障害者の方には、何もしたくないと思う。市、県のほうでもっと調査すべきだと思う。障害者手帳をもっていなくても、身体に不自由をかかえ、通院、リハビリしながら健常者として社会生活をおくっている人もいます。上記のことから、障害者の支援に対して疑問がうまれます。 (女性 40代)
- 福祉に関する要員をボランティア頼みにせず、国が（もしくは自治体）が予算を出して、ちゃんと給料を出す形でもっと確保した方が良いのではと思います。障がいのある方とご家族が、ない人々に遠慮せず行動できる専用、もしくはそれに近いショッピングセンター、娯楽施設、公園などがあれば喜ばれるのではないかと。これは、高齢者福祉、子育ての児童福祉にもいえると思います。（健常の人のためのものばかりなので。）これらが1ヶ所で全て済む総合施設を作り、そこ

Ⅲ 自由意見

に雇用を作っていけばそれもまた良い効果と思います。あと、1型糖尿病の、成人後の医療費補助をお願いしたいです。
(女性 40代)

- 障がい福祉についても全員が分かっていないと思うのでPRも必要ですが色々な方向性を考える必要があります。健康の人と障がい者がしあわせになっていく国づくりが必要。
(女性 50代)
- 多種科学物質過敏症患者達への配慮をお願い致します。①静岡市は化学物質過敏症患者への配慮についてHPにのせて下さってありません。他の市町村ではHPにのせて下さっている町があります。公共の場では、柔軟剤や香料を使用した衣服で来ないように苦しむ人達がいることを知らせて下さい。②建築物衛生法により、公共の建物内に殺虫剤を散布する時、した後は、たて看板で(入口に)知らせて下さい。その場では大丈夫でも遅遠反応がおこって帰宅後にひどく苦しむことがあります。③市の施設で殺虫剤や防虫剤を使用する日、時、場所を公表するページをつくって下さい。化学物質過敏症患者は殺虫剤、防虫剤、除草剤等を解毒できません。とても苦しみます。お酒を飲むと苦しむ人達がいるように、化学物質で苦しむ人達がいます。気化した化学物質が呼吸することで、肺から血液に入って多彩な不定愁訴を引きおこします。苦しみます。まるで飲めないお酒をムリヤリ飲まされているようなものです。絶滅していった動物達のことを本気で考えられなかったことで、すでに人間にも災いがおよんでいます。遺伝子的に解毒力の弱い人間達は苦しんでいるのです。どうか化学物質の使用量を減らす取りくみをして下さい。多くの人達に知らせて下さい。発達障害者の増加にも関係しています。化学物質とうつ病や自殺との関係もあると感じています。苦しむ人達のこと、真剣に考えてほしいです。生きていることがつらいです。
(女性 60代)
- 静岡県は福祉に関する事とか行政的に遅れているそうです。先日の水災害の時も思いましたが、行政がしっかりして欲しいですね。
(女性 60代)
- 個人ではなかなか活動(支援)しにくいので行政と一緒に考えたり行動したりしたいと考えています。そして偏見のない社会になればいいなと思います。
(女性 60代)
- 障がいのある子供の親御さんは、自分達が亡くなった後のことを、とても不安な思いでいらっしやると思います。知人の中には、その不安をかかえて生きていらっしやる人が沢山います。行政の力は、とても大きく関わってくるのだと思いますが、人として、あたり前に、そのような不安が少しでも緩和できるような社会であったら、と思います。
(女性 60代)
- 行政が「共生都市」の実現を目指し、障がい者福祉施策を推進していくためにはP3にある「さまざま障がい」がある方々の生の声をどれだけたくさん集められるかにかかっていると思う。実際、日常生活の中で何が困っているのか、何が必要な支援なのかを正確に把握することが一番大切なのではないか。更に、その情報を広く正確に市民に伝えていくことがお互いに尊重し支え合う「共生都市」実現の第一歩になると思う。資料や数字分析だけでなく実際に現場に足を運んで生の声を聞き、苦勞を肌で感じ、人間の尊厳にまで深く考えを至した上で血と心の通った障がい者福祉施策を考えていただければ、それは市民にやがて浸透していき、静岡市が本物の「共生都市」へと姿を変えていくのではないか。
(女性 60代)
- 駿府公園を車椅子で散策したが路面の凹凸や段差等で一人では無理。静岡市代表的公園で障がい者無視の行政が表わしている。恥かしい市政にこの書類になにをしたいのかわからない。福祉を謳う、みなさんに車椅子で駿府公園で体験してから福祉を謳って下さい。また車椅子で移動出来るのは段差の少ない国道一号線ぞいの歩道のみで、市内の道路では、車椅子は使用出来ない。行政そのものが障がい者に行動にまつたをしている。
(女性 60代)
- 障がい者にとっての相談窓口は県、市含めて色々あります。親切に対応していただいています。ですが結果的には解決の方向には向かない様です。お役所仕事になりません様に。
(女性 70代以上)

Ⅲ 自由意見

- 私は、時々歩道を盲導犬をつれて歩いている方を見かけます。雨の降っている時など見ているだけで涙があふれてきます。自立して生活しているのでしょうか何とかもっと手をさしのべる事ができないのかと思う事が多々あります。もっとさまざまな人が暮らしやすい、年寄りも自分の力で生活できる町になったら良いと思います。そして各々が困ったことを相談できる行政を希望します。
(女性 70代以上)
- 静岡市は、まだ現実的な事は遅れていると思います。もっと自然に助け合えたら素晴らしいと思います。遠くから見る感じ。
(女性 70代以上)
- 受給者証の更新手続を3年に1度にしてほしい。私も高令になり、毎年は大変になりました。よろしくをお願いします。
(女性 70代以上)
- 障がいの有る無しにかかわらずだれもが1人の人間として生きる権利が有ります。教育も仕事も行政も差別なく同等に扱って生きられる社会になるのがあたり前の生活が出来る行政であってほしいと願っております。ある障がい者施設で「生きていても為にならない」と殺人事件がありました。なぜそういう考えが生まれるのかが不思議です。妊娠が解った時に遺伝子検査を行い「ダウン症児」がわかったら中絶するという現実があります。せつかくこの世に生まれてこようとしている赤ちゃんを殺してしまうことに何か心苦しさを感じます。どう考えたらいいものなのでしょうか？
(女性 70代以上)
- 病気で障がいになった人達が助けを求めても、マニュアルノートに載っていないと対象にならない、と云われた時くやしかったです。医学書にもものっていない病気で主人が障がい者になり、生活も大変な思いをしました。県から異議申し立てであれば1ヶ月の間にやる様にと手紙が届き、すぐに県庁に行きました。ところが手続はここではないと云われましたが、担当してくれた男性がとても良い人で、その場で対応して手続きが出来ました。残念な事はその男性の名前を覚えてこなかった事が今でも心残りです。その人のおかげで病気から3年後によく障がい者と認められ助かりましたが、平成30年の12月に主人は亡くなりましたがその3年前に突然障がい年金を打ち切りと手紙が来て、亡くなる時の入院費の支払いが出来ませんでした。余りにも行政のやり方に腹がたちました。でも入院先の●●●病院でその様な人達の為の救済制度があり、すぐ手続きを行い支払いをしなくてもよいとなり、あの時程ありがたい事はありませんでした。(亡くなる主人には何も言えませんでしたので隠しました)。今日はアンケートからはずれた答えばかりだったと思いますが、今までの胸のつかえを分かってほしく書いてしまいました。理解よろしくをお願いします。障がい者の人には親切にする様自分も心がけております。主人は45歳でオムツ使用、足の不自由もあり72歳で亡くなりました。
(女性 70代以上)

【支援サービス・支援施設に関して (25件)】

- 障がい者が自立するために利用できる制度などを、障がい者が一人で行えるよう分かりやすくする。障がい者年金のハードルを下げる。家族の負担が大きい、親が死んだ後が心配。(男性 40代)
- 子育て中であり、時間をとられる。個人としては多忙なため、協力はできません。公的機関による支援をお願いしたいです。個人的な負担にならないことであれば協力はできるかぎり行いたいとは思っています。
(男性 40代)
- 福祉の仕事をしているがとにかく職員の数が少なく現場はすごく大変です。賃金を上げて職員を増員し、人選しなければ虐待はなくならないと思います。現場の職員は火の車です。(男性 60代)
- 障害者の福祉や支援が益々、良くなることを願います。自分も年齢が多くなり、気持ちが低下してきています。障害を持っていないが福祉や支援をいつ受ける身になるか心配しています。よろしくやって欲しいと思っています。
(男性 60代)

Ⅲ 自由意見

- (再掲) 障がい者手帳をもらうほどではないが、まったくの普通の人の対応ともとれず、障がい者と健常者と健常者の狭間の人の関係において、どこにも相談場所がない。ただ本人の話をじっくり聞いてやる以外の方法がない。この問題に就職先や人間関係の行き詰まりを感じています。具体的な支援を表記してほしいです。つまり、手帳がないとみとめられない＝支援はない！！むずかしいですね。本人は障害者とはみとめたくない！！とてもデリケートな問題です。(境界) (女性 60代)
- 50代で、家族の介護の必要からヘルパー2級の資格を取りました。また7年程、授産所で職員として務めました。休日には、別の戸一戸のお宅へ仕事として、障がいの方のお手伝い(有償)をしました。車イスを押したり、持ち上げたり、自分の年令では出来ない事も増えて、今はその両方の仕事はやめています。体力の限界と、小さな事故(自分のケガ等)などが主な理由です。障がいのお子さんや家族を持った、ご両親は、皆とても我慢強く、やさしい方々でした。以上の様な経験(仕事としても)から、障がいの方、又、高齢の方々のお手伝いは、とても大変だと思います。お手伝いする方も、される方も、日頃から、顔見知りになった上で安心してまかせられる人間関係が必要だと思います。保険などは、どうなっているでしょうか。(女性 60代)
- 娘が統合失調症で私と主人三人で暮らしています。一人で出かける事が出来ません(バスに乗るとか)。病院も主人の車でいきます。食事とか買い物等は三人で行くと大丈夫です。本人も“私は引きこもりだネー”とか笑いながら話しています。性格はやさしくとても良いと思いますが私達も高齢になりつつあります。娘の事を思うと心配でなりません。どこかでみて頂けるのを望みますが本人は他人をひどくいやがります。何とか良い方向にむかう様に願っています。すみません私事で一方的な文ですがお許し下さい。(女性 60代)
- 東部の福祉施設で昔、仕事をしていました。東部に比べて中部は知的障害者施設など少なく、身近にはあまりないような気がします。以前、TVで見たのですが駅に乳児か幼児が保育施設のはじまる前に預かる場所があり、そこから各保育施設や幼稚園へ送り、かえりもその駅の施設にかえり仕事を終えた父母が迎えに行くというのがあり、共働きが多い昨今、とてもよいと思いました。(女性 60代)
- 自分がかかえる事が多くなり(子供の介護、親の介護、実家の管理、持病)フットワークが悪いため、前のように福祉に向き合う力が弱くなった。ヘルパーさんをお願いをする事に断られるケースが多くなった。移動支援や土・日介助、人手不足が原因と思われるが、せっかく整う方向に来たのに人員不足で使えないのでは残念と今後の不安が増す。社会全体がそのような方向に動いている時に削減されるのは、障害者たちなのかと昔のイメージを持ってしまう。福祉で働く方々の生活が安定しモチベーションを持って(上げて)障害者や高齢者に接してもらえる体制づくりを続けて欲しい。(女性 60代)
- 市へは、お金の支援だけでなく心のケアを望みます。障がい手帳があるので、それを利用してゴルフへ行き高速料金割引とか、という話もよく聞きます。本当に困っている人への支援を求めます。(女性 70代以上)
- 障がい者への家の訪問。(女性 70代以上)
- 障がい者手帳を持たない人でも歩けない、不自由をしてる人にも何らかの手助けが欲しいです。①特に移動手段がタクシーに限られるためバス・電車等にも乗るのが不自由です②家の中の大きな荷物の移動など出来ない(ヘルパーさんに頼んで、それは出来ないという事が多い)。(女性 70代以上)
- グループホームに入っていますが、入所者とのコミュニケーションがもう少しできるようになればと思います。プライバシーも重要ですが…。(女性 70代以上)
- (再掲) 私はまだまだ福祉の知識が浅いと感じた。もう少し1人1人の意識改革が必要だと思う。

近年人々の福祉へのイメージも変わりつつあると思う。「障がい」を「個性」と捉える見方も増えてきている。しかし、私が親戚に障がい者を持ったとき、そんな甘いものではないことを知った。1人1人が生きやすい世の中にする為には個別のニーズに答えるようにしていくことも必要だが、もっと1人1人が自分と周りの人、地区の人、日本の人のことも考えていくような考えを待たねば限りがあると思う。1人で生きていけるようになったからこそ、今1度共生を考えていきたい。よければもう少し教育面で共生を考える機会を与えてほしい。日本を地球をになうのは子どもたちだと思う。様々なことで生きる希望を持ちにくくなっている世界に子どもたちをはなつのは無責任であると思う。少しでも夢と希望を持って生きてほしい。私もそう生きたい。私1人ができることは限られている。どうか少しでも多くの人が幸せに生きられるような世界、地域を作ってほしいです。このようなアンケートがあってうれしい。お仕事お疲れ様です。お互いが尊重し合い支え合える都市になったらうれしいな。
(回答しない 20代)

- ASD、ADHD の療育制度・自立支援制度の拡充を求む。
(回答しない 30代)

【建物や交通機関、道路などのまちづくりに関して (19件)】

- 車椅子を利用している方々が車通りの少ない道を選び細い道を通ったりするが、悪路が多いので道路の整備をした方が良くと思う。
(男性 20代)
- 静岡市だけではありませんが、現状は障がい者と共生できる都市にはほど遠いと感じます。いたる場所で歩道の段差が大きく、障がい者や車椅子だけでなく、妊婦や小さい子ども、ベビーカーを押す若い人たちも歩きにくそうです。公共施設や商業施設もまだまだ段差が多くて障がい者には不便そうです。駅では改札が狭くて通りにくそうです。市街地の商業施設では障がい者が利用しやすいトイレが少ないように感じますし、外出時にトイレを探し当てるのが難しそうです。市街地を歩いても、人口の数%はいるはずの障がい者をみかけることはほとんどありません。介助無し(一人)でショッピングしている車椅子利用者など一度も見かけたことがありません。いかにこれまでの都市計画が、社会的弱者のことを考えずに進められてきたか、ということ「まち」が表しているように思います。このような「まち」になってしまった要因の一つとして、私たち市民の多くが障がい者を気にかけてこなかった、ということもあるかもしれません。障がい者やマイノリティ・社会的弱者に配慮した都市計画が進むこと、また市民の理解が進むことも必要だと思います。静岡市がより多くの人にとって住みやすい都市へと成熟することを期待しています。(男性 40代)
- 障がいも個性の1つとして受け容れられる社会が望ましいです。現実はそのも行きませんので公的なサポートが必要と思います。障がい者はご自身では差別に耐え、ご苦労をされているでしょうから、何と言っても経済的なサポートが欠かせないと思います。また、現実的に震災時に(健常者の近隣住民に)介護、救助のサポートを期待するのは不可能だと思いますので、建物のバリアフリー化などの助成は必要だと思います。障がい者のための公的施設いわゆる“箱物”は不要です。そこに閉じ込めるだけになるからです。今ある施設のバリアフリー化は望ましいです。(男性 50代)
- 静岡市の道路は比較的狭い事もあるが、歩道が道路の両側になかったり、途中で終わっていたり、段差が大きかったりと、とても障がい者に対して歩きやすい環境とは思えない。全ての道路を網羅する事は難しいとは思いますが、せめて路線バスが通る道路などは障がい者が比較的使用する機会が多いと思われるので、安心して通行出来るような状態になれば良いと思う。一例として大浜街道などは、歩道が基本片側にしか無い上に、途中で無くなっていたり、突然反対側に現れたりする。歩道が無い側に申し訳程度に白線が引かれているが、そのほぼ真ん中に電柱が立っていて、健常者でも危険を感じる時がある。石田街道やインター通りが拡幅され南北に走る道路としてはメインではないが、他の細い道路と比べても車の交通量も多い。路線バスも走っているため、障がい者が利用している姿も見かけるが、非常に歩きにくそうで、危険を感じ何度か声をかけた事もある。声かけやサポートは市民でも出来るが、道路などは行政にしか出来ないと思うので少しずつ変えていってほ

しい。

(男性 50代)

- 静岡駅北から市役所方面は車イスの方にとっては移動しにくいと思います。歩道は狭く地下道があったりで一般の人にとっても歩きにくい道路だと思います。よそから来た人も静岡駅に降りたらいきなり地下に入らなければならない。難儀する町だと思います。車イスの方はどうすれば良いのかね。

(男性 70代以上)
- 我々を含め、徐々に高齢化が進んでるので、車を止め、日頃運転（自動車）出来ず、買物や病院に行く事が出来ず困る事が多くなると思います。定期的には巡回する「福祉バス」等あればと思っています。以前、高齢者の支援に神奈川県寒川町に行った時には町内に巡回バスが走り、又、病院の巡回バスが走っていたりで充実してました。特に田舎に住む我々はその件に関して、今の現状を未来を不安に思ってます。早く自動車運転免許証を安心して返納出来る体制を作りたいと思います。よろしくお願いします。

(男性 70代以上)
- 亡妻がオストメイトであった為、外出時にはいつもオストメイト対応トイレの場所を気にしていました。オストメイトは外見では健常者と区別がつかないので、妻はいつもトイレ使用が気になり、外出ができなくなりました。そこで、もっと対応トイレを増やしてもらいたいと思いますが、聞くところによると、トイレ内のイタズラが増えているとのことで、その対応を考えると難しいかなぁ？とも思います。私も後期高齢者の仲間入りしてみると、外出先のトイレは重要問題ですね。

(男性 70代以上)
- 道路から車イスの方が利用しやすく段差をなくした道路、歩道にするべきだと思います。段差だらけの歩道を利用する車イスの方を見かけたことが多々ありますがとても大変そうでした。これから福祉の視点で見直すべきです。

(女性 30代)
- バリアフリー可などはすすめて欲しい。

(女性 40代)
- (再掲) なかなか、障害者福祉について理解していない事が多く、自分に関係のない事と捉えがちです。海外（アメリカ）に滞在していた時に、障がいのある方が、自分で運転、買い物などをしてる機会を見る事が多くお店側に、介助する義務や、障害者の為の駐車場を設置しなければならない法律があり（小さなお店にも駐車場がありました。）障がいの方が自分自身で行動できる環境が整っていると思いました。また多くの障がい者の方々がお店やレストランなどを利用する事で、健常者にも、その環境が当たり前のように感じられ特別視することがなく、見習うことが多いと感じました。

(女性 40代)
- 子供が赤ちゃんの頃、ベビーカーを使用していました。段差などがとても気になりました。車いすの方々も同じように大変なんだろうなと思っていました。スーパーなどでも入口が狭く、人でもどちらかが止まっていないと通れないような所もあります。健常者は、正直気づかないのではと思いました。日頃から車いすなどを使用する方々にアンケートなどを取り改善していく事が必要ではないかと感じます。

(女性 40代)
- (再掲) 福祉に関する要員をボランティア頼みにせず、国が（もしくは自治体）が予算を出して、ちゃんと給料を出す形でもっと確保した方が良いのではと思います。障がいのある方とご家族が、ない人々に遠慮せず行動できる専用、もしくはそれに近いショッピングセンター、娯楽施設、公園などがあれば喜ばれるのではないかと。これは、高齢者福祉、子育ての児童福祉にもいえると思います。（健常の人のためのものばかりなので。）これらが1ヶ所で全て済む総合施設を作り、そこに雇用を作っていけばそれもまた良い効果と思います。あと、1型糖尿病の、成人後の医療費補助をお願いしたいです。

(女性 40代)
- 付近を車イス、電動車イス、セニアカーや、杖を使って歩行者が歩くところを、進んでいる姿をよくみます。道路が狭くかまぼこ状になっており、転倒しないかと心配になります。また、雨が

降っている時などは、誰かわりに買い物をしてくれる人はいないのだろうか、と考えたり自分でできることはやりたいと思っているのだろうかと思像します。声をかければよいのかもしれませんが、色々考えるとできません。安全な道路が整備されるとよいと思います。（女性 50代）

- バスに乗っている時に、車イスの方が乗ってこられた時があります。その時に、バスの運転手さんがすべて1人で対応していて時間もかかっている大変だなと感じたのを覚えています。最近友人と話していて通勤のバスが雨で遅れて乗客も満員の所に車イスの人が乗ってきて、さらに遅れて困ったという事を聞きました。私が車イスの方が乗ってこられたバスは自分が急いでいない時でしたがもし、時間がない時だったら車イスの方の事を迷惑な人と思ってしまったかもしれません。車イスの方がもっとスムーズにバスに乗れたら、運転手さん1人で対応するのではなく、乗客が何か手伝えたらとつくづく思います。（女性 50代）
- 障がい者が住み良い生活が出来るのはとても良いと思います。道路の段差は気になりますし、公共交通も楽に利用できたら生活の幅が広がると思います。（女性 50代）
- 障がいを持っている人達＝特別な人という考えではないのかな…と最近感じます。健康に恵まれて生活している私達も時を経て生活しづらくなる体の変化が起こり、そのことによって様々な場面で今の街の形や状態では不利益となるだろう事は予想されます。市役所や公共施設での和式トイレなど、高齢化が進む状態では無理があるのではないのでしょうか…。また電柱の地中化や道路上のレーンの不鮮明さなど、体の不自由な人達の負担が少なく生活しやすくする工夫など、メンテナンスの面でもチェックが必要なのかな…と思います。個人的には清水駅のお手洗いについて。和式であることは街の玄関としてどうか…と考えます。もちろん民間施設なので仕方ない面はあると思います。様々な年代の方達を海洋施設などでもてなそうと考えるならば、考える必要があるのでは…と思います。最近の道の駅などではトイレを広く清潔であることが健常、健康である私達だけでなく、高齢で体の不自由になった（障がいをもっていない）父母の世代にも喜ばれています。障がいのある・なしで区別することなく、誰にでも暮らしやすい、使いやすい街・施設が求めていけたらいいなと感じます。限りある財政の中で難しい事も多いと思いますが、皆が暮らし易い街になるといいな、と感じます。（女性 50代）
- 最近バスは乗降り等も運転手の方がとても丁寧に対処している場面をよく見かけるので車イスの方も利用し易くなってきていると思う。（女性 60代）
- （再掲）駿府公園を車椅子で散策したが路面の凹凸や段差等で一人では無理。静岡市代表的公園で障がい者無視の行政が表わしている。恥かしい市政にこの書類になにをしたいのかわからない。福祉を唄う、みなさんに車椅子で駿府公園で体験してから福祉を唄って下さい。また車椅子で移動出来るのは段差の少ない国道一号線ぞいの歩道のみで、市内の道路では、車椅子は使用出来ない。行政そのものが障がい者に行動にまったをしている。（女性 60代）
- （再掲）今迄 40 年近く主人の介護に明け暮れて歩く事も段々年を取るにつれて難しくなりほとんど家の中で座っての生活でした。外へ出る時は玄関迄這いずって車椅子にのせての病院通いでした。道路の両側は水はけの為にななめになっているので車椅子が傾きかけて走るのです。その都度主人が「どこを走っている」と怒鳴り、こちらは体重の重い人を乗せているのでとても大変でした。平らな道ならどんなに良いだろうと思いました。車道は平できれいに整備されているのに側溝の方はガタガタです。歩道は広い所ばかりではありません。胃癌、膀胱結石、K 静脈（心臓）手術等々結石の時は4ヶ月も尿管をつけ、家で毎日管をきれいにしなければなりません。家の中も二足歩行出来ず全て私一人でやらなければなりません。介護認定は病院でと何度も申請出す様に云われましたがとうとう最後迄使いませんでした。周りに障がいの方も居ませんでしたし、道路で会う事もありませんでした。アンケートにまともに答えが出来なくて申し訳ありません。私も 82 才出来る事があれば側にそんな人があれば今は一人です。のでしてあげたいのですがかえって足手まといになります。暴力、言葉の暴力も確かにこたえます。そんな社会を無くしたいと思います。（女性 70代以上）

【就労に関して（18件）】

- 障がい者をサポートすることは重要な事だと思いますが、もっと大切な事は障がい者が自立して生活する（お金を稼ぐ）事だと思います。つまり障がい者の雇用を促進させる。まずは静岡市から新規雇用者の採用枠を増やす事です。（男性 40代）
- 以前いた職場で養護学校出身の人を受け入れたりしていましたが「お世話」は大変でした。理想と現実乖離しています。難しいものですね。（男性 50代）
- （再掲）例え、差別がなくても、障がい者が働く場（職場）、仕事を得るチャンスがなければ障がい者のつらさはなくなりません。また、差別されてなくても、保護、援助でしか生きていけない。自分の力で生きていく（生計を成り立たせる）ことが出来なければ、差別されている人と、社会的立ち位置は大きく変わりません。今の社会は働く事、仕事を手に入れることが難しいんです。現実、企業の立場としては能力がある、少数の人がいればいいんですから。例えば市役所及び、その関連は窓口では障がいがないと働けないという仕組みはいかがですか？それを見て市役所に来る人の意識が変わりますよ。世の中はお金です。障がい者が自力で生きていける、生活費を（自分で働いて）稼げる「場」・「条例」「事業」を作ってください。（民間では無理でしょう）（男性 60代）
- （再掲）障がいのある者もない者も同じ職場で学び働ける社会になってほしい。（男性 70代以上）
- 障がい福祉サービスの施設で働いていますが人手（人材）不足とスタッフの高齢化が深刻です。何とか若い人が増えてくれると嬉しいなといつも思っています。他業種で働いている若者の転職先の検討に上がる業界になるイベントや魅力があればいいと思います。（女性 20代）
- ジョブコーチについてももう少し考えを見直していただきたいです。元の業務を変えてまで、障害者の方のために職場の環境をかえなくてはいけないのか。その人の自立が目的でジョブコーチはいるとおもっていて、ただ障害者が自由に働ける環境さえあればいいのであれば、そういった考えにもなりますね。（女性 30代）
- 知人の娘さんが障がいがあり、車いすで遠くからバスで通勤していますが、路線バスの本数も少なく、乗り降りにも時間がかかるので、送迎バスなどがあれば良いのになと思いました。また、具体的な事はわかりませんが賃金がかなり安いと聞きました。市などから支援があるかとは思いますが、自立したいと思っても、なかなか実現するのは大変なんじゃないかなと感じました。仕事内容も限られてしまったり、好きな仕事に就けず、くやしい思いをしている方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。私自身、そういう方々と接する機会もないので、全く知識ありませんが、健常者と何らかわらない日常が送れる社会が実現できたら幸せな事だと思います。（女性 40代）
- （再掲）福祉に関する要員をボランティア頼みにせず、国が（もしくは自治体）が予算を出して、ちゃんと給料を出す形でもっと確保した方が良いのではと思います。障がいのある方とご家族が、ない人々に遠慮せず行動できる専用、もしくはそれに近いショッピングセンター、娯楽施設、公園などがあれば喜ばれるのではないかと。これは、高齢者福祉、子育ての児童福祉にもいえると思います。（健常の人のためのものばかりなので。）これらが1ヶ所で全て済む総合施設を作り、そこに雇用を作っていけばそれもまた良い効果と思います。あと、1型糖尿病の、成人後の医療費補助をお願いしたいです。（女性 40代）
- 障がい者は就職たいへんと聞いたことがあり、テレビでも障がい者の就職のことをやってました。すてきな職場が出てきていて一般の人と給料もかわらないとってました。障がい者は給料少ないといった不満があるみたいです。（女性 50代）
- 会社でも障がいのある方を採用しようという取り組みがあります。とてもいいことです。でも、た

だ採用して助成金をしっかりもらって、きちんと教育もしないで一緒に働いている人に何も言わずに会社は知らん顔。せめてリーダーにはその方についての接し方とか言葉とか、そういう情報を教えてもいいと思います。健常者の中にも障がいを見習って！！という今の世の中、本当に共生していく世界になればいいと思う。 (女性 50代)

- (再掲) 障がい者手帳をもらうほどではないが、まったくの普通の人の対応ともとれず、障がい者と健常者と健常者の狭間の人との関係において、どこにも相談場所がない。ただ本人の話をじっくり聞いてやる以外の方法がない。この問題に就職先や人間関係の行き詰まりを感じています。具体的な支援を表記してほしいです。つまり、手帳がないとみとめられない＝支援はない！！むずかしいですね。本人は障害者とはみとめたくない！！とてもデリケートな問題です。(境界)(女性 60代)
- いつも感じる事は障害のある方の仕事をもっと沢山あればいいと思っています。 (女性 60代)
- 心の障がいは目にはよくわからないので、理解されにくいと思う。それを隠して働いて傷ついている人が多くいると思う。給料もらってるんだから、もっと働けとか、仕事が遅いからと休日出勤強制しているところもある。そういう見えないところには、どうやってふみこめばいいかわからない。身体の不自由な人にはわりと積極的に声かけはできるが、心に深い傷をおってる人には全く私はどうしていいかわからない。不用意な言葉でできずつけてしまうのが一番こわい。 (女性 60代)
- マンションの清掃会社に、少しだけ知的障害がある人が1人いますが、それ以外の人から、怒鳴られたり、殴られたりします。目撃した時に、抗議しましたが「愛だ！！」と堂々と言われました。清掃会社を替える事も考えましたが、それでは何の解決にもならないし、その人を守る事にもならないので本当に困っています。ひどい目にあわないように見張る事しかできず、辛いです。その人の親が見たら、泣けると思います。ただ会社に障がい者枠をもうけるのではなく、事業者への教育を強化しなければ、辛い思いをさせてしまうと思います。親は先に死にます。将来、子供が食べていけるようにしなければ！！と親は考えます。その結果、子供がなぐられたりしながら働くしか道がないのでは辛すぎます。通報して、その人がクビになったりしたら…と思うと、なかなかできません。元々、会社側の教育ができていなければダメだと思います。むずかしいですけど… (女性 60代)
- うつを発状して10年になります。少しずつ職をしたいと思い、パート等に行っていますが長続きしません。人に慣れるのになかなか時間がかかりあせってしまい長続きしません。職場へは病気の事を言えません。本人としてはそれを言うと入社出来ず、あせってしまいます。この点を職場で公表して頂き、社員の方達にも理解して頂けたら本人も安心して働かせて頂けると思うのですが、いつもその点でガンバっている力が出せない状態です。何とか自立させてあげようと思うのですが、本人もその点で就職する機会を失いかけております。何か良い方法を出してほしいと思っています。よろしくお願い致します。 (女性 70代以上)
- 障がい者も社会の一員としてその人に合う仕事ができれば幸いです。個人差が大きいと思うので個別に対応できる社会、企業、私たちになるよう願っています。利益を得るのはよいが弱い人たちへの奉仕精神がまだまだ欠けているように思います。社内留保をそれに廻してほしい。一般の人が貧困になっているのにおかしい。 (女性 70代以上)
- 仕事が少しでも出来る人の家までの配達 (例内職)。 (女性 70代以上)
- 発達障害の人達が社会に出るまでに、自分が発達障害であると気づけるきっかけがあるといい。自分の能力に見合った職につけば、会社も配慮することができ、発達障害者も能力以上の仕事もしないので、社会にとってもマイナスにはならない。 (回答しない 30代)

【情報提供に関して（17件）】

- 駅でみかける視覚障がい者への対応を呼びかけるポスターのように、具体的な情報を日頃から目にすることができればと思います。以前、電車内で障がいのある人が声を出しているのを見かけましたが、どうしたらいいのかわからずそのまま見過ごしたことがありました。みんなに知識があれば、車内の雰囲気も違ったものになっていたでしょう。無知が偏見や差別を生みだすと思います。デジタル化が進んでいますが、アナログ的な情報発信も大事にしてください。（男性 50代）
- 今まで障がい福祉に関し、目をそらした生活をして来たと思います。アンケートを通じて改めて考えさせられた面がありました。今は元気に過ごしていますが、いつ立場が逆転するかわかりません。P18～P22の内容につきましての広報活動を広く行って頂けたならと思います。今まで各学区にあります地域包括センターしか知らなかったし、これが窓口の全てだと認識しておりましたから。（男性 60代）
- 特に精神障がいの方に対して「怖い」という思いが先に立ってしまう。相手の事をよく知らないからだと思う。分からない物に対しては、恐怖を感じてしまうから。障がいについての知識を広く一般の人に知ってもらおうような情報発信が必要。（男性 60代）
- 仕事上、身体や高次機能の障害に関わることが多く、逆に日常でどのように関わられるかを考えた時にはすぐに思いつかなかった。子どもを持つようになり、発達障がいのある子どもがいて、自分の子どももそうだと分かった時、どうすれば良いだろうという不安があるので、相談窓口の対応がどんなものなのか気になる。施設や窓口との連携は密であってほしいし、色んな情報提供をしてほしいと思う。（女性 30代）
- “障がい”も目で見てわかるもの、わからないものもあるので、障がい福祉のアンケートは答える際に何の障がいにもよるので、答えが難しかった。今の時代は何でも申請主義なので生きづらい（障がいの有無に関わらず）障がいのある方が使えるサービスや制度を市行政としてわかりやすく伝えるようにしていければと思う。（女性 30代）
- 中小企業のような、規模の大きくない会社だと、福祉に関する対応がスムーズに出来ないところもありますので、そういった規模にむけての補助やサービスがあることを知る機会があれば良いと思います。（女性 30代）
- 私は義母が要介護で息子が重度知的障がい児です。実際に手帳を2人共取っていますが、手帳を持つと利用できる金銭的支援などの説明を市役所では少なく、調べないと分からない部分が多いです。自分は病院の事務に勤務していた事もあり知っていたので全ての利用が可能でしたが、友人（知的＋発達障がいの子供2名）は知らず、私が教えて手続きを取ることが出来ました。障がいの程度での違いはあれど、一番困る金銭的な部分の福祉利用は教えて頂きたいです。知っているものが勝ちの状態は良くないと思います。（成年後見人制度等も含む）もう一点ヘルプマークの事です。息子の学校のお友達のお母様と話す機会があり、（息子さんは重度知的、発達障がい、重度自閉、行動障がい）もらっていないと言われました。私はヘルプマークを持つ意味などを伝えてすぐにもらって来たそうですが、子供が小さい時などは見た目が普通であればある程、あばれたり、大声を出してしまったり、かんしゃくがすぐに出てしまって外出先でも困った目や、白い目、嫌悪感を持った目で見られたり。私はしつけがなっていないと親戚やスーパーなどで御年配の方に実際怒鳴られた事もあります。身体障がいと違い、目に見えない障がいの方、又、家族の方にヘルプマークの他の方へのアピールとして活用して頂きたいです。障がい認定はある程の年齢までは出来ません。でももっと小さい時から、とっても困ってるんです。お母さんは特に日常的に困ってます。（実体験）もっともっと早い段階からの配布と、利点、健常者の方への理解、（特に御年齢の上の方へ説明して欲しいです！）がもっともっと進む事を願っています。（女性 40代）
- 我が家には障がいを持つ子がいますが、小さい頃はいいが、成長するにつれ、将来（学校卒業後）

のことがとても不安になってきます。障がい者を持つ家族は、そのことを受けとめるまでの葛藤、幼稚園や保育園への入園時、小学校就学時、中学高校への進学時の子供にとって最良の選択をしなくてはいけないプレッシャーや悩み、学校卒業後の生活への不安、自分達家族亡き後の不安とずっと悩みや不安がつきまといます。今まで感じてきたことは、結局自分達で動かないと何も情報を得られないということ。相談できる場所、受けられるサポート等もっともっとオープンになっているといいなと思います。9月の台風による断水時に感じたことですが、断水や給水に関する情報が行政からなかなか入らず、ママ友ラインからの情報が一番多かったです。現在ではスマホが普及していることもあり、いろんなことがHPやアプリ・ラインを通じて行われることが多いですが、年配者、障がい者は取り残されてしまうと思います。本当に支援が必要な人が取り残されない仕組みもしっかり整備してほしいです。
(女性 40代)

- 障がい福祉に関して詳しい情報がない気がします。ヘルプマークのカードだけでなく、コロナがはやっているので集まるのは無理ですが、コロナが減ってマスクがとれたら、障がい福祉の勉強会の場を作ったり障がい福祉の専門家を呼んで話しをしてもらおう場を作る必要があると思う。
(女性 50代)
- 兄が知的障害ですが、職場には恵まれ、あと数年で定年を迎えます。40年間働いています。身近な存在なので、以前は差別的な言葉を兄だけではなく私自身も受け辛い思いをした経験がありますが、法律が改正され、障害者が住みよい環境になってきたことは嬉しく思います。ただ仕事が生きがいだった兄が定年を迎え退職した時、どのようなサービスを受けたらよいか、制度の仕組みがわかりやすく提供して頂ければ有難いです。またその時には相談の窓口を利用させて頂くことと思います。が宜しくお願いします。
(女性 50代)
- 最近の情報提供はネットなどのことが多く、障がいのあるなしに関らず我が家のような老人家庭はパソコンも持たず情報を受けにくい環境にある。「詳細はHPを」との案内はパソコンのない者には除外と言われているように感じることもある。時代に逆行する考え方もかもしれないが、全世帯・全市民にどうしたら情報が届くのか智恵をしぼって頂きたい。
(女性 60代)
- 私の母は耳が聴こえない障がいがあります。ヘルプカードがあったなら使いたかった。存在を知りませんでした。もっと情報を発信してほしい。区役所に障害のことで行ったりしていましたが、そういう情報を教えてくれることはなかった。もっと利用できるサービスとかあるはずなのに利用できていなかった。今はグループホームに入所しているのもう利用する必要はなくなりました。娘の子が障がいを持って生まれてきました。孫の不自由さをなんとかサポートしていきたいと考えています。自分でも、もっとアンテナをはっていこうと思っています。
(女性 60代)
- (再掲) 障がいと一言で言うほど少なくないと思います。障がいにはさまざまな実態があり、あまりにも広い範囲で…いつもどの部分でお手伝いができるのか？知的、身体的、精神的分野が自分で定まらず考えてしまうことがあります。その都度出来る時に分野問わずやらせて頂いてますが、なかなか現実には深くかかわる事ができません。身近で自分の時間が上手く使える情報がもっとあればと思います。私が気づかないだけかもしれませんが。長い間やれる事も少ないです。少しずつみなさんと分担してやれる事があればと思います。
(女性 60代)
- 内部障がいがある方は、外見ではぜんぜん分からないと思います。ヘルプカードはとても良い事だと思いますが、まだまだ知らない方が沢山いると思います。大勢の方知ってもらおうのが大切だと思います。
(女性 60代)
- 私は93才の老女です。アンケートに息子と書きましたが娘婿です。血はつながってはいませんがとても良い息子です。頼めば出来る事は叶えてくれます。この先押車でも動けなくなったら有料老人ホームに入りたいです。今は介護も支援も受けてはいませんが老人ホームの情報は欲しいと思います。手足が痺れていますので字も思うようには書けません。目も耳も不自由ですがピンピンコロ

り、PPK で逝きたいと思ってます。息子が傍に住んでいるって幸せですね。休みの時は自慢の食事作り届けてくれます。あまり人様に迷惑を掛けずに逝きたいです。生きすぎですね。

(女性 70代以上)

- オープンにして福祉の中身をおしえてほしい。もっと宣伝してほしい。(女性 70代以上)
- 友人二人に身体的障がいがあるが、二人共自立しており、生活支援のようなサポートはしていないので、「障がい福祉」という言葉は遠い存在。「静岡県障がい者共生のまちづくり計画」も知らなかった。計画のPRが必要ではないでしょうか。(女性 70代以上)

【保育や教育に関して (15 件)】

- 福祉(障害、高齢者)だけに目が行きがちではないか?サービス、法の整備の充実といいながら苦情や弱者の声に耳をかたむけているといった市や国の自己満足に感じる。実際、年々障害を持たれた子の親が我が子の育て方を学ばない、子育てをしない傾向が増加している。一番解かりやすいのが放デイ。健常者より、むしろ障害者の学童の方が充実しているのが現状。健常者の子は親が育て、健常者の子は地域が育てる。そんな偏った世の中に向っている気がします。親の責任ではないのも事実だが、まず、自分の子。責任は親…ここはブレないでもらいたい。(男性 40代)
- 社会が寛容になるためには、子供達が最も期待されることです。小学校の校舎のようなそれで1つの社会になりうるような施設で障害者及び健常者が共に過ごせるような施設にするべきだと思います。小学校の教員も、そのような多様性に対応する柔軟な思考の人間を学歴、経験を問わず重用すべきだと思います。(男性 50代)
- 子供達(小学)に“障がい”について“まなぶ”場があってもいいと思う。(男性 60代)
- 障がい者と健常者が日常的に接するところから理解が進むと思う。長期的には学校で一緒に学べるような環境を整えたい。重度障がいでも困難もあるかもしれないが、特別支援学校という形で分けないうで、一般の学校の中の一部の教室に支援教室があるという形を目指すことは困難であろうか、障がい者なども含めて話し合うなどご検討いただきたい。(男性 60代)
- (再掲)障がいのある者もない者も同じ職場で学び働ける社会になってほしい。(男性 70代以上)
- (再掲)静岡市内には、県立の特別支援学校があります。支援学級はもちろんです、特別支援学校の改善をしていただきたいです。市立と県立では管轄が違うのかもしれませんが、そこに通っている子どもたちは静岡市民です。学校給食は、静岡市立の学校は市の職員や給食センターの委託はプロポーザル方式の契約を行っていると思います。しかし特別支援学校は価格が安い業者が落ちる方式の入札で、不調になる学校が多数あります。安すぎる価格で委託もしており、調理員の人数は少なく、現場はいつ事故が起きてもおかしくない、死人がでてもおかしくない状況です。健常な子どもたちは安心安全な給食を食べているのに、障がいのある子どもたちがそのような状況ではおかしいと思いませんか。ただでさえ身体の弱い子たちもいるのに、矛盾していると思います。特別支援学校もプロポーザル方式を希望します。同じ静岡市民なのに市と県の状況が違いすぎて、障がい者差別だと思えます。早急に改善を求めます。(女性 20代)
- こどもの発達障がいの発見や診断、相談をする機会が欲しい。1才半健診、3才健診だけだとわからないし足りない。グレーゾーンの子供に対しての診断や相談をどこ(誰)にして良いかわからない。(女性 30代)
- 保育園に障がいを持った子も入園できるような環境を整えてほしい。人員、施設の整備。保育園に入園できないため、仕事を辞めざるを得ない現状がある。(女性 40代)

- 障がいがある人に接する機会がなく、どう接していいのかわからないというのが原状です。娘が教員をやっている関係で知的障がいの話をよくします。新聞等で見聞きする以上に知的障がいの子どもが多いことに驚きます。知的障がいと診断され、治療・ケア等がされている子、診断をされることに抵抗感がある親御さんにより治療・ケア等がされていない子、様々ですが治療・ケア等により子供達が生活・学習をしやすくなった話を聞くと、子供のために検査等がなるべく早い段階でされたらいいのになあとと思います。通常級と支援級の取り組みも現場の先生達は大変そうです。診断されると普通の子じゃないと思われがちだけど診断されることにより、その子の得意な事、できる事に気付きそこを伸ばしてあげられるので診断を恐れないで欲しいと言っていました。知的障がいのことが広く認知されて欲しいことと、通常級の人数を減らし、各校に配属される支援員の数を増やして欲しいとも言っていました。実際、自分の子供が障がいがなく育ったので、障がいを持っている子、障がいを疑われる子の親御さんの気持ちは計り知れないですが、状況が良い方向へ改善されていくてくれたらいいなと思います。(女性 50代)
- 子ども(息子)のクラスに知的障がいのお子さんがいます。普通学級に通えるぐらいのレベルです。少々、トラブルがありますが子供達は成長しながらお互いの友達たちと毎日をたのしくすごしています。しかし、トラブルと、親の考え・意見がおかしくて子どもより、親とのトラブルになります。普通学級にいるというのは「普通におさまる」事になるので、それもどうかと、そちらの親のプレッシャーや、どうしても自分の子は正しいと思いたいのか。個性と自由、むずかしいですが。表に出す、公表しても良いのではと。かくしてもがく親はまわりの子をひがみます。(女性 50代)
- 私自身、体調がよくない時期があり、悲しい思いをしました。また、障害のある子を育てる方のお話をきくこともあります。作業所のお弁当が少ないこと等もききます。各人が自分に誇りを持ち、相手を尊重し、そのような世の中になっていくことを願います。子供達が通っていた保育園では、障がいをもつ子の受入れがあり、どのような時にどのようになるのか?や、先生方の対応を通じ、状況を知ることができました。そういう園は少なかったと思うので、そのような園や学校が増えるとういと思っています。(女性 50代)
- P18~22の資料はすべての人に必要であると思いました。中学生以上なら理解できるし学校でも教えて欲しいです。(既に実行済み) (女性 60代)
- 静岡市は障がいをもつ未就学の子どもが通園入園できる施設が足りないのではないかと思います。障がいに関する市の動きが鈍いと感じるので、もっと弱者に目を向けた市政が望まれると思う。(女性 60代)
- 自分は健康であると自信があっても何時に1歩先は分かりません。常に人を思う心がまえを小さな子供と時より親が教えるとか、教員も指導すべき。三つ子の魂100迄と言いますね。人を思いやる気持はまず親が教えるべき。教師も差別せず指導すること。ご近所づきあいも大切です。会話の中に助け合う事が出てきます。(女性 70代以上)
- (再掲) 私はまだまだ福祉の知識が浅いと感じた。もう少し1人1人の意識改革が必要だと思う。近年人々の福祉へのイメージも変わりつつあると思う。「障がい」を「個性」と捉える見方も増えてきている。しかし、私が親戚に障がい者を持ったとき、そんな甘いものではないことを知った。1人1人が生きやすい世の中にする為には個別のニーズに答えるようにしていくことも必要だが、もっと1人1人が自分と周りの人、地区の人、日本の人のことも考えていくような考えを待たねば限りがあると思う。1人で生きていけるようになったからこそ、今1度共生を考えていきたい。よければもう少し教育面で共生を考える機会を与えてほしい。日本を地球をになうのは子どもたちだと思う。様々なことで生きる希望を持ちにくくなっている世界に子どもたちをはなつのは無責任であると思う。少しでも夢と希望を持って生きてほしい。私もそう生きたい。私1人ができることは限られている。どうか少しでも多くの人が幸せに生きられるような世界、地域を作ってほしいです。このようなアンケートがあつてうれしい。お仕事お疲れ様です。お互いが尊重し合い支え合える都

市になったらうれしいな。

(回答しない 20代)

【介助者・支援者自身へのケアやサポートに関して (14件)】

- 障がい者本人への支援も大切だとは思いますが、きょうだい児として育った私達にも支援がほしかった。兄を支えるだけの要員として生まれ、ただただつらい幼少期であった。(男性 10代)
- いろいろな事を相談する場所をおしえてほしい。(男性 60代)
- 愚考、障害者福祉に貢献して下さる方に感謝します。障害者と共に介護者の心身の疲れ多いと思います。365日密着の日々から介助者の安息日を設ける為、障害者一時預の様な場を設ける策は如何かと思えます。(男性 70代以上)
- 私は教育・福祉施設に勤務しており、母親も難病で障がいを持つようになり支援してきた。障がいをもつ人を支援する人たち(家族、親戚、福祉施設従事者等)が悩みごと、困りごとがあったときに、情報提供や立ち寄れる場がもっとあってもいいと思う。(女性 30代)
- 障害者家族(親)が働ける環境を作ってほしい。(女性 30代)
- 障がいを持っている方だけでなく、支援者・家族の方の働き方について社会で考えてほしい。病院の付き添い、急な病気、入院で欠席するときの会社の理解を社会人全員がやさしく対応してくれる社会を求めます。PTSDなど心の中に病がある方が一人で抱え込まないような仕組みもあると良いと思います。(女性 30代)
- ケアマネージャーをしています。高齢、障害に関らず介護者が気軽に相談できる場所があると良いなと思います。認知症カフェ、高齢者、認知症。障害相談、障害者。各分野に分かれているのも良いですが「どれにもあてはまるようで、どうしたらいいかわからない」そんな人達が引きこもりや介護での孤独を抱えています。広く一般的に誰でもこれる場所。そんな場所がほしいと感じています。(女性 40代)
- (再掲)友人が数年前に脳梗塞からの右半身マヒと失語となりました。40代と若くして障がい者となった彼女には当時から1と小1の子供が居ました。半年後やっと家に帰っては来られましたが、彼女に合うサービスや支援がもっと充実していればと思うことが何度もありました。精神的なフォローも含めてもっと彼女のように若くして障害者になった方々の居場所となるような施設や支援があればよいと思います。又そのような家族をサポートできるシステムもまだまだ必要だと思っています。(女性 40代)
- 友人の子が障がいに向き合っていますが、本人よりも家族の方が大変な思いをしているのでは?と感じます。私自身は身内には障がいを持つ人がいませんが、福祉の助けは、個人によっても世帯によっても地域によっても一概に「こうあるべき」とも言えないのではないかと思います。難しい問題であると思います。(女性 40代)
- 小さい頃からの教育が大切、身障者本人だけでなく、家族や介護者の負担も大きいと思うので、そういう方へのケアや、支援をもっと増やすべき。(女性 40代)
- いとこが重度の障がい者でいこの母親が亡くなった為一時的にいろいろなお世話をしていました。後見人になろうと思いましたが、自分の親も高齢で車を手離した為親の面倒も見ることになり、いとこの後見人は行政の人におまかせしました。障がい者をつれての食事、場所選びが大変で(脳性マヒで車イス、会話もできない)一般の人が一生見ていくのは大変だと思いました。今いこは、毎日ヘルパーさんが入ってくれていますが、土?休祭日だけは、家政婦さんを利用しているので月10万円ほどかかります。それでも本人は施設ではなく自宅で過ごす事を希望しています。身内とし

ては安全の為に施設へ入所してくれると安心ですが、そちらの空きもなく、本人が頑固なので困りますが、仕方ないと思います。(女性 50代)

- 障がい者に対する福祉は色々考えられていますがおの方々のまわり親御さんとか面倒みられている方のケアも大事ではないでしょうか。老々介護の末に一人を殺めてしまうとか、心のケアはとても大事だと思います。見えているものだけを大事にするのではなく障がい者の方は結構当たり前のように助けを求めてこられる方もいます。健康な方も障がい者の方もお互いの幸せを見つめてお世話したり、されたりするといいと思います。(女性 60代)
- (再掲) 50代で、家族の介護の必要からヘルパー2級の資格を取りました。また7年程、授産所で職員として務めました。休日には、別の一戸一戸のお宅へ仕事として、障がいの方のお手伝い(有償)をしました。車イスを押したり、持ち上げたり、自分の年令では出来ない事も増えて、今はその両方の仕事はやめています。体力の限界と、小さな事故(自分のケガ等)などが主な理由です。障がいのお子さんや家族を持った、ご両親は、皆とても我慢強く、やさしい方々でした。以上の様な経験(仕事としても)から、障がいの方、又、高齢の方々のお手伝いは、とても大変だと思います。お手伝いする方も、される方も、日頃から、顔見知りになった上で安心してまかせられる人間関係が必要だと思います。保険などは、どうなっているでしょうか。(女性 60代)
- (再掲) 今迄 40年近く主人の介護に明け暮れて歩く事も段々年を取るにつれて難しくなりほとんど家の中で座っての生活でした。外へ出る時は玄関迄這いずって車椅子にのせての病院通いでした。道路の両側は水はけの為にななめになっているので車椅子が傾きかけて走るのでその都度主人が「どこを走っている」と怒鳴り、こちらは体重の重い人を乗せているのでとても大変でした。平らな道ならどんなに良いだろうと思いました。車道は平できれいに整備されているのに側溝の方はガタガタです。歩道は広い所ばかりではありません。胃癌、膀胱結石、K静脈(心臓)手術等々結石の時は4ヶ月も尿管をつけ、家で毎日管をきれいにしなければなりません。家の中も二足歩行出来ず全て私一人でやらなければなりません。介護認定は病院でと何度も申請出す様に云われましたがとうとう最後迄使いませんでした。周りに障がいの方も居ませんでしたし、道路で会う事もありませんでした。アンケートにまともに答えが出来なくて申し訳ありません。私も 82才出来る事があれば側にそんな人があれば今は一人ですのでしてあげたいのですがかえって足手まといになります。暴力、言葉の暴力も確かにこたえます。そんな社会を無くしたいと思います。(女性 70代以上)

【ボランティア活動に関して(14件)】

- ボランティアをやりたいが、ボランティアに参加しやすい体制作りを積極的に行ってほしい。(男性 40代)
- 仕事上、障がいの方と接する機会はあるが自分の身近にはあまりいないので、特に深く考えたことはなかった。ただ、自分としてはボランティアとして障がい者の方々に役立てることができたらと思うことはある。何か自分にできるかはわかりませんが。(男性 50代)
- ボランティアで Wheel map のデータ整備をやっています。世界規模のプロジェクトですが、静岡ではほとんど知られていなくて、仲間もいません。(男性 50代)
- ボランティアといっぱい言葉は出て来るがボランティアに参加するほど体力的にも金銭的にも余裕がない方もいっぱいいる。ボランティアを断った者が悪者にならない様にしてほしい。(男性 60代)
- 障がい福祉に関心はあるが、89才の年令から自分の身体さえなかなか自由に動けないのでましてや、他人の為にボランティアなど思っても実行出来ない。(男性 70代以上)

Ⅲ 自由意見

- 私は高校生のころから障がいがある子どもたちと関わってきました。放課後デイのスタッフや地域の子もたちと障がいがある子どもたちが一緒になって活動したりする時のスタッフなど。数ヶ月前に引っ越してきて、子どもがいるのでしばらくはできないかもしれないですが、またボランティアという形で関わりたいと思います。私は大学などで福祉について勉強したわけではないので、今回の資料を見て勉強してから関わりたいとも思いました。もっとみんながすごしやすい世の中になればいいですね。(女性 30代)
- 障がい福祉に関心を持てれば…と思います。今は母は亡くなってしまいましたが、生前は23年間半身不随でした。今ほど福祉が充実していなかったので、大変不自由な思いをした記憶があり、自分自身ボランティア等に参加したいという思いもあります。ただ今は自分の生活を日々こなすことが最優先となり、そこまで意識がまわらないのが現状です。(女性 40代)
- 共かせぎで子育て中の身としては、ボランティアへの参加などの時間をとることはなかなか難しいです。(女性 50代)
- 高齢の母の手伝いをする時間が増す中、老齡が原因の知的障がい、身体障がいがあり得るのだと実感しています。福祉というとボランティアが推奨されると思うのですが、疑問もあります。ボランティア＝滅私奉公の様な風潮もあるからです。私も関心があるのですが、自身の体調、母の手伝い等考えると優先順位はあります。自分は、今日は健康であるけど明日はわからない。障がい福祉は特別な事ではなく、する側される側すべての人が対象であると思います。(女性 60代)
- 65才を過ぎて、ボランティア活動を手助けしたい気持ちがありますが、現実問題として年金だけで生活していくのはとても大変なのでまだまだ働かなければなりません。老体ムチ打って安い給料をいただいて働いています。ボランティア活動をする余裕が、まったくありません。(女性 60代)
- 自分自身が若い頃にはボランティアの活動に参加させていただきましたが、今自分も70才となり、なかなかその様な活動には出向く事はなくなりました。職場にはヘルプマークを持つ仲間もおりますが、とても良い方で頑張っている姿をみています。皆が共に同じ方向を見て仲良く生活できれば良いと思います。もうすこし自分でも出来る事を探してやってみたいと思います。(女性 60代)
- 以前、障がい者ではなく高齢者の施設のボランティアに十年以上行かせていただいていたのですが、コロナになりボランティアが出来なくなりました。芸能活動だったので、やる事が舞台だったので出来なくなりました。残念です。早くコロナの終息を願っています。(女性 70代以上)
- 断水した時言葉をかけるだけの知り合いの足の不自由な方が近所の人や民生委員の方がお水を持って来てくれて助かったと言っていました。私は自分のことでいっぱいでした。(女性 70代以上)
- ボランティアは体力的、又、メンタル的に参加することは出来ないと思う(通院中の為)。小学5・6年生のとき学友に知的障がいのある子がいたが、皆な普通に接していたし、ときどきこかへいってしまう時は全員でさがしにいたりして別に問題はなかった様記憶しています。(女性 70代以上)

【地域での共生に関して (13件)】

- 身近に手のかかる障がい者がいないと福祉に関心が持てないと思います。社会福祉協議会も援助を必要としない世代ではどんな活動をしているかも知りません。先天性の障がい者と、後天性の障がい者、見ただけではわからない障がい者、身体的な障がい者、知的障がい者等、様々な障がい者がいるので今回のアンケートは答えにくい。いくら近所の人でも自分の家族に障がい者がいると日々の生活を手伝ってもらうことが恥ずかしいと思う人が多いのではないかと感じています。なので行

Ⅲ 自由意見

政サービスや有料サービスの方をお願いしてしまうのではないのでしょうか。 (男性 50代)

- 身近に障がい者がいないため、身近に感ずる事ができません。町内活動等を通じて現状の課題、対策などを皆で共有できる機会が必要かと感じます。 (男性 60代)
- 仕事の都合で自宅に帰る事がほとんど無く、地域での活動参加はむずかしい。退職後ゆっくり考えたい。 (男性 60代)
- 難しい問題だと思う反面、もう少しシンプルに考えて若い頃から障がい者も健常者も地域で一緒に暮らしていける環境を作っていくことだと思う。地域の生活、コミュニティ、学びの場(幼～大まで)行政が一体化して生活者の常識としていければ良いのではないか。自助、共助、公助がもっと根付いて欲しい。 (男性 70代以上)
- 地域にどのような障がいを持つ人が住んでいるのか全くわかりません。そういう人との交流が先ず必要と思います。ただし、そういう障がいを持つ人は、概して地域の中で他の人とのふれあいを拒む傾向にないのでしょうか？このことを考えると障がい者側の意識も確認し、改善する事が大事だと思います。 (男性 70代以上)
- 個人情報保護法は良いと思うが、必要な事が有っても個人情報の為知る事が出来ない。電話番号が、名簿に記載されていない。自治会と民生委員は一体であるべきであるが、実体は全然別で区の自治会長、区の民生委員代表との定例会議が開かれていますか？開かれてなければ良いですが、今後ますます高齢化社会における連携が必要ではないのでしょうか。 (男性 70代以上)
- 地域に障がいを持った方がいるのかどうかすらわからない。 (女性 30代)
- 障がい福祉の話に限らず、認知症になった高齢者、生活保護を受けている人、困窮するシングルマザーなど、地域で生活に困っている人に対して、ここのところ「地域力で支えていこう！」というキーワードが多いので少し疑問に思っていました。地域社会で支えていこう！という方針は決して悪いことではないです。しかし、無償の活動には限界があり担い手不足や、引き受けた人の高齢化、負担の大きさ、不公平など問題が多くあります。本当に地域力やボランティア、NPOで支えていけるものなのでしょうか？ボランティア頼みの社会制度をこのまま続けていくことは可能でしょうか？1日からでも参加できる被災地でのボランティアとは違い、継続的に障がいのある人を支えるのは本当に大変なことです。静岡市が本気で「地域における共生」を進めるのであれば、行政には〇〇をやってもらい、△△には予算を増やし、□□は住民ボランティアに任せるべきなのか明確にする議論が必要であり、実行していくことが今やるべきことだと思います。そのためには地域住民の障がいのある人への理解も必要になっていくと思います。住み良い町づくりには何が必要なのか、私も考えていこうと思います。 (女性 30代)
- 地域福祉というと、すぐ町内会となるけど、ご近所どうし、あまり自分の家庭内には入り込んでほしくない人が思ったより多いように感じています。障害ではなく障がいというのはとてもよいと思いました。害は使う方もつらい所があります。広まってほしいです。 (女性 60代)
- 障害者プラス高齢者の方専門の役員(自治会(コーディネート))を設置する位、強制的に進めてほしいです。 (女性 60代)
- 車椅子の方がよく路線バスに乗られます。バスのドライバーさんが離席をして親切に時間をかけて、車椅子の方の安全を考えて、お世話して下さいます。私はいつも大変だなあ、すごいなあと思って見ているのですが、思うのは、車椅子の方から「ドライバー」さんに対して、「ありがとう」という言葉を聞いたことがないのです。障がい者の方も全部の方がそうだとは思っていませんが、「ありがとう」の言葉があるといいと思います。 (女性 70代以上)
- 障がい福祉には自分自身がつい気の毒と感じて、自分が常に上から目線でやってやるの気持ちが先

に立ってしまいがちです。自分なりに声がけとかやれる小さな事ですら遠慮しがちにやってしまいます。ご近所の一人暮らしの方に声かけはしてたのまれたことはやっています。災害の時にはきっと自分の身を守ることにしかできないと思うので、その点不安が多いです。家族や近くの人への日頃のお付き合いを大事に障がい福祉に関してこれを機会に考えることができたと思います。仕事ばかりではなくもっと地域のつながりをもっていけたらと思います。 (女性 70代以上)

- (再掲) 私はまだまだ福祉の知識が浅いと感じた。もう少し1人1人の意識改革が必要だと思う。近年人々の福祉へのイメージも変わりつつあると思う。「障がい」を「個性」と捉える見方も増えてきている。しかし、私が親戚に障がい者を持ったとき、そんな甘いものではないことを知った。1人1人が生きやすい世の中にする為には個別のニーズに答えるようにしていくことも必要だが、もっと1人1人が自分と周りの人、地区の人、日本の人のことも考えていくような考えを待たねば限りがあると思う。1人で生きていけるようになったからこそ、今1度共生を考えていきたい。よければもう少し教育面で共生を考える機会を与えてほしい。日本を地球をになうのは子どもたちだと思う。様々なことで生きる希望を持ちにくくなっている世界に子どもたちをはなつのは無責任であると思う。少しでも夢と希望を持って生きてほしい。私もそう生きたい。私1人ができることは限られている。どうか少しでも多くの人が幸せに生きられるような世界、地域を作ってほしいです。このようなアンケートがあってうれしい。お仕事お疲れ様です。お互いが尊重し合い支え合える都市になったらうれしいな。 (回答しない 20代)

【差別に関して (11件)】

- (再掲) 災害時、障がい者1名を助ける為に、10人中何人が動けるだろうか。自身も被災した人、また助ける為に命の危険がある場合、その時々状況により異なるが、結果だけ見れば動いた人が褒められ、動かない人が非難を受ける。また、避難所においても障がい者1名の為に、健常者4人分のスペースが必要とした場合、どちらを優先すべきか、弱者にやさしい社会だから障がい者を優先するのか？多くの人が共生を望むと思う。だが、現代ではまだ難しい。健常者にも善人が多く、悪人が少なからずいる。障がい者にも、障がいを盾にワガママを言ったり、不当な要求を行う方がいる。そのわずかな数人が目立つ事により、更に偏見を生んでいる。仕方のない事だが、分母が少ない分、健常者よりも目だってしまう。平等な社会がいつしか弱者にやさしい社会、そして、弱者寄りな社会になっている。弱者(障がい者)優位になっている事で、上辺は平等を装い、本音は偏見・差別してしまう。長くなってしまったが、時には厳しい決断も必要ではないか。税金を使う以上、健常者が損をし、障がい者が得をするのは、ある意味不平等と感じる。 (男性 40代)
- (再掲) 例え、差別がなくても、障がい者が働く場(職場)、仕事を得るチャンスがなければ障がい者のつらさはなくなりません。また、差別されてなくても、保護、援助でしか生きていけない。自分の力で生きていく(生計を成り立たせる)ことが出来なければ、差別されている人と、社会的立ち位置は大きく変わりません。今の社会は働く事、仕事を手に入れることが難しいんです。現実には、企業の立場としては能力がある、少数の人がいればいいんですから。例えば市役所及び、その関連は窓口では障がいがないと働けないという仕組みはいかがですか？それを見て市役所に来る人の意識が変わりますよ。世の中はお金です。障がい者が自力で生きていける、生活費を(自分で働いて)稼げる「場」・「条例」「事業」を作ってください。(民間では無理でしょう) (男性 60代)
- 現代社会において障がい者差別なんていうのは、ナンセンスである。そういうことを言う又は、する人間の気がしれない。ただ障がい者による風当りは、まだ冷たいものがある。そういったものをなくしていく様、行政は努力してほしい。もちろん一個人としてもみんなと共生できる様な努力も自分を含めてしていきたいし、考えていきたい。 (男性 60代)
- 私の父親(90才で逝去)は小児マヒによる左肢に障害を持っていて障がい者手帳を持っていましたが、戦前は特攻機の燃料開発の研究を、終戦後はペニシリン、マトマイの研究に従事していました。

だから自分が障がいを持って生まれたことに対してコンプレックスは持っていませんでした。しかし、他の人からは「障がいがあって大変ですね」と良く云われたと言っていました。実際には足は走れないし、子供と共に遊べないというハンデについては残念に思っていたようです。そのわりに勉強（数学、化学）は良く教えてくれました。これからの社会はすべての人が平等になるように障がいを持った人を特別視するのではなくて、一般人と同等に扱うようにしないと、同じ条件で同じ待遇で、すべてを受け入れる社会システムを作成（構築）する必要があります。（男性 70代以上）

- 自分自身が障がいに関する体質になるかもと常に考え、相手の気持ちを知る、行動を取る様にしていくつもりだが世の中全体から健常者からは偏見性を持たれている状態がいつも感じられる。障がい者は遠慮がちで健常者は邪魔者扱いをする風調が未だに多いとも感じています。もっと理解度が進むことを行政を中心とした積極性を望みます。（男性 70代以上）
- 障がい者ときくと、あまり良いイメージがないです。私たちはあたり前に暮らせていて、かわいそう、大変などと思ってしまうですが少しでも地域の人、周りの人と自然に暮らせるような町になるといいなと思います。“偏見”をなくすことは難しいかもですが1人1人の意識を変えられたら変わるかもしれません。（女性 年齢不明）
- 障がいのある方への偏見、理解不足、誤解等が生活をする上で大きな障壁になっていると思います。こころのバリアをなくしていく社会環境を作る必要があると考えます。障がいのある方からの声、サポートする家族の声を聞き、静岡市もお互いを支え合えるよりよいコミュニケーション作りができる街づくりに期待します。（女性 40代）
- 日本は障がい者に対しても差別、偏見がある国と感じます。なくす方向にしないといけません。日本の国が障がい者に対しておけている国です。（世界に目を向けてほしい障がい福祉が進んでいる国もあるので）（女性 50代）
- 「障害者」という言葉が健常者との差別のきっかけになるかとも思います。違う名前であっても。（女性 50代）
- （再掲）兄が知的障害ですが、職場には恵まれ、あと数年で定年を迎えます。40年間働いています。身近な存在なので、以前は差別的な言葉を兄だけではなく私自身も受け辛い思いをした経験がありますが、法律が改正され、障害者が住みよい環境になってきたことは嬉しく思います。ただ仕事が生きがいであった兄が定年を迎え退職した時、どのようなサービスを受けたらよいか、制度の仕組みがわかりやすく提供して頂ければ有難いです。またその時には相談の窓口を利用させて頂くことと思いますが宜しく願います。（女性 50代）
- 健常者・障がい者という言葉がない日常生活が送れる時代が早く来ると良いと思います。お互いに生きている事は同じ。（女性 60代）

【医療機関やリハビリ施設等に関して（3件）】

- 息子に発達障害があり、特別児童扶養手当をいただいております。その手当を頂くに当たり2年に1度お医者さんの診断と申請書類が必要なのですが、その申請書を書いてもらうのにお医者さんにより、かなり金額がバラバラで息子が中学生までお世話になっていた●●小児科では5,000円だったのに対し、今現在お世話になっている●●●●●クリニックでは20,000円取られます。まったく同じ書類を書いてもらうのに、ここまで金額に差があるとなると、いろいろ勘ぐってしまいます。書類代として高額な請求をされても、その申請をやめるわけにもいかず、また他のクリニックに簡単に変えられないので非常に足元を見られている感覚です。各種いろんな定形の書類代はぜひ統一してもらいたいと思います。（男性 40代）

- 父、母が高齢なため、病院につきそったところ、先生方の説明がわかりづらく、絵や図で説明してほしいと思いました。いつかは自分らもそうなるものです。高齢者への説明はわかりやすくしてほしい。小さいことですが、改善を求めます。長年生きてきたベテランですから、きちんと説明してもらえれば理解できます。(女性 50代)
- 以前、精神障がいのある病院を訪問したことがあります。あまりにも管理が厳しく、閉じ込められている感じでかわいそうな気がしました。症状によって別々にするとか、外の景色も見ることが出来ず、本当に気の毒に思われました。(女性 70代以上)

【その他 (45件)】

- 頑張ってください。本人の意見に基づいて母が代筆しました。(男性 10代)
- 今回のアンケートを行って、自分の知らないことなどいろいろあると感じた。身近にはほとんど障がいを持つ方がいないので、あらためて考える機会ができて良かった。この様なアンケートなどで広報されていてすばらしいと感じました。(男性 40代)
- (再掲) 子育て中であり、時間をとられる。個人としては多忙なため、協力はできません。公的機関による支援をお願いしたいです。個人的な負担にならないことであれば協力はできるかぎり行いたいと思っています。(男性 40代)
- 正直、福祉に関する事を深く考えた事はありませんでした。今回のアンケートにより入り口ではありますが、自分の中で考えるきっかけになりました。多くの方々がどのように考え、思いを持っているか？私には足りない部分が多いと反省しました。全ての基は人対人であると思いつつも足りていなかった事に反省です。障がいのある方々からも選ばれる会社、社会、人でありたいと思います。(男性 50代)
- 日本は付度する事が多く、「それ位、気を使え」とか「言われなくても判るだろう」と言うあいまいな事が多く、他の国の人が見たらエッ？という事が多いのではないだろうか？国民性と言われればそうかも知れないが、少しずつ他の国と同じようにアピールしてナンボみたいにしていかないと先進国とは言えないんじゃないかなって思うときがあります。(男性 50代)
- 障がい福祉を理解する機会が今まで無かったと思います。この先、教育を受けることも無いと思います。もっと地域の人々が広く理解できるようにする事が必要なのではないのでしょうか。(男性 50代)
- もう、この年になると、他人の事より自分の事の方が先に優先して考える事が多い。(男性 60代)
- 障害から障がいの表記変更について一歩進んだと思う。しかし、スポーツの中では、障害物リレー、1,500m障害等々、人(選手)の障害としてある為、違和感を持っている。もう少し適正な名称はないだろうか？(男性 60代)
- 問17・19・20 広報などで見ていると思いますが忘れていました。親の介護の関係で、以前に福祉課に行ったぐらいで障がい福祉などに肌に触れる事はありませんでした。(男性 60代)
- 申し訳ございません。何と書いていいか判りません。しかし、はっきり言える事は自分も少しでも社会のお役にたてる様なことをしたいです。社会人としてそういう義務があると思います。(男性 60代)
- 店などの駐車場で車イスマークの場所に平気で駐車する健常者を見るとイライラする。一言言いたくなる。(男性 70代以上)

Ⅲ 自由意見

- 障がい者への福祉制度の充実無知だった。廻りに障がい者が居ないので関心を持たなかった。私の認識不足です。反省します。今後、各種制度に関与し、気を付けたいと思います。
(男性 70代以上)
- 救急車に同行する消防車のサイレンを別の音に代えてほしい。交通事故支援の為に向かう消防車のサイレンを聞く機会が多く、消防車のサイレン＝火事＝緊急の意識が薄くなりつつある。実際の火災の場合、支援をするタイミングが遅くなる可能性がある。
(男性 70代以上)
- 法律が作られ社会の進むべき方向が示されても、具体的な変化を見つけることがほとんど無い。
(男性 70代以上)
- 戦前生まれの86才になる私の所にアンケートを頂き回答に苦慮しました。余りにも変化が厳しく、食糧難から、経済の発展へと大きく変化し、社会もこれに伴い国民の生活も衣食住充実し、やっと健康福祉方面に目が向くようになりました。充実してくるに従い、あれもこれも公的機関が行うのが当たり前であるという考えが芽生える。今迄培われて来た互助の精神が失われ、今は本当にそうした面をまとめる町内会の役員、民生委員の選出に苦慮しているのが現実となっています。幸いにも今迄何も無く過ごしてきましたが、今後介護にてお世話になるかもしれません。今後とも障がい福祉事業の充実に、ご活躍の程、切望して止みません。全く難しい、回答が的を得ているか疑問となる。
(男性 70代以上)
- 今年度、静岡に住み始め、おそらく一生この街で暮らしていくことになると思います。自分の街が安心して暮らせる街だと嬉しいです。障がい福祉レベルの高い静岡であって欲しいです。
(女性 20代)
- あまり考えたことがないことだったので、知れることがあり勉強になりました。私みたいに知らない人が多いと思うので、少しでも多くの人に障がい福祉について知ってもらう事が生活しやすくなることに繋がると思います。暮らしやすい幸せな世界になりますように…。
(女性 20代)
- アンケートを回答したことが、制度を知ったり考えるきっかけになりました。
(女性 30代)
- 今回はじめて知ることがたくさんありました。ありがとうございました
(女性 30代)
- 誰もが、温かく見守られ穏やかに、生きる事が出来ると良いですね。つなぐ静岡！！(女性 40代)
- 電動車いすで移動販売をしている障がい者？の方が1人で自転車に乗って出歩いているのを見たことがあり、障がいとは？と思いました。もし何らかの嘘があるのなら、それは信用を失うことになるのでは？一人一人で事情はあるでしょうから、うるさく言うつもりはないですが…。
(女性 40代)
- 障がいのある人と地域で接する機会がほぼ無いため、障がいのある人が何を必要としているのかわかっていないのだと、アンケートを通して自覚しました。
(女性 40代)
- 目に見えない障害（特に精神障害や発達障害）は、本人が隠している場合も多い。障害によって、支援する側がうつになったりします。整うのには、時間も理解も行政も必要となります。少しでも人の心が優しくなる世の中になると良いです。
(女性 50代)
- 余談ですが、元気なのに障がい者マークを車につけて、専用駐車場に止める人達をなんとかしてほしいです。
(女性 50代)
- 車いすマークのところへ堂々と健常者が車をとめます。マナーを守れ！！といたい。バカなのかと思います。
(女性 50代)
- ■ ■ ■ カラオケバー、● ● ● ● ● ●、店を営業 ● ● ● ● ● ●に出入りしている、えらい人らし

Ⅲ 自由意見

いです。自分で自分をアピールしている。手話ができるらしいですが、今どきのぼったくりバーで（かなりの額）被害者が出ています。●●●●●のためにも調査して下さい。（女性 50代）

- 身近に値する人がいない為、深く考えてきませんでした。時々スーパーなどで、お仕事されてる方を拝見しますが、がんばってらっしゃるなどこちらが勇気を頂けます。少しでもお役に立てれば、協力していきたいと思いました。（女性 50代）
- アンケートを行ってみて、知っているようで知らないことがあるなど思いました。日常生活でなんとなくすごしている感があるので明日急に障害者となりうるかもしれないことを考えたり、高齢者でも、まわりの身近な障害者と似た状況だったりお子さんがもっていて、母親たちの苦労を聞いたりもしていた。実際に静岡市がそういうところに力をいれているかとみてもそうは感じられなかったので、「共生都市」という策定をするのは、未来を感じるよいことだと思いました。（女性 50代）
- 障がい者施設などで、虐待があったと痛ましい事件を時々、ニュースで耳にします。弱い立場の人達が安心して暮らせる世の中であってほしいと思います。（女性 60代）
- （再掲）今迄 40 年近く主人の介護に明け暮れて歩く事も段々年を取るにつれて難しくなりほとんど家の中で座っての生活でした。外へ出る時は玄関迄這いずって車椅子にのせての病院通いでした。道路の両側は水はけの為にななめになっているので車椅子が傾きかけて走るのでその都度主人が「どこを走っている」と怒鳴り、こちらは体重の重い人を乗せているのでとても大変でした。平らな道ならどんなに良いだろうと思いました。車道は平できれいに整備されているのに側溝の方はガタガタです。歩道は広い所ばかりではありません。胃癌、膀胱結石、K 静脈（心臓）手術等々結石の時は 4 ヶ月も尿管をつけ、家で毎日管をきれいにしなければなりません。家の中も二足歩行出来ず全て私一人でやらなければなりません。介護認定は病院でと何度も申請出す様に云われましたがとうとう最後迄使いませんでした。周りに障がいの方も居ませんでしたし、道路で会う事ありませんでした。アンケートにまともに答えが出来なくて申し訳ありません。私も 82 才出来る事があれば側にそんな人があれば今は一人ですののでしてあげたいのですがかえって足手まといになります。暴力、言葉の暴力も確かにこたえます。そんな社会を無くしたいと思います。（女性 70 代以上）
- 一般市民も身体が特に不自由でないなら年配者（私のように 80 才代でも）できることがあると思います。年配者でお金のある人は預金しないで子供や孫のためだけに使わないで不運な人たちに使ってほしい。※フランスに留学した時、子供が社会に出たら自立させ両親は子供や孫にお金を使わずに不運な人たちのグループ・団体に寄付したり、教会でその人たちのための活動資金にしています。アメリカでも多くの先進国ではそうしています。※日本は古い家族制度のようなものにしばられすぎ！！不運な人はその家族の責任ではなく、社会全体で助けていくべきだと思います。（女性 70 代以上）
- 私は高齢（78 才）でほとんど寝たきりです。54 才で脳出血を患い左半身が麻痺しています。寝起きやトイレ、食事、体ふき等すべて高齢の（79 才）夫の介助で室内外車イスで移動しています。今回のアンケートあまり参考になりませんで申し訳ありませんでした。追伸、主人が買物等で留守の時は不安です。右手がかゆかったり、お腹の調子がわるくトイレに一度主人に介助して行くが又すぐ行きたい時が不安でしかたありません。私は電話が使えないので連絡方法がありません。本当にこんな時が特に不安です。（女性 70 代以上）
- 高齢化している中なのですべて障がい福祉ではなく同じ目線でみてほしい。障がい者の家族の方の事もすべて考えて皆な同じ道を歩く様になってほしい。（女性 70 代以上）
- 車イスの方がバスに乗ったり、スーパーで買物をしてたり良く見かけるようになりました。（女性 70 代以上）

Ⅲ 自由意見

- 市よりアンケートが送付されて来ました。アンケートを記入しながら障がい福祉に関して自分も障がい者に絶対ならない保証はありませんので改めて自分に言いかけ反省しました。一日も早く障がい者が暮らしやすい社会を望みます。昔に比べて障がい者が外に出られる世の中になった事はよるこばしい事ですネ。乱文乱字ですみません。(女性 70代以上)
- 自分自身が介護にお世話になっていますので大変でした。(女性 70代以上)
- 自分の事も大変なので人の手助けまでは大変。(女性 70代以上)
- 今迄福祉に対して他人事だと思ってましたがこのアンケート用紙を見て、色々な法律とかあるのが解りました。私個人としては、S型デイサービスのボランティアをしています。でも利用者さんは皆、自分自身で来られる健康な方達ですので、補助とかする程度です。私も高齢なので、いつそうなるか、わかりません。もっと関心を持とうと思います。(女性 70代以上)
- 高齢のため人に何かして差し上げることは難しいです。(女性 70代以上)
- 私共も二人すでに後期高齢者に入っていますので、いずれはお世話になると思います。これからはしっかりと考えて生きていきたいと思います。(女性 70代以上)
- 若い頃には、点訳サークル入っていたことがあり、その関係で施設の訪問や草取りなどのお手伝いをしておりました。また、友人の子供さんが通う障がい者施設の運動会や、何か所かの施設が合同で行われる、手作り品の展示卸売会を毎年楽しみにしておりました。その後、父が50代で病気をし、母と共に24年間、父の介護をしました。現在は、自宅で転倒し、3月から寝ついてしまった母の介護をしております。私自身も2年前から背骨と腰を痛めていますので、いろいろな方にお世話になっております。春の頃は、母と2人、自分達のペースで暮らしていた日常がすっかり変わってしまった事に戸惑っておりました。でも今では、ケアマネージャーさんはじめ、母の介護に関係してくださっている方々に感謝しております。また、皆様に教えていただく事も多くあり、私自身も元気をいただいております。「障がい福祉に関して」の意見という事について、しっかりとした事が書けませんでした、申し訳ありませんでした。(女性 70代以上)
- 障がい者だからと差別せず、困った時には手を差しのべる事ができる人でいたいと思います。(女性 70代以上)
- (再掲) 発達障害の人達が社会に出るまでに、自分が発達障害であると気づけるきっかけがあるといい。自分の能力に見合った職につければ、会社も配慮することができ、発達障害者も能力以上の仕事もしないので、社会にとってもマイナスにはならない。(回答しない 30代)
- 数年前、交差点内に右折の為、真中中央寄りに止まっておりました。数台の電動車椅子の方達が真中を直進して来た為、私の車にぶつかったのですがそのまま行ってしまい、そのままになってしまいました。自費で修理しもちろん査定にも響きました。この様な事は止むを得ない事と思っておりますが、電動車椅子の使い方等、福祉が交通の面でも整っていかなければお互いに住み良い生活が出来ないと思えます。(回答しない 60代)
- 障がいはさまざまあり、自分が手助けできることが限られていると感じる。研修が必要だし、プロでないと無理な事も多い。自分は70代になり体力を必要とするものは無理なので、できる事は何だろうと考え、できる事は協力したい。(性別不明 年齢不明)

【アンケートに関して (13件)】

- 選択肢の「工夫」など具体的でなく、イメージが湧かない。問19、20など知らない言葉が多かったので、若者に知ってもらえると良いと思う。(男性 20代)

Ⅲ 自由意見

- このような紙のアンケートを作成して集計していることが時代に取り残されていると感じる。Web フォームのほうが多くの人の回答を得やすいのではないかと。(男性 20代)
- 障がい福祉に対する知識や経験がなく、アンケートを通じて考えるきっかけをもらうことができた。(男性 30代)
- 障害といっても多岐に渡るため、このアンケートで意見を集約するのは難しいと思います。アンケートの回答も知的・身体・精神障害者のどれを思い浮かべるかで内容が変わってくるし、ある程度質問者の方で限定したほうが良いと思う。(男性 30代)
- 紙でアンケートはいかがなものか。集計に時間がかかり経費のムダ(人件費、紙代)(男性 40代)
- アンケートに税金がかかっているがその分福祉への支援に回して欲しい。税金をかけず、回答を得られる方法はないのか。少しもやもやする。(男性 40代)
- 新しい制度や法律について知らないことを色々教われたアンケートだった。(男性 40代)
- 設問に具体性が無く一般人には答えにくかった。(男性 70代以上)
- この調査はもっと若い層で実施すべきと考える。高齢者ははずすべきです。(男性 70代以上)
- 問 18以降、回答の選択があまり適切ではないと思う。Webでの回答ができるよう、QRコードなどを作成し、最初の方のページに載せておいてほしい→コスト意識をもって下さい。(女性 40代)
- 社会の中での障害者の事だけで、同居して面倒見ている人と障害者とのかわり方について問われている話がなかった。同居して面倒見てきた者の気持。(女性 70代以上)
- 私はマンションで高齢一人暮らしだったため昨年 90 才を機に高齢者支援施設に入居しました。そのため、このアンケートにどのようにお答えしてよいか分からぬ設問が多く、書けるところだけ書いて返送させて戴きます。(女性 70代以上)
- アンケート調査について。協力はするが年齢を考えて送付してほしい。(女性 70代以上)